

第3期春日市子ども・子育て支援事業計画  
作成のためのアンケート調査結果報告書

令和6年3月

春 日 市



第3期春日市子ども・子育て支援事業計画  
作成のためのアンケート調査結果報告書

# 目 次

---

第1部 調査の概要 .....	1
第2部 調査の結果 .....	3
第1章 就学前児童の保護者に対する調査 .....	3
1. お住まいの地域について .....	3
2. 宛名のお子さんご家族の状況について .....	4
3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について .....	7
4. 子育ての環境について .....	14
5. 宛名のお子さんの定期的な教育・保育事業の利用状況について ...	17
6. 宛名のお子さんの育ちに関する、地域の子育て支援事業等の 利用状況について .....	24
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」 教育・保育の利用希望について .....	27
8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について .....	31
9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育や宿泊を伴う 一時保育などの利用について .....	35
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について .....	40
11. 育児休業など職場の両立支援制度について .....	42
12. 子育て全般について .....	48

第2章 小学生とその保護者に対する調査 .....	52
1. お住まいの地域について .....	52
2. 宛名のお子さんご家族の状況について .....	53
3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について .....	55
4. 子育ての環境について .....	61
5. 宛名のお子さんの病気の際の対応について .....	63
6. 宛名のお子さんの不規則の教育・保育や宿泊を伴う 一時預かりなどの利用について .....	66
7. 宛名のお子さんの育ちに関する、地域の子育て支援事業の 利用状況について .....	70
8. 放課後の過ごし方について .....	73
9. 育児休業など職場の両立支援制度について .....	75
10. 宛名のお子さんの日常生活について .....	79
11. 宛名のお子さんの遊びや地域活動について .....	83
12. 子育て全般について .....	86
13. 子ども自身への質問について .....	94



---

第 1 部  
調査の概要

---





## 1. 調査の目的

子育て家庭の実態と子育て支援ニーズ等を把握することによって、今後の子ども・子育て支援施策の充実に活かすとともに、「第3期春日市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため。

## 2. 調査の対象

- (1) 就学前児童の保護者  
春日市在住の就学前児童がいる世帯の中から無作為抽出した2,000件。
- (2) 小学生とその保護者  
春日市在住の小学生児童がいる世帯の中から無作為抽出した2,000件。

## 3. 調査の方法

郵送による配布、郵送による回収またはWeb上でのインターネット回答。

## 4. 調査の期間

令和6年1月5日（金）から令和6年1月26日（金）まで。  
ただし、いずれも令和6年2月9日（金）到着分までを集計に含めている。

## 5. 回収結果

	配布数	有効回収数			有効回収率
		紙	Web	合計	
就学前児童の保護者	2,000件	664件	275件	939件	47.0%
小学生とその保護者	2,000件	741件	269件	1,010件	50.5%

## 6. 報告書の見方

- (1) 回答割合は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、グラフには「0.0」と表記している。
- (4) 「第2部 調査の結果」においては、設問や回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。また、自由記載等一部の設問の結果を掲載していないため、設問の番号が欠けている部分がある。



---

第 2 部  
調査の結果

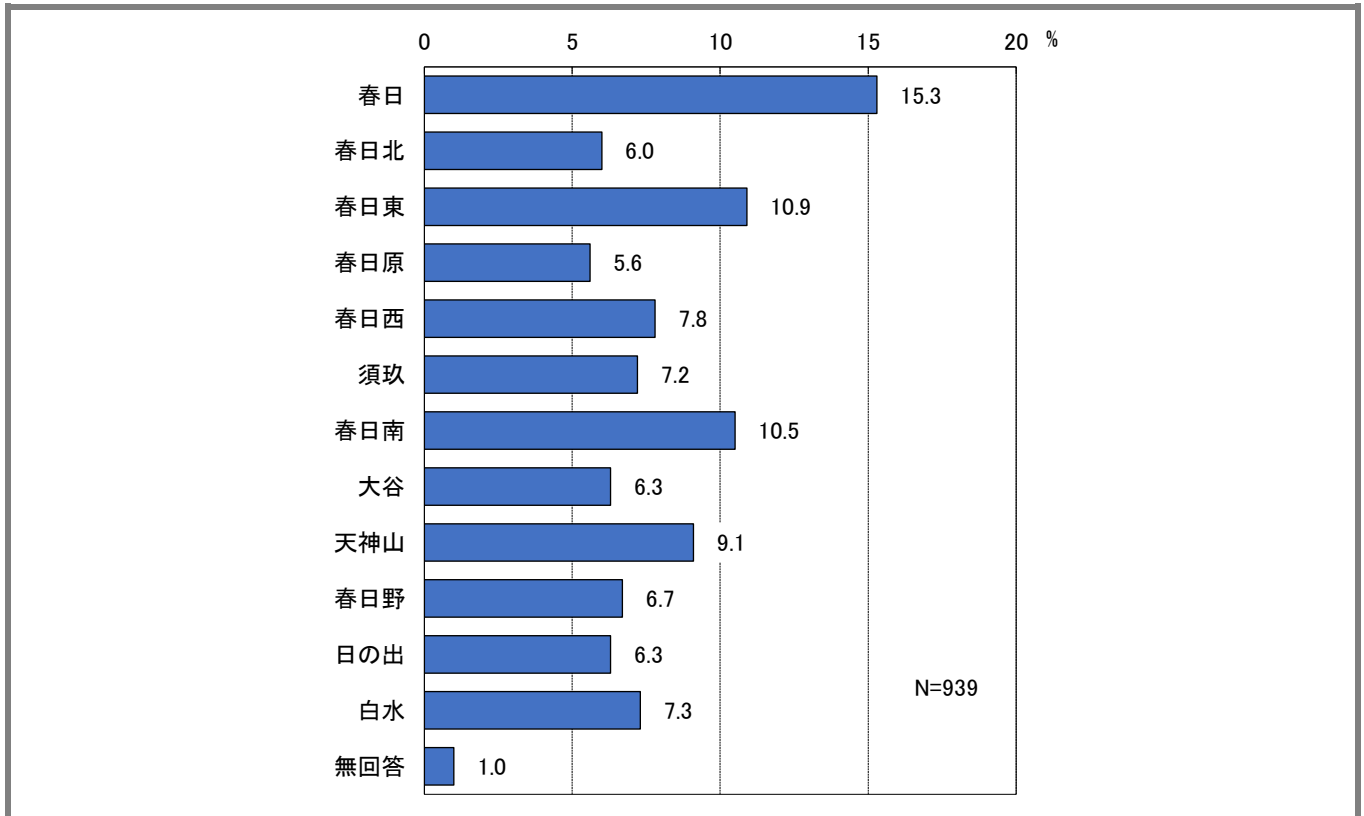
---



## 第1章 就学前児童の保護者に対する調査

### 1. お住まいの地域について

問1 あなたのお住まいの小学校区は次のうちどちらですか。（1つだけ○）

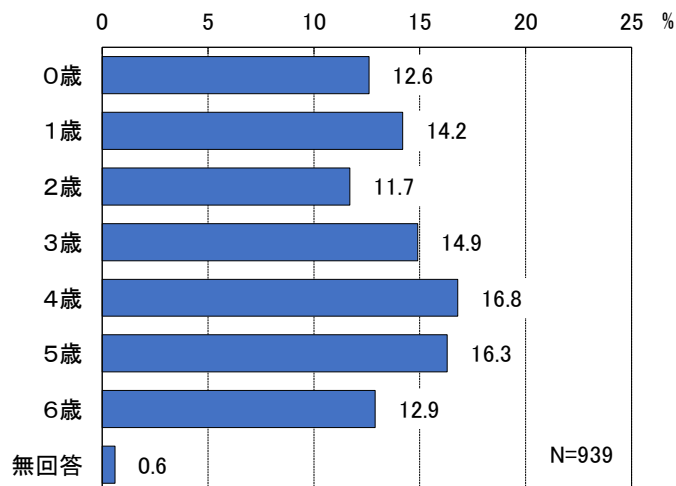


- 居住小学校区については上のとおりで、「春日」小学校区と回答した人の割合が15.3%と最も高くなっている。

## 2. 宛名のお子さんご家族の状況について

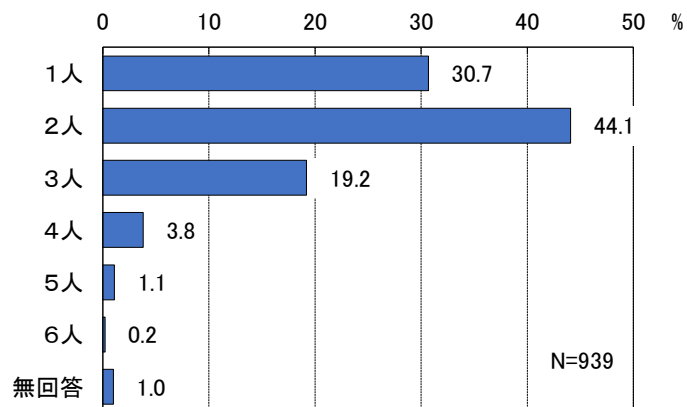
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

【令和6年1月1日時点の年齢】



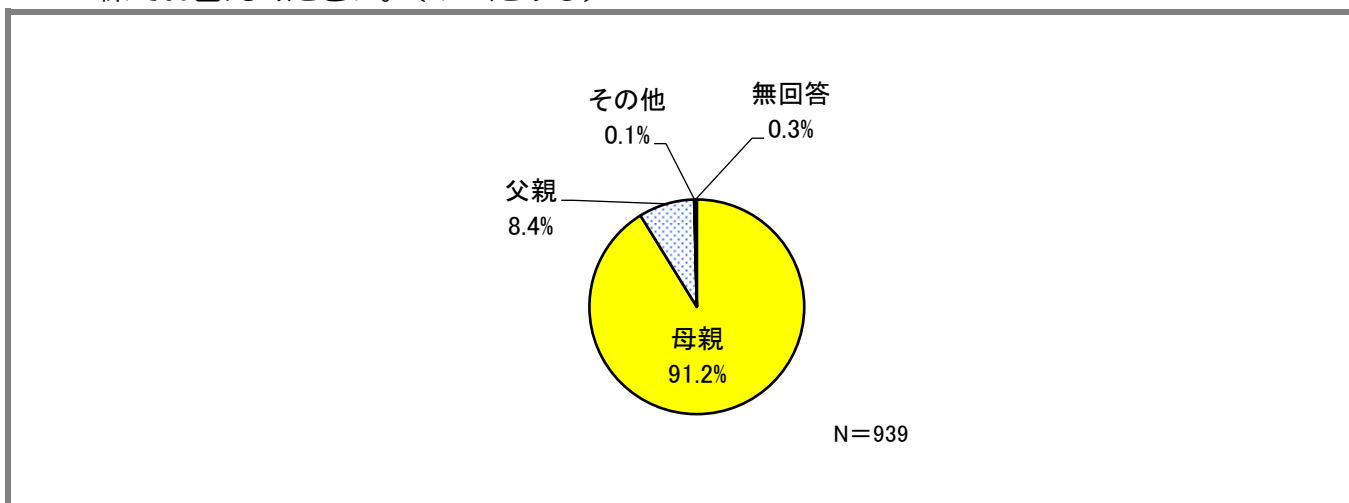
- 子どもの生年月から算出した令和6年1月1日時点の年齢分布は上のおり、「4歳」が16.8%と最も多く、「2歳」が11.7%と最も少なくなっている。

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。



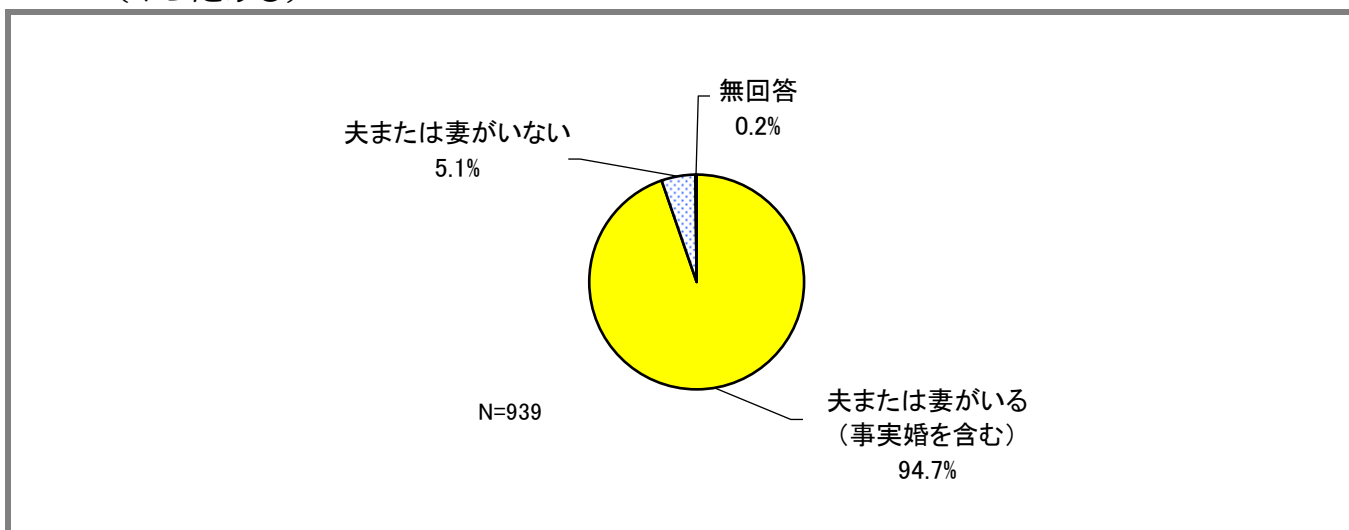
- 対象児童を含む子どもの数では、「2人」という回答割合が44.1%と最も高く、次いで、「1人」が30.7%、「3人」が19.2%となっている。

問4 このアンケートにご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）



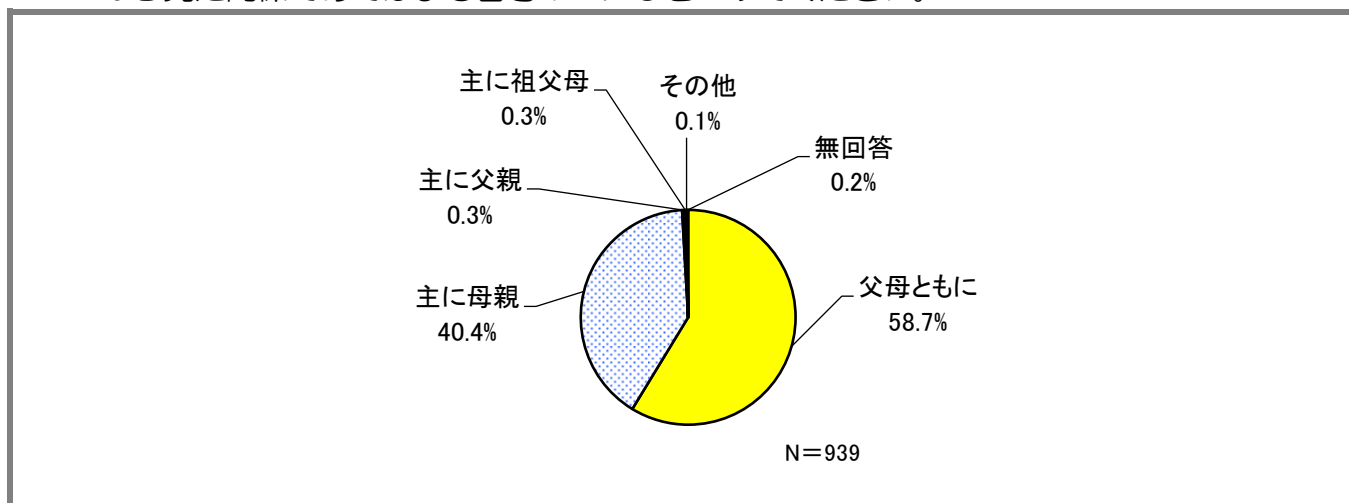
- 回答者は「母親」が91.2%と圧倒的に多く、「父親」は8.4%となっている。

問5 このアンケートにご回答いただいている方についてお答えください。（1つだけ○）



- 回答者の配偶関係を見ると、「夫または妻がない」と回答した人は5.1%となっている。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。



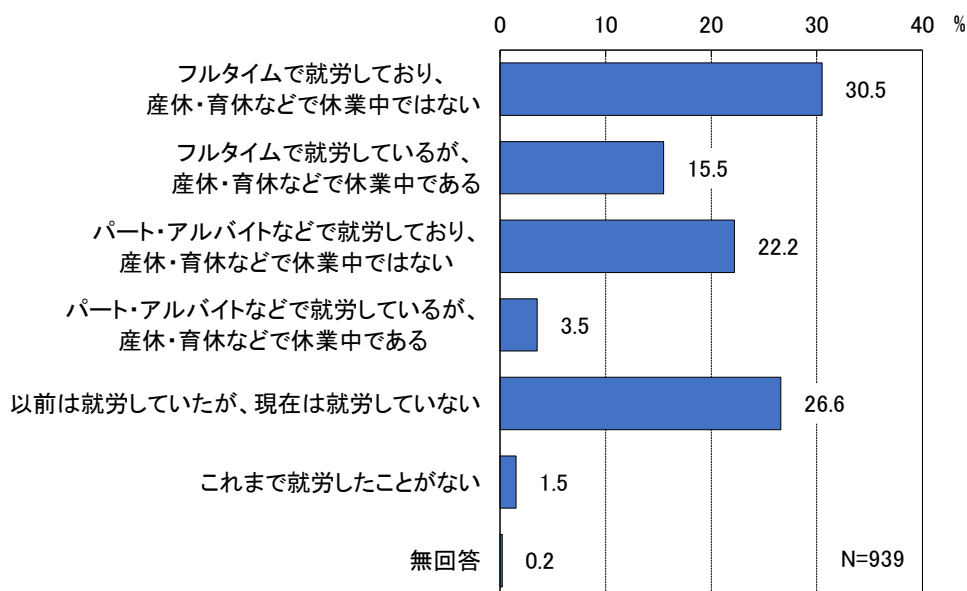
- 子どもの子育てについては、「父母ともに」行っていると回答した割合が 58.7%、「主に母親」が行っていると回答した割合が 40.4%となっている。



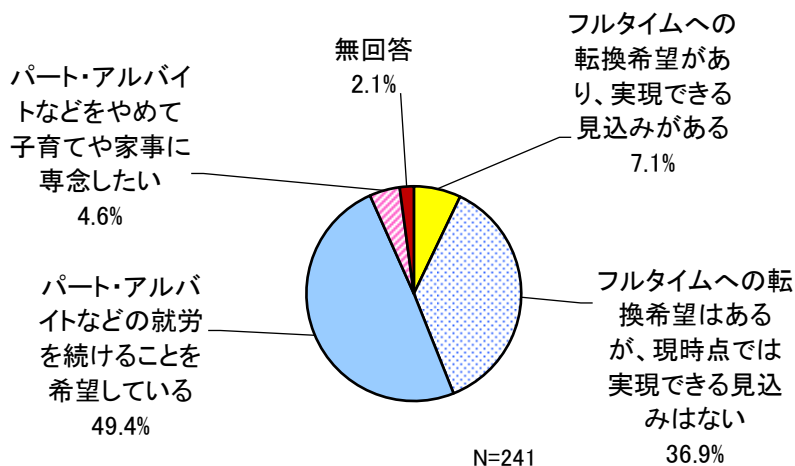
### 3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】

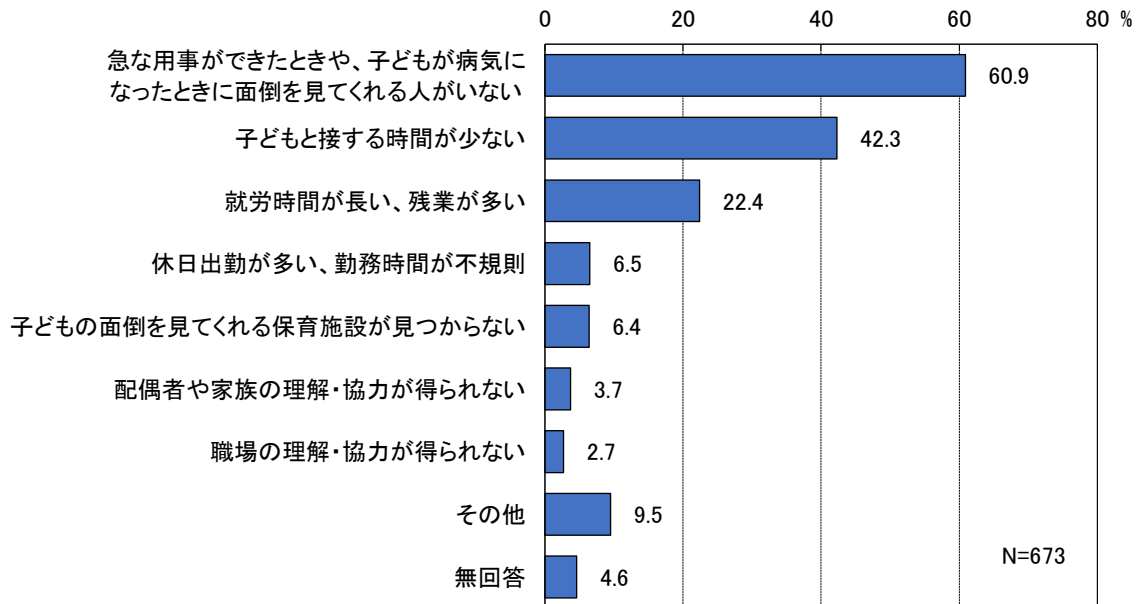


【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



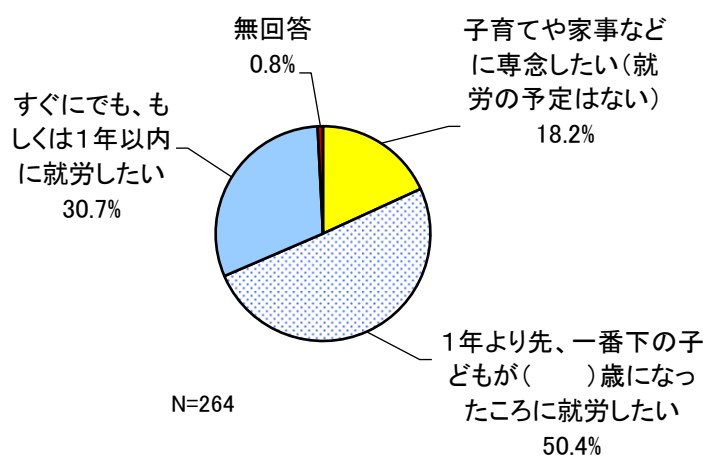
- 母親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休・介護休業中の人も含めて46.0%、同じくパート・アルバイトなどが25.7%となっている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人のうち、フルタイムへの転換希望がある人は44.0%となっている。

【母親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること】

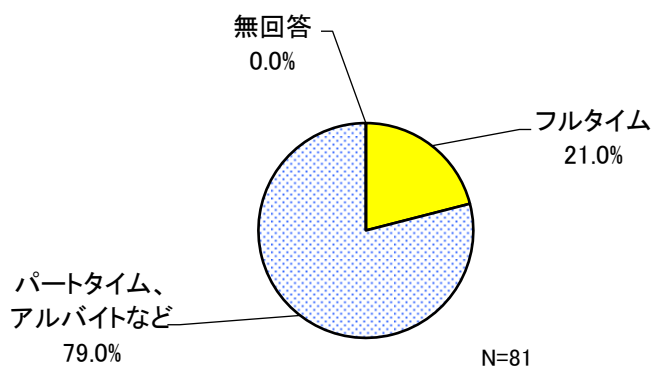


- 働いている母親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることとしては、「急な用事ができたときや、子どもが病気になったときに面倒を見てくれる人がいない」が 60.9%と最も多くなっており、「子どもと接する時間が少ない」が 42.3%で、それに続いている。

【非就労者の就労意向】

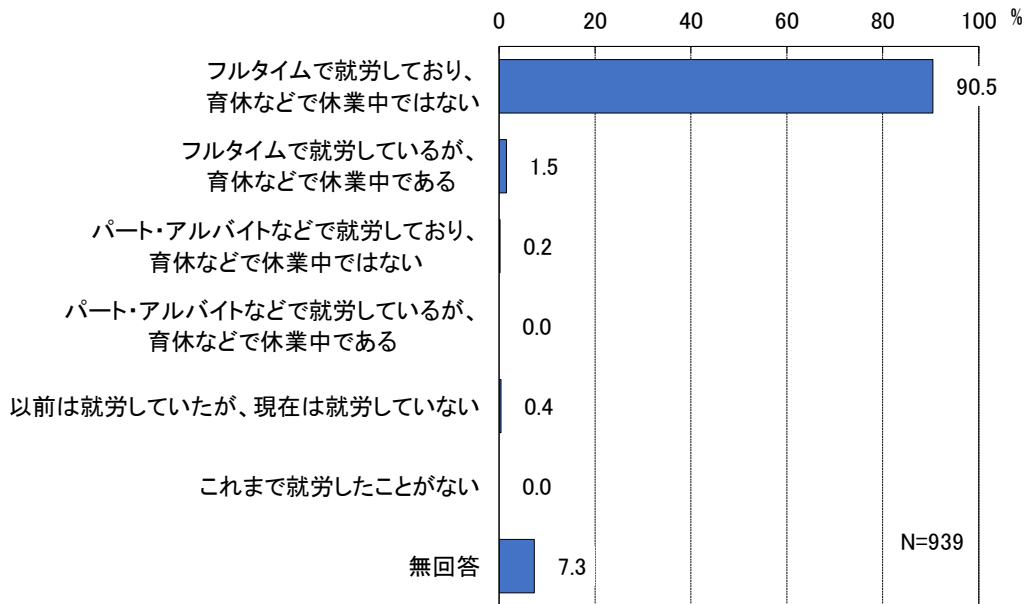


【希望する就労形態】

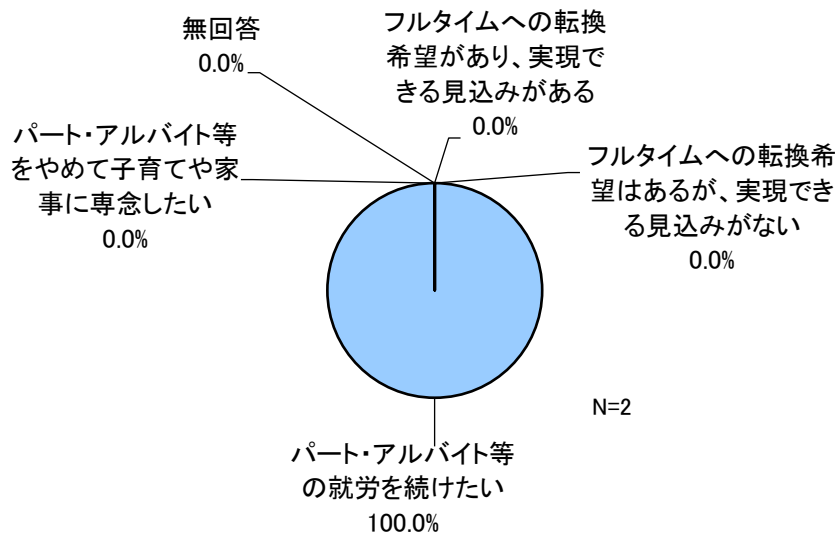


- 現在就労していない母親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が30.7%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は50.4%となっており、就労していない母親の81.1%に就労希望があることがわかる。
- 就労希望があると回答した人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パートタイム、アルバイトなど」が79.0%と高い割合を占めており、「フルタイム」を希望する人の割合は21.0%となっている。

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】

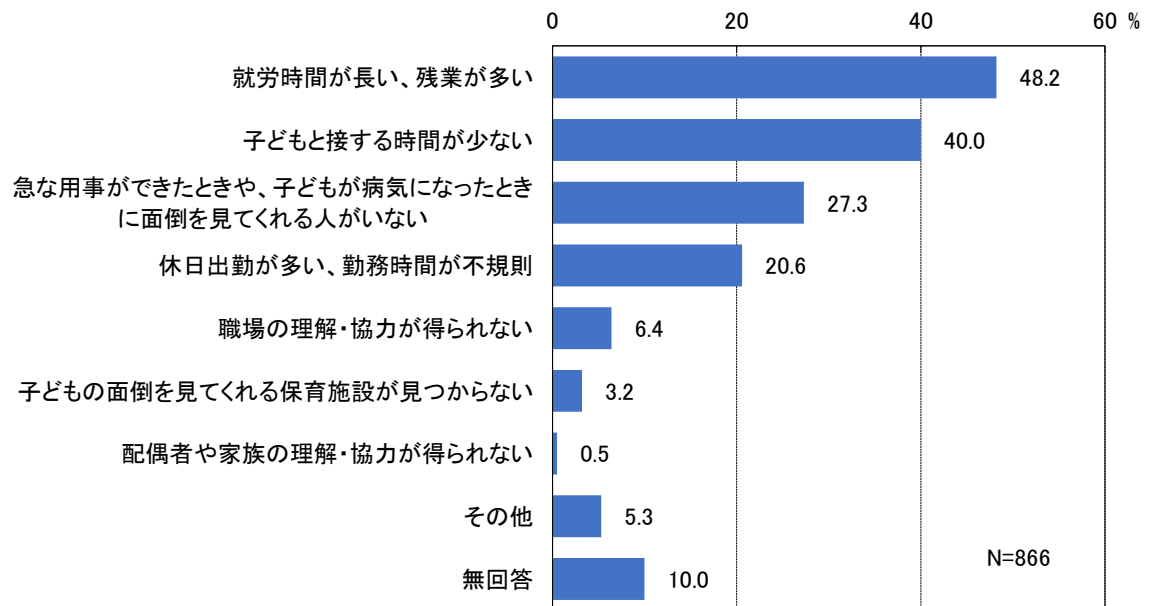


【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



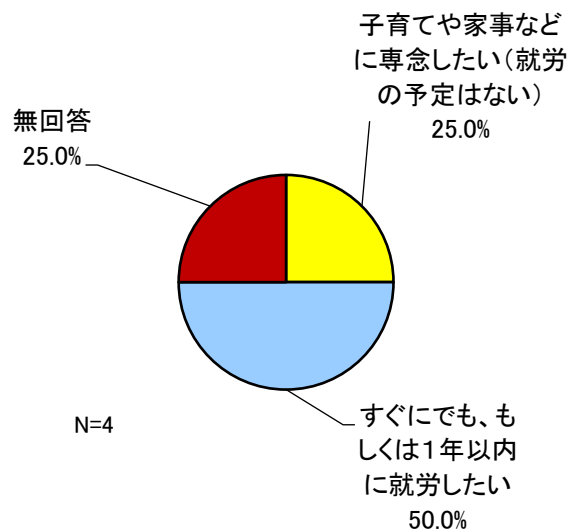
- 父親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休などで休業中の人も含めて92.0%となっており、無回答を除く実際の回答者の大半を占めている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人（2人）に、フルタイムへの転換希望を尋ねたところ、2人とも「パート・アルバイト等の就労を続けたい」と回答している。

## 【父親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること】

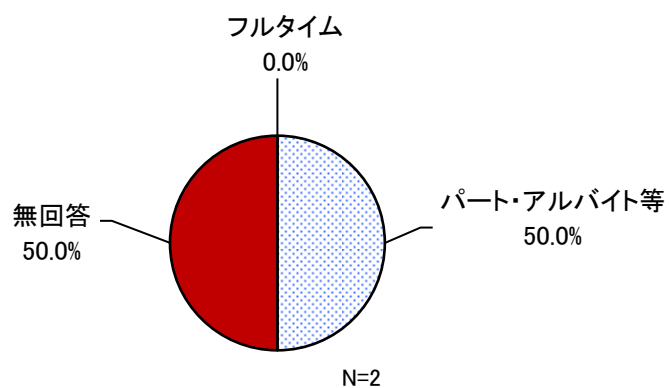


- 働いている父親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることとしては、「就労時間が長い、残業が多い」が48.2%と最も多くなっており、「子どもと接する時間が少ない」が40.0%で、それに続いている。

### 【非就労者の就労意向】

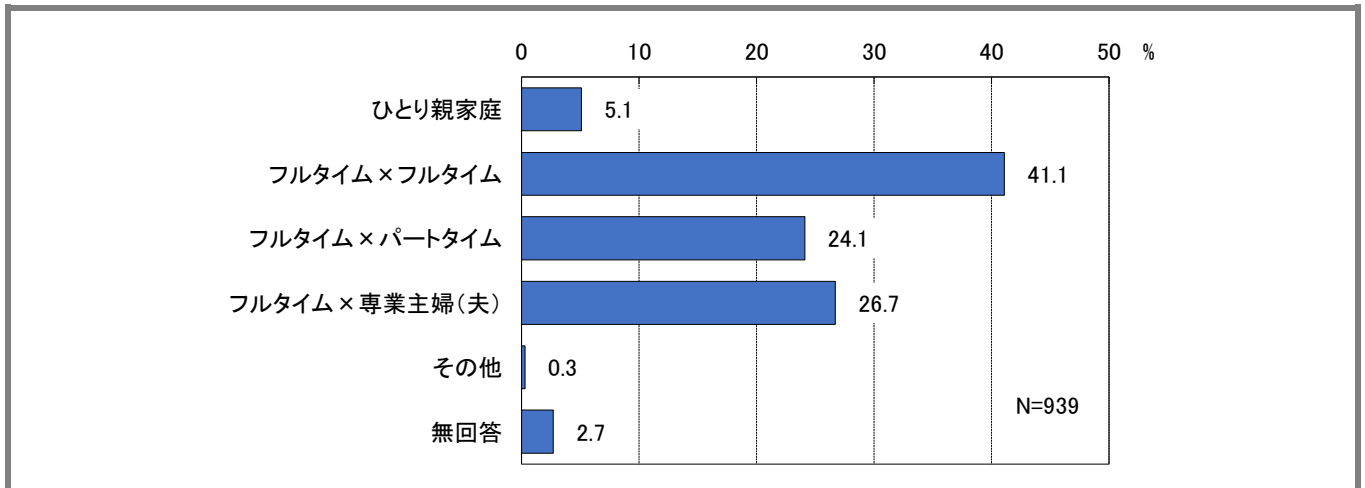


### 【希望する就労形態】



- 現在は就労していないと回答した人（4人）のうち2人は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しており、うち1人は「パート・アルバイト等」を希望している。

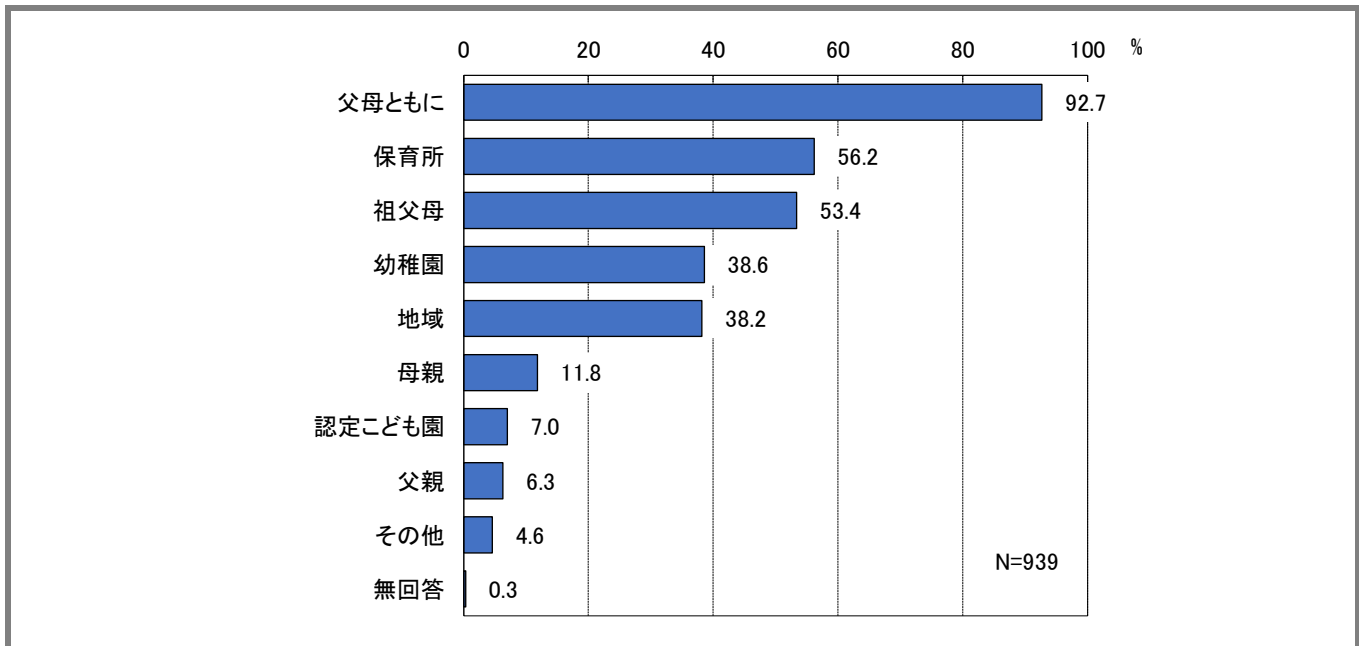
## (3) 現在の家庭類型



- 両親の就労状況から、調査対象者の家庭類型（現状）を分類すると、「フルタイム×フルタイム」の割合が41.1%と最も高く、以下、「フルタイム×専業主婦（夫）」が26.7%、「フルタイム×パートタイム」が24.1%と続いている。

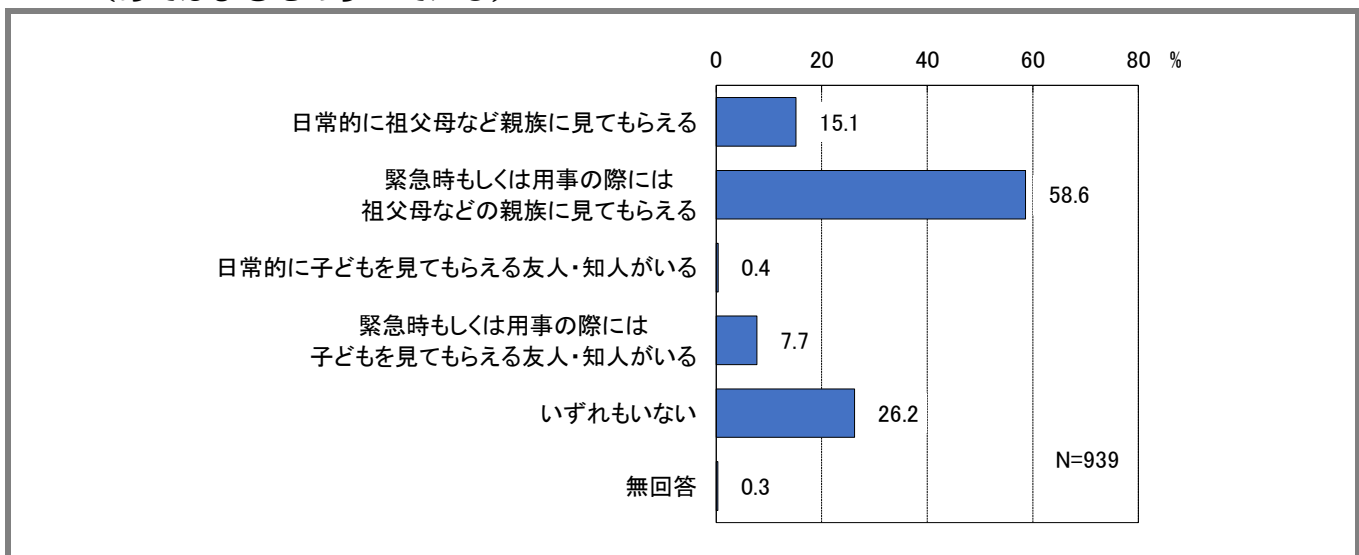
## 4. 子育ての環境について

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）



● 子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境としては、「父母ともに」という回答が92.7%と最も多くなっており、「保育所」（56.2%）、「祖父母」（53.4%）がそれに続いている。

問9 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。  
（あてはまるものすべてに○）

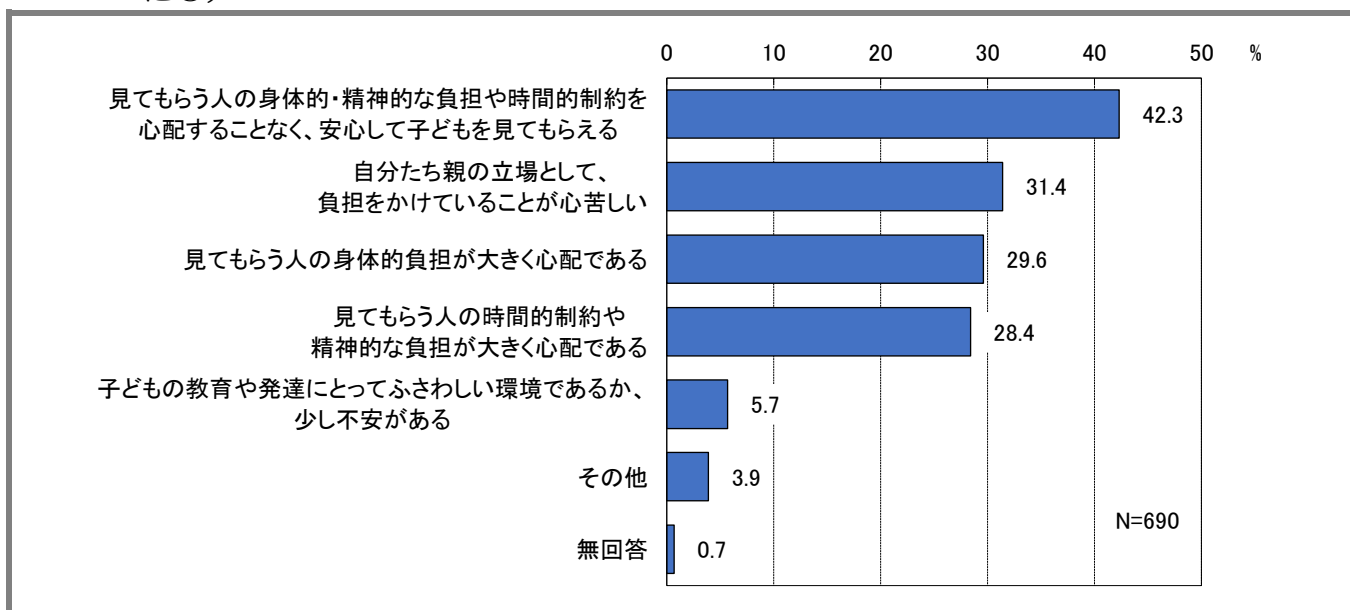


● 緊急時や用事の際に子どもを預かってもらえる人がいない人の割合は26.2%となっている。



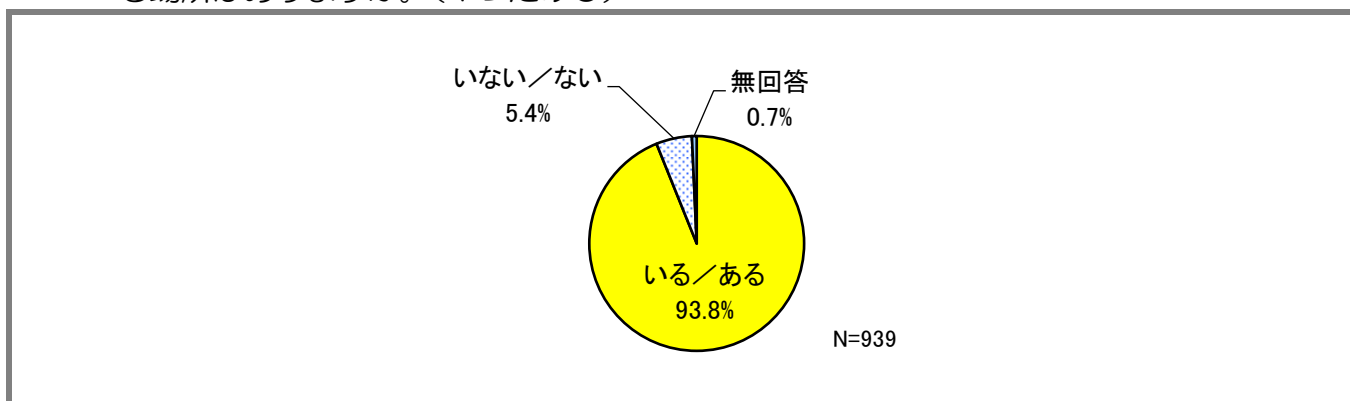
問9-1 問9で「1」～「4」に○をつけた方（宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人がいる方）にうかがいます。

お子さんを見てもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）



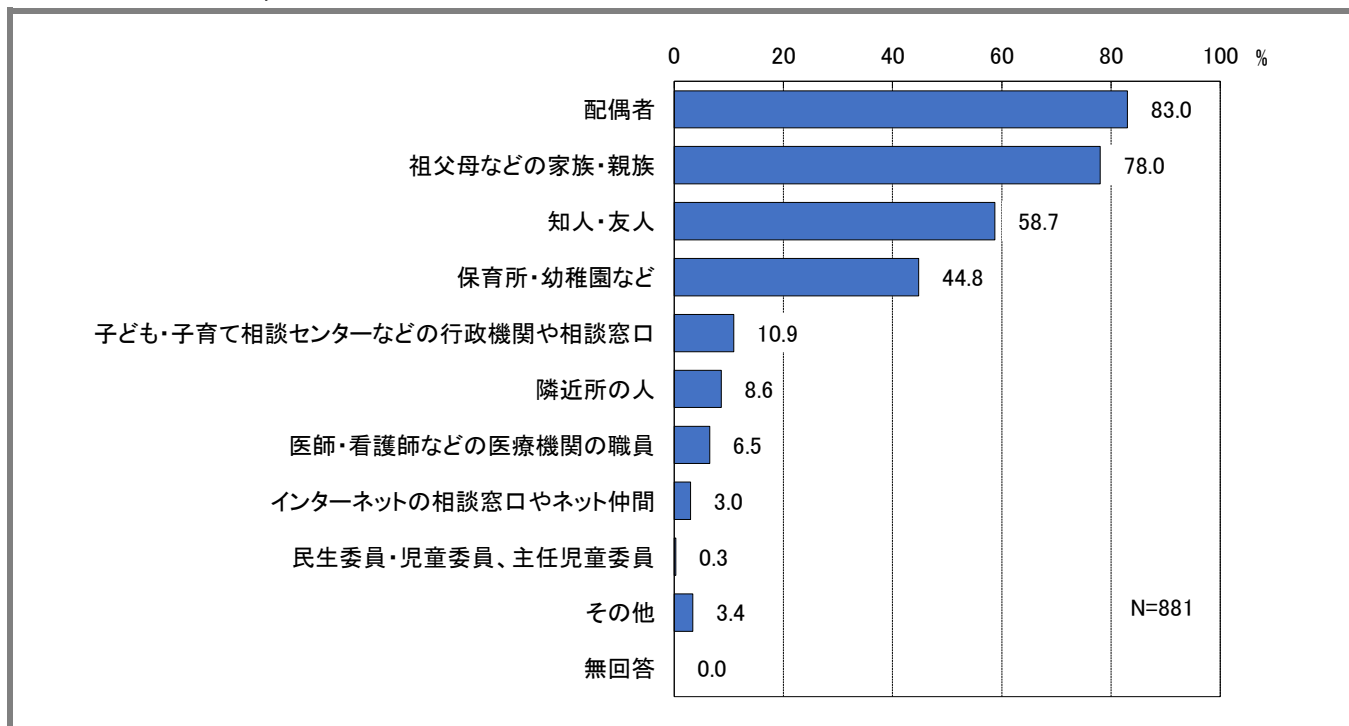
- 親族・知人に子どもを預かってもらえる人のうち、42.3%の人は特に問題なく預かってもらえる環境にあることがわかる。
- また、預かってもらうことについての問題としては、預けた相手に対し負担をかけていることへの心苦しさをあげる人が31.4%と多くなっている。

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。（1つだけ○）



- 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所が「いない／ない」と回答した人の割合は5.4%となっている。

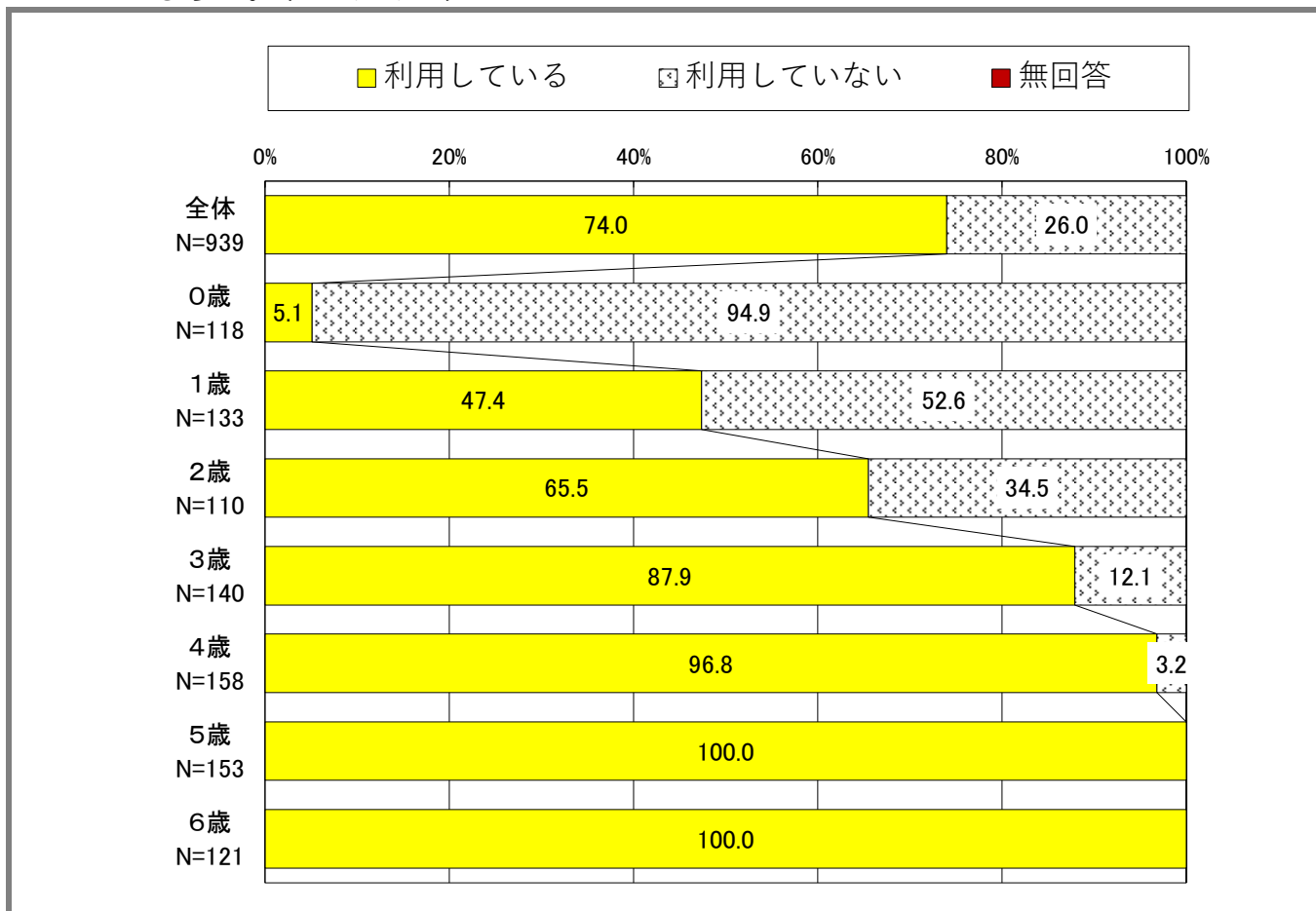
問 10-1 問 10 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 子育てに関する相談先については、「配偶者」（83.0%）、「祖父母などの家族・親族」（78.0%）、「知人・友人」（58.7%）、「保育所・幼稚園など」（44.8%）が上位を占めている。

## 5. 宛名のお子さんの定期的な教育・保育事業の利用状況について

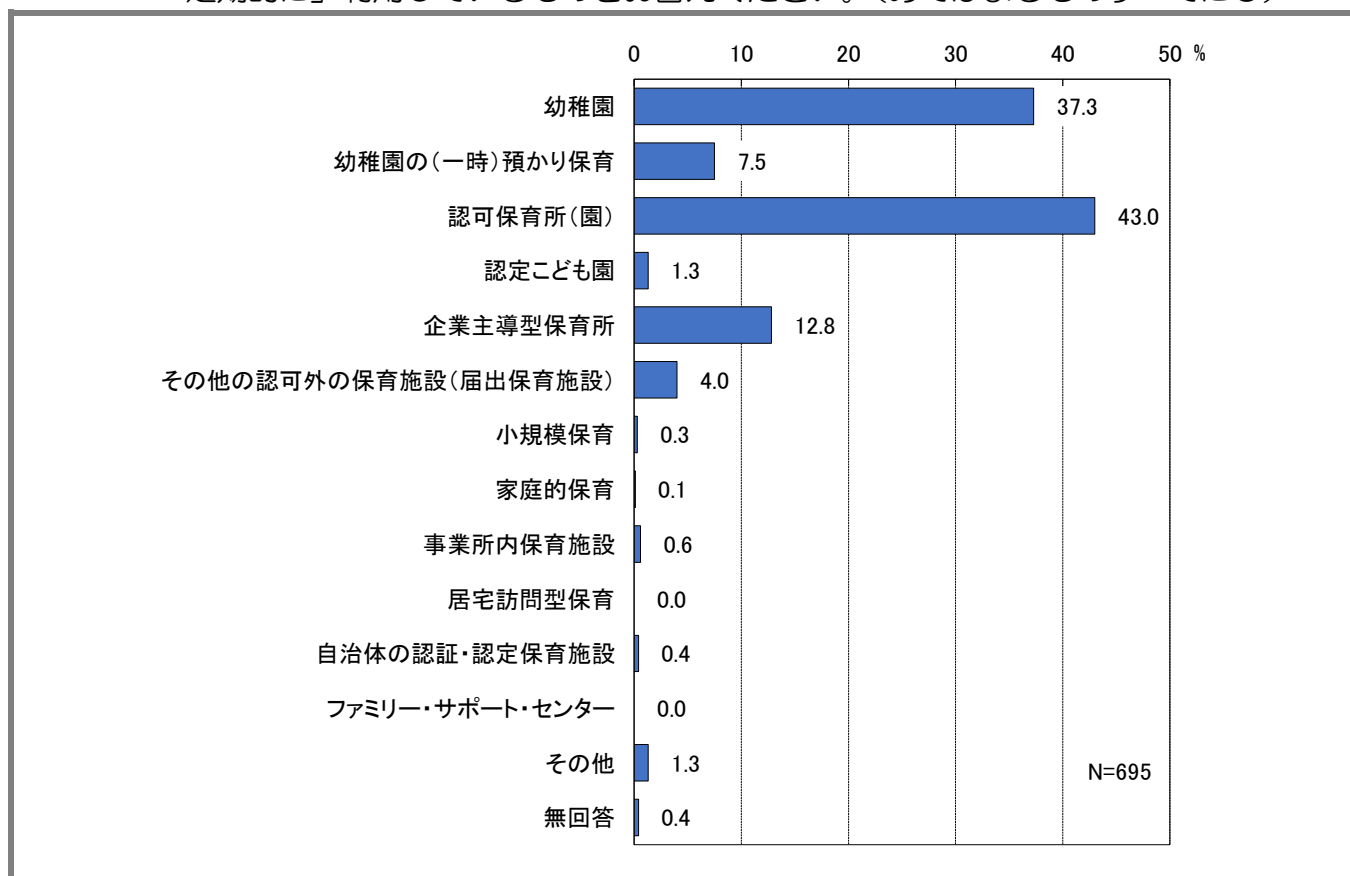
問 12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育」を利用されていますか。（1つだけ○）



- 現在、「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」と回答した人の割合は全体の74.0%で、子どもの年齢が高くなるにつれて「利用している」という回答割合も高くなっており、5歳以上ではほとんどの子どもが「利用している」ことがわかる。

問 12-1～問 12-3 は、問 12 で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 12-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

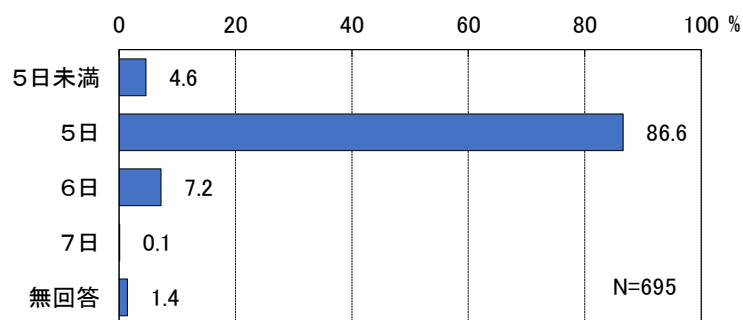


- 「定期的な教育・保育の事業」利用者のうち 43.0%は「認可保育所(園)」を利用していると回答しており、「幼稚園」利用者は 37.3%となっている。

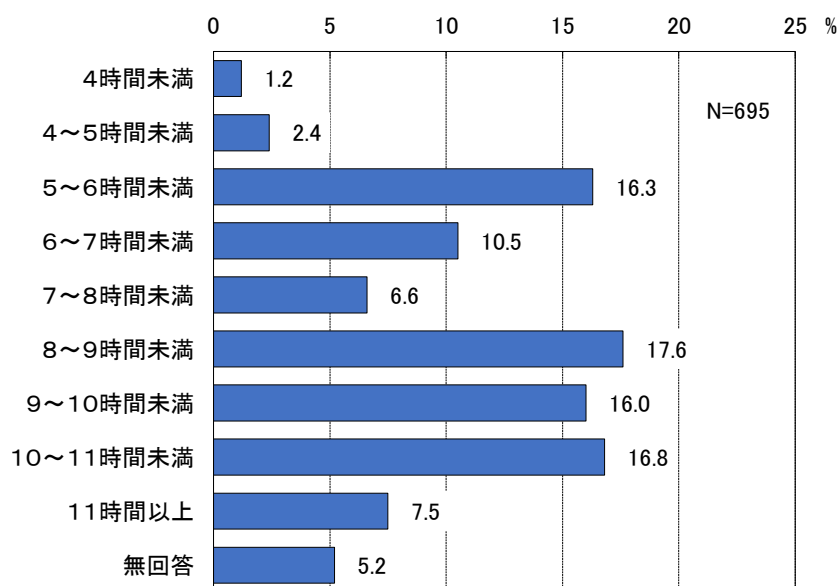
問 12-2 定期的にご利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在

【1週当たりの日数】



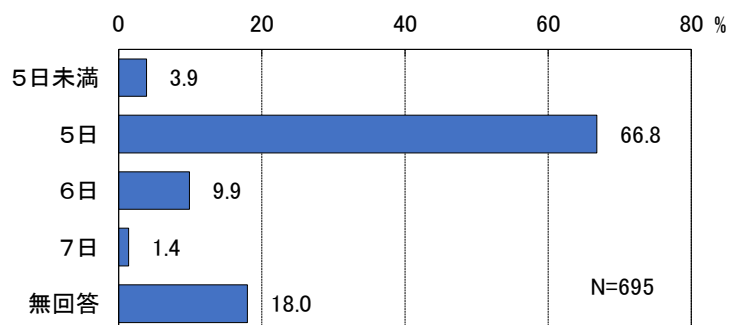
【1日当たりの時間数】



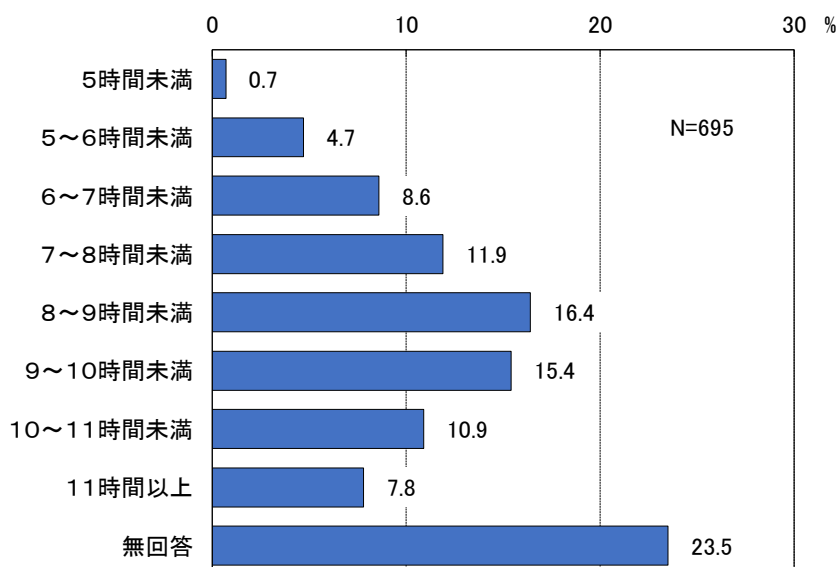
- 教育・保育事業の利用状況については、1週当たり5日、1日当たり9時間前後の利用が最も多くなっている。

（2）希望

【1週当たりの日数】

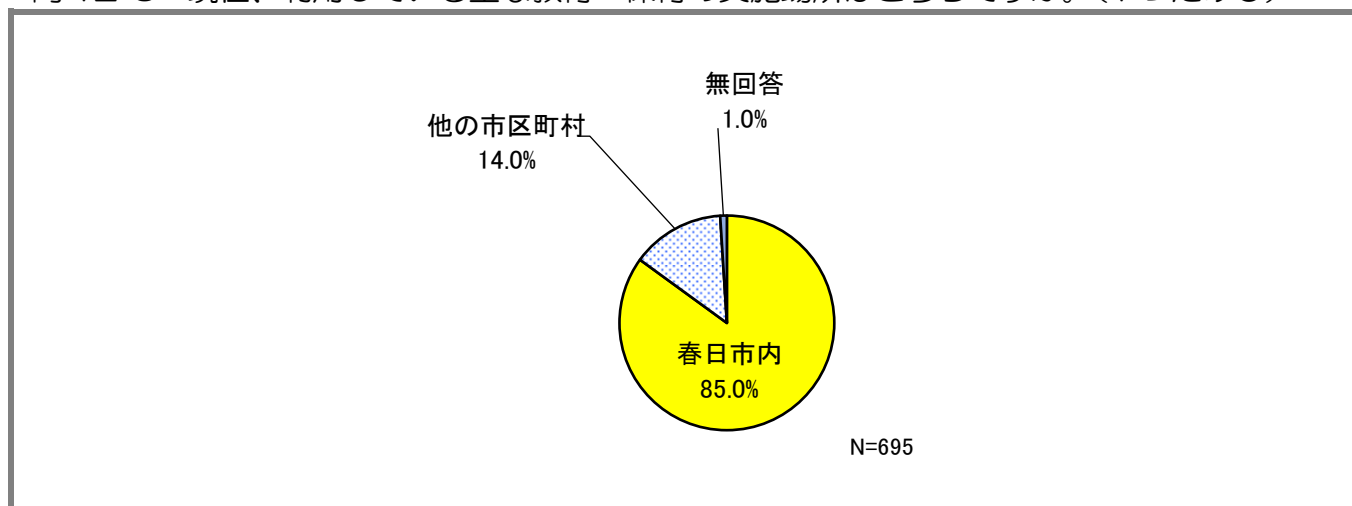


【1日当たりの時間数】



- 教育・保育事業の利用希望については、1週当たり5日、1日当たり9時間程度が最も多くなっている。

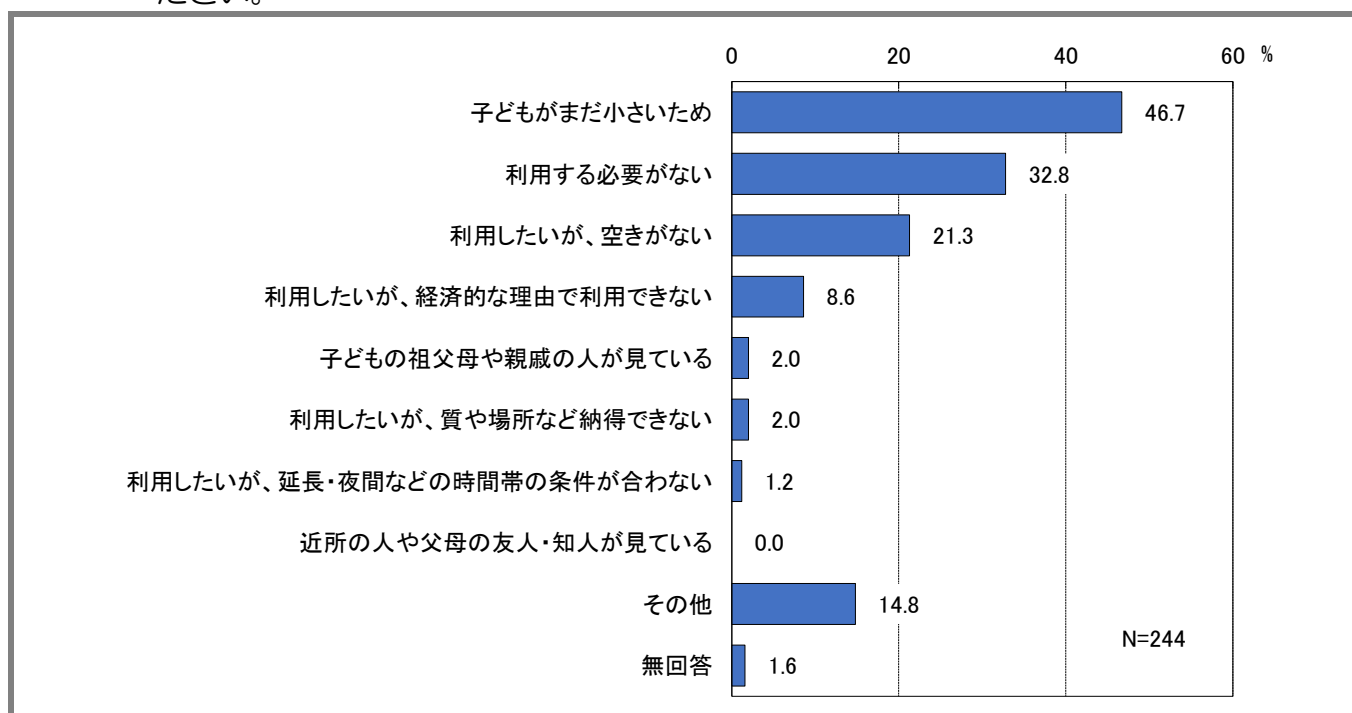
問 12-3 現在、利用している主な教育・保育の実施場所はどちらですか。（1 つだけ〇）



- 現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「春日市内」が 85.0%、「他の市区町村」が 14.0%となっている。

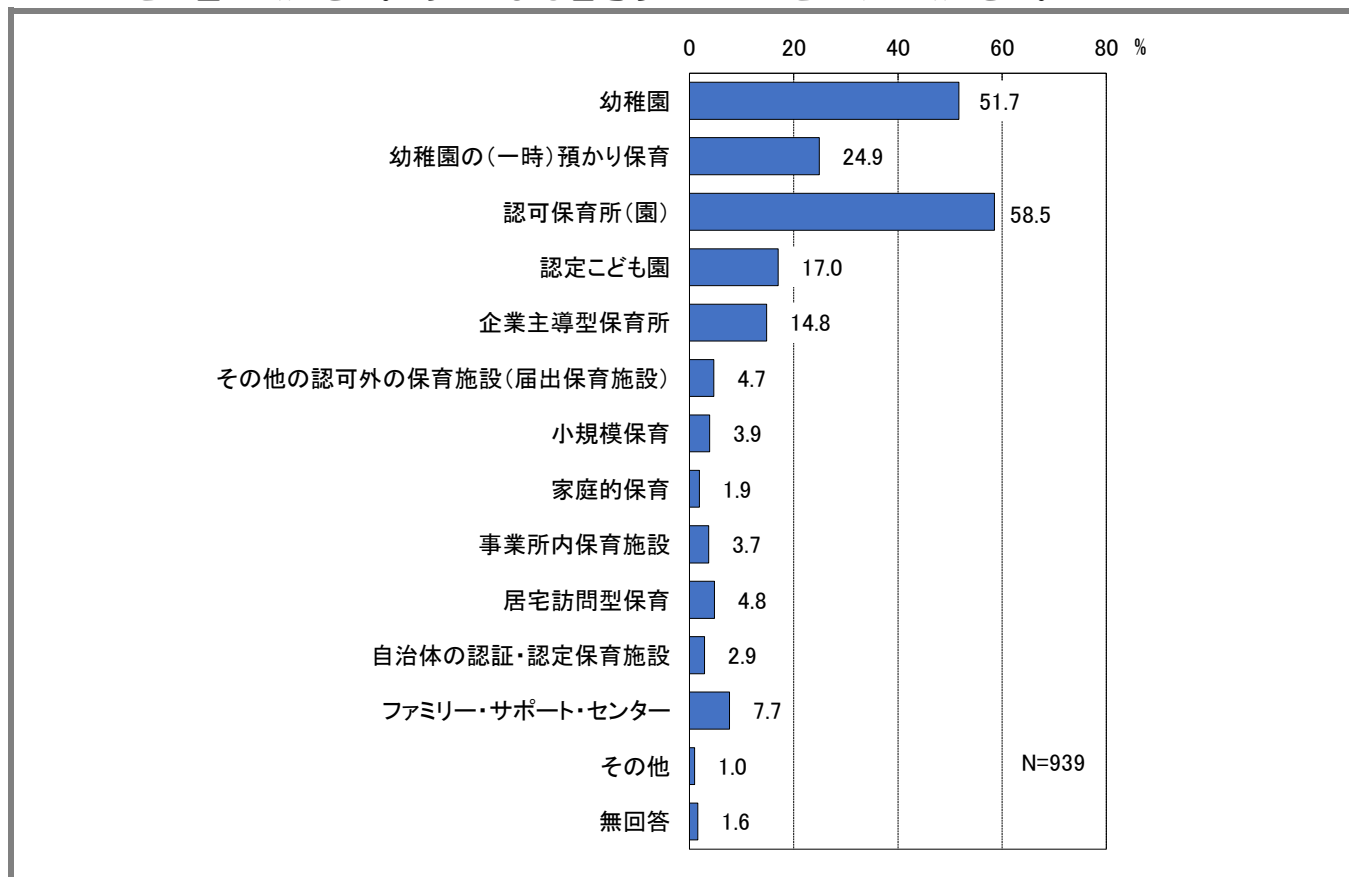
問 12-4 問 12 で「2.利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに〇をつけてください。



- 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない方に、その理由を尋ねたところ、「子どもがまだ小さいため」(46.7%) や「利用する必要がない」(32.8%) が上位を占めている。
- 「利用したいが、空きがない」という回答も 21.3%あり、保護者が利用を希望する施設に空きがないことがうかがえる結果となっている。

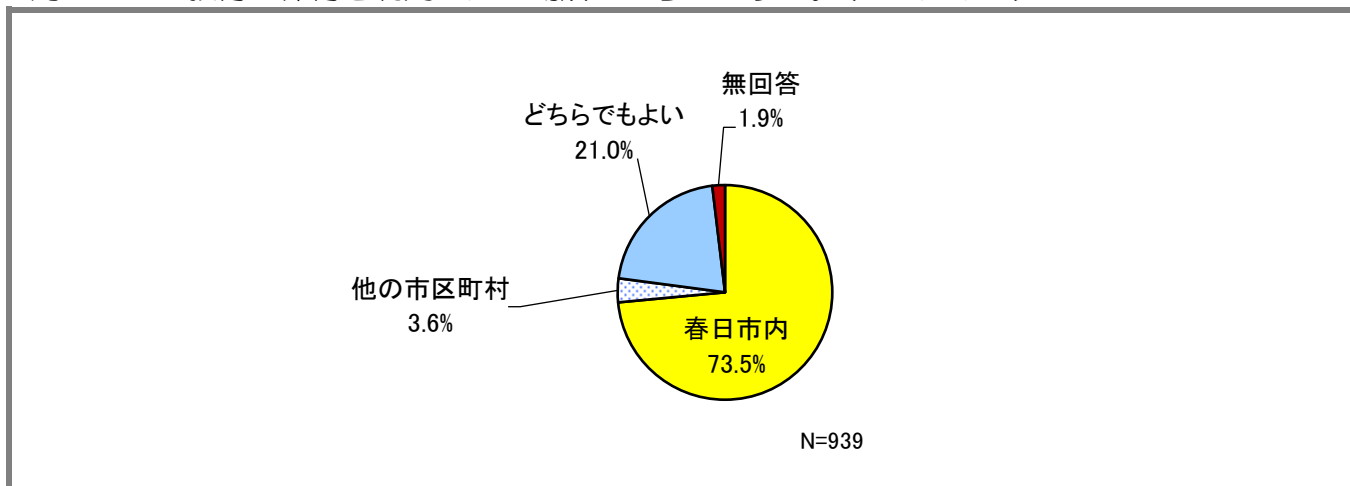
問 13 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の日中の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 現在の利用状況に関わらず、平日の日中の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業を尋ねたところ、「認可保育所(園)」が 58.5%と最も多くなっており、「幼稚園」が 51.7%、「幼稚園の(一時)預かり保育」が 24.9%、「認定こども園」が 17.0%、「企業主導型保育所」が 14.8%と続いている。

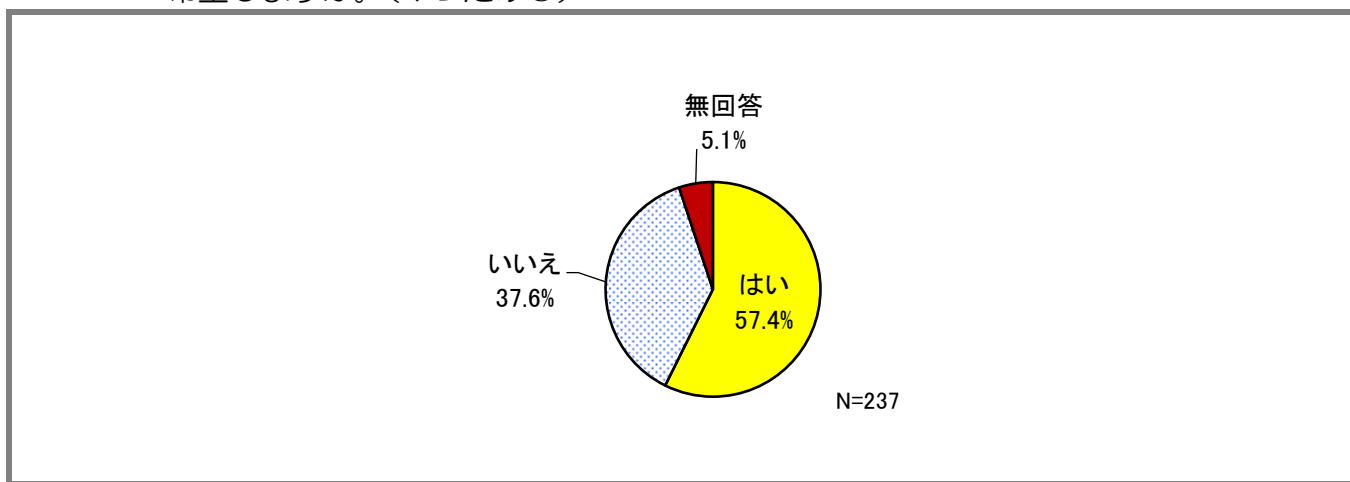


問 13-1 教育・保育を利用したい場所はどちらですか。（1つだけ○）



- 教育・保育事業を利用したい場所については、「春日市内」が73.5%、「他の市区町村」が3.6%となっている。

問 13-2 問 13で「1. 幼稚園（通常の就園時間（5時間程度）の利用）」または「2. 幼稚園の（一時）預かり保育」に○をつけ、かつ3～13にも○をつけた方にかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つだけ○）



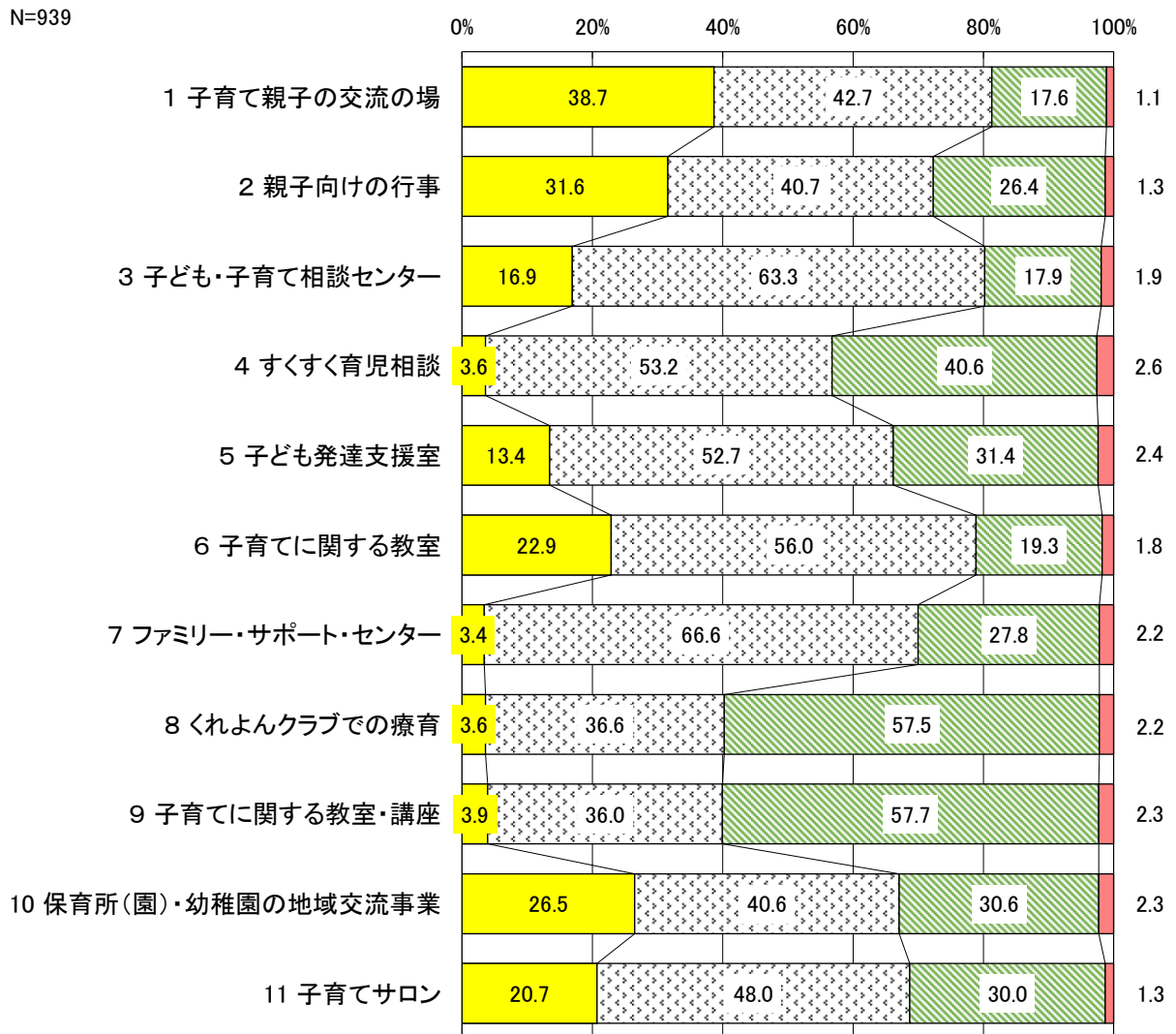
- 「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と他の施設等を同時に選択した人のうち、特に幼稚園の利用を強く希望する人の割合は57.4%となっている。

## 6. 宛名のお子さんの育ちに関する、地域の子育て支援事業等の利用状況について

問 14 下記の支援サービスについてお答えください。

### 【認知度・利用状況】

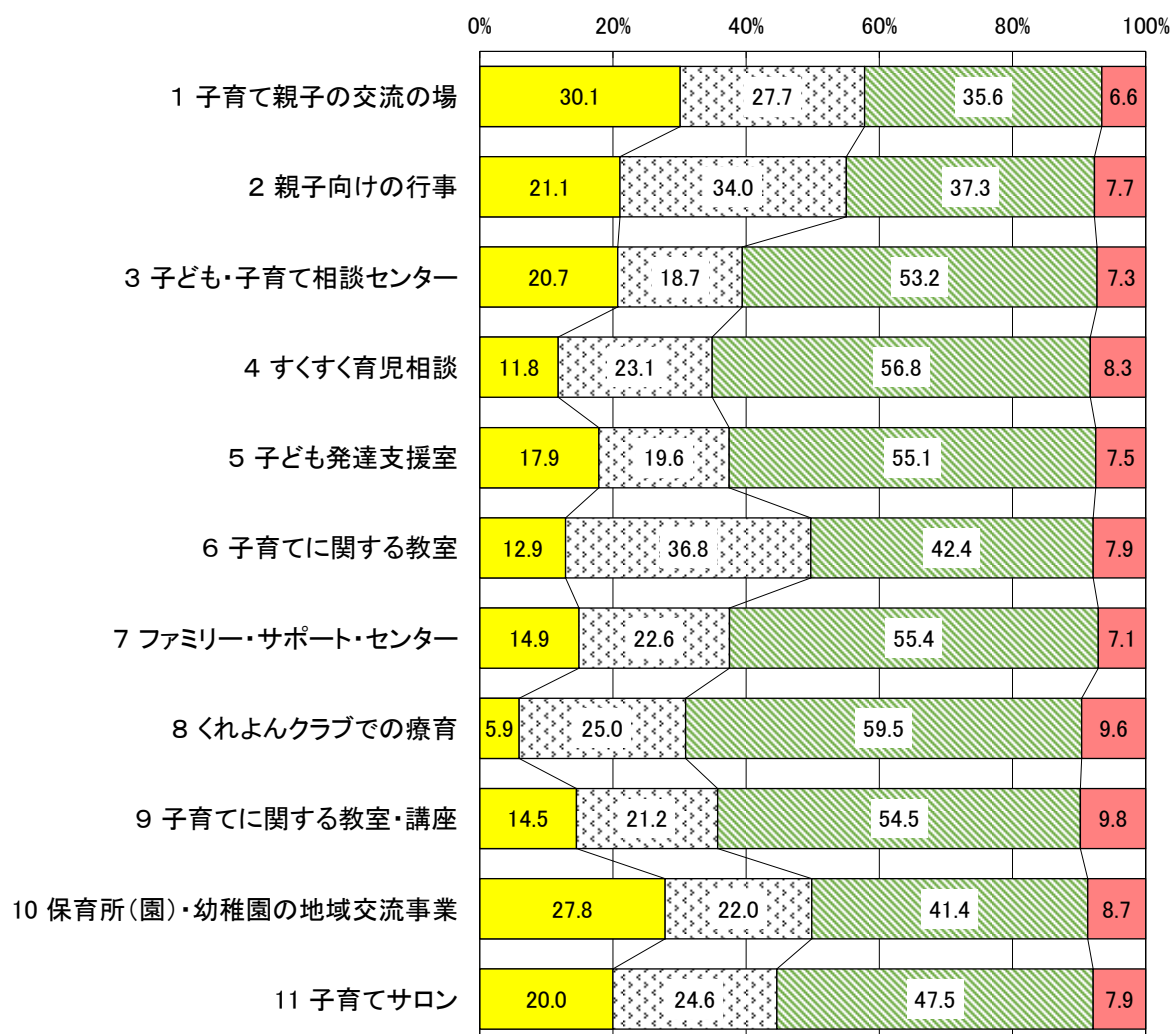
■ 利用したことがある □ 知っているが、利用したことがない ▨ 知らない ■ 無回答



- 11 の支援サービス等のうち、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も高かったのは、「子育て親子の交流の場」(38.7%)で、「親子向けの行事」(31.6%)がそれに続いている。
- 認知度が最も低かったのは「子育てに関する教室・講座」で、57.7%の人が「知らない」と回答しており、「くれよんクラブでの療育」も「知らない」(57.5%)という回答が多くなっている。

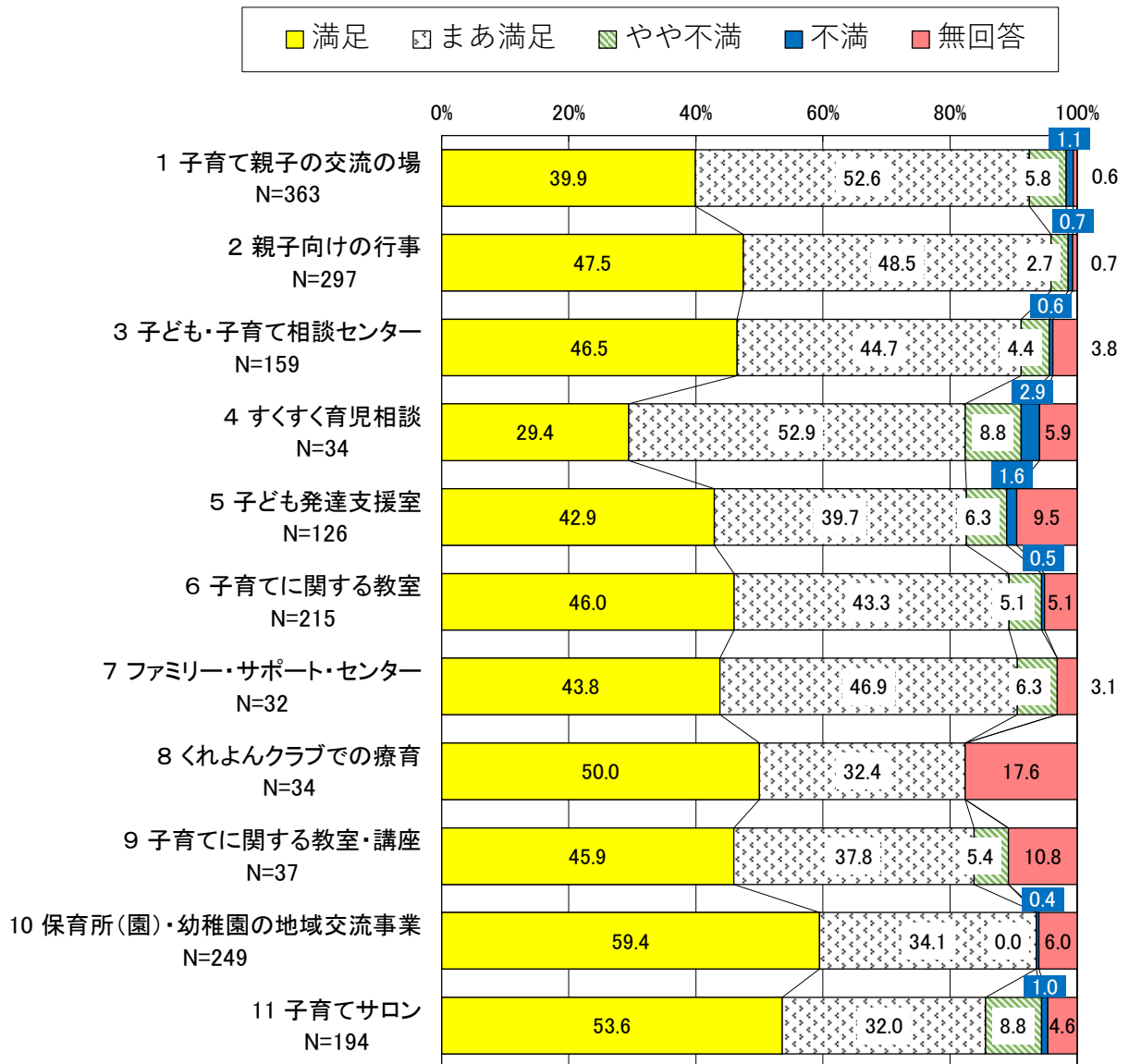
## 【今後の利用意向】

N=939

■ 利用したい
 ■ 利用しない
 ■ わからない
 ■ 無回答


- 今後の利用意向が高かったのは「子育て親子の交流の場」(30.1%)と「保育所(園)・幼稚園の地域交流事業」(27.8%)となっている。

【満足度】

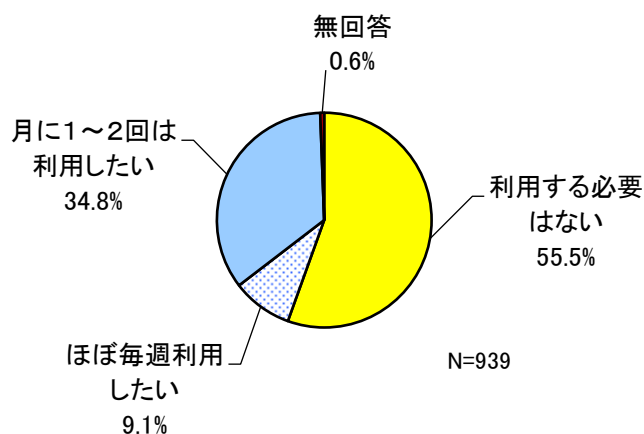


- 利用者の満足度については、それぞれの利用者数が異なるため一概に比較できないが、「やや不満」または「不満」の回答割合が比較的高かったのは「すくすく育児相談」(11.7%)や「子育てサロン」(9.8%)となっている。

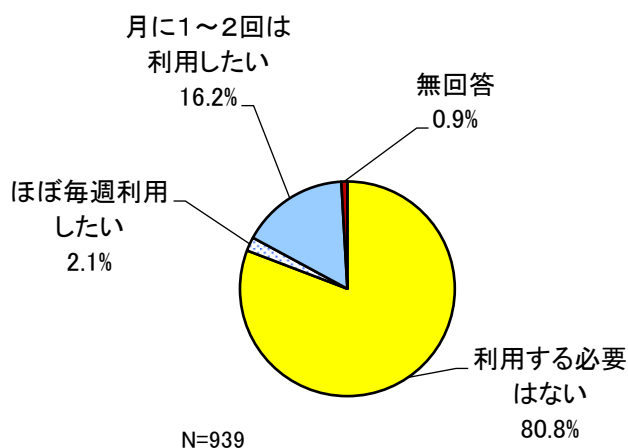
## 7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育の利用希望について

問 15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

### 【土曜日】



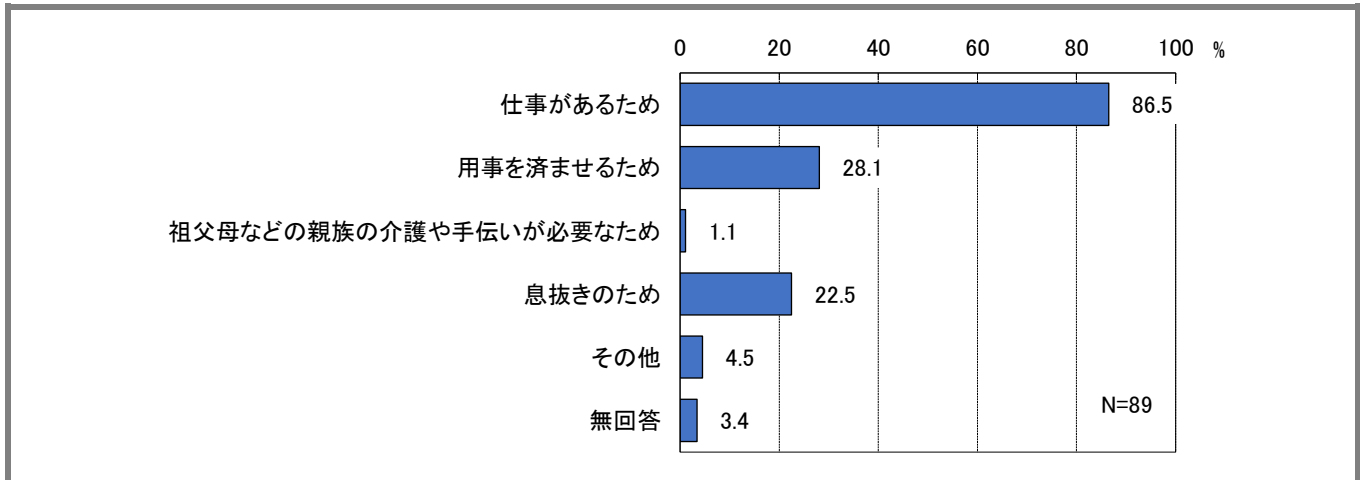
### 【日曜日・祝日】



- 土曜日の定期的な教育・保育事業については、9.1%の人が「ほぼ毎週利用したい」と回答しており、「月に1～2回は利用したい」(34.8%)と回答した人を合わせると、43.9%の人が利用したいと考えていることがわかる。
- 日曜日・祝日については、「ほぼ毎週利用したい」と回答した人は2.1%で、「月に1～2回は利用したい」と回答した人は16.2%となっている。

問 15-1 問 15 の（1）もしくは（2）で、「2. ほぼ毎週利用したい」に○をつけた方にかがいます。

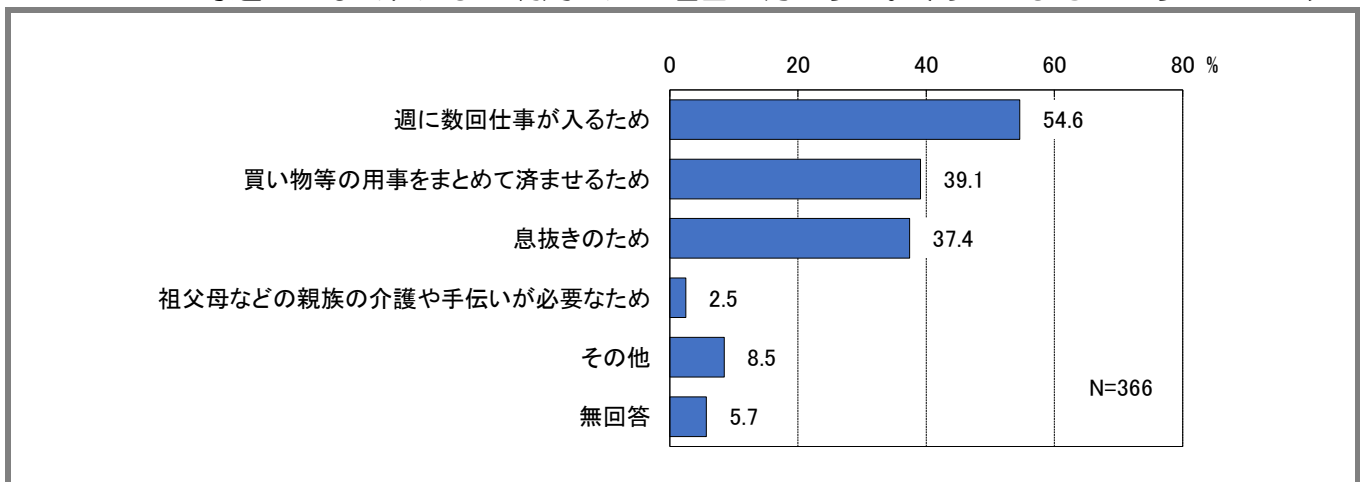
利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で「2. ほぼ毎週利用したい」と答えた方に、利用したい理由を尋ねたところ、「仕事があるため」が86.5%と最も多く、以下、「用事を済ませるため」が28.1%、「息抜きのため」が22.5%となっている。

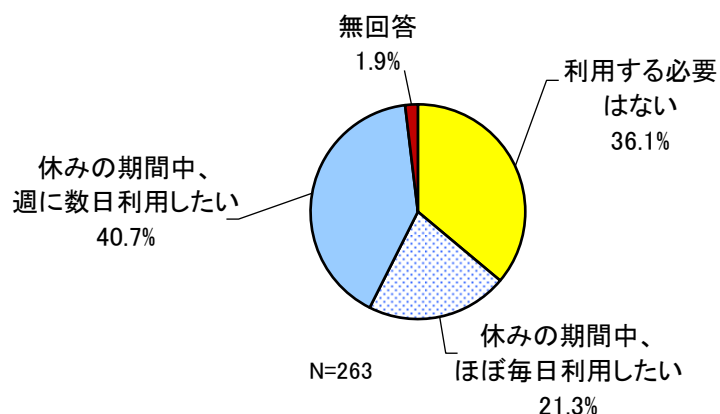
問 15-2 問 15 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



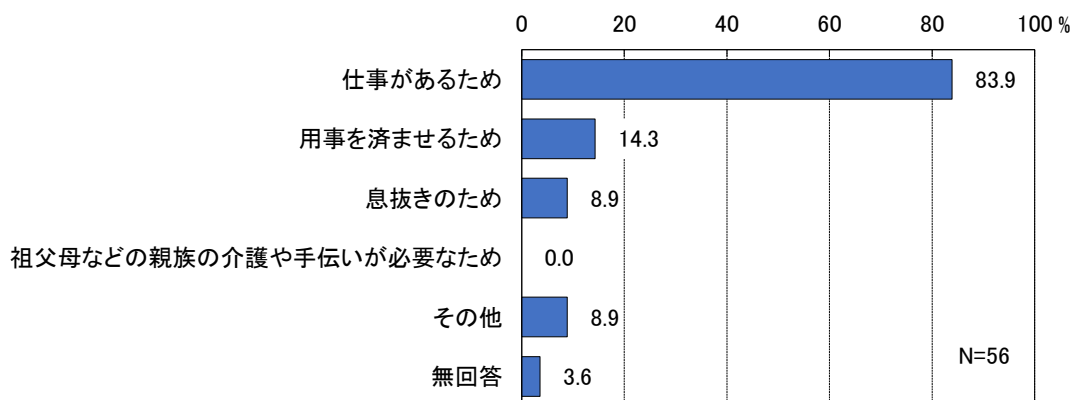
- 前問で「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方に、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「週に数回仕事が入るため」が54.6%と最も多く、以下、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が39.1%、「息抜きのため」が37.4%となっている。

問 16 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。



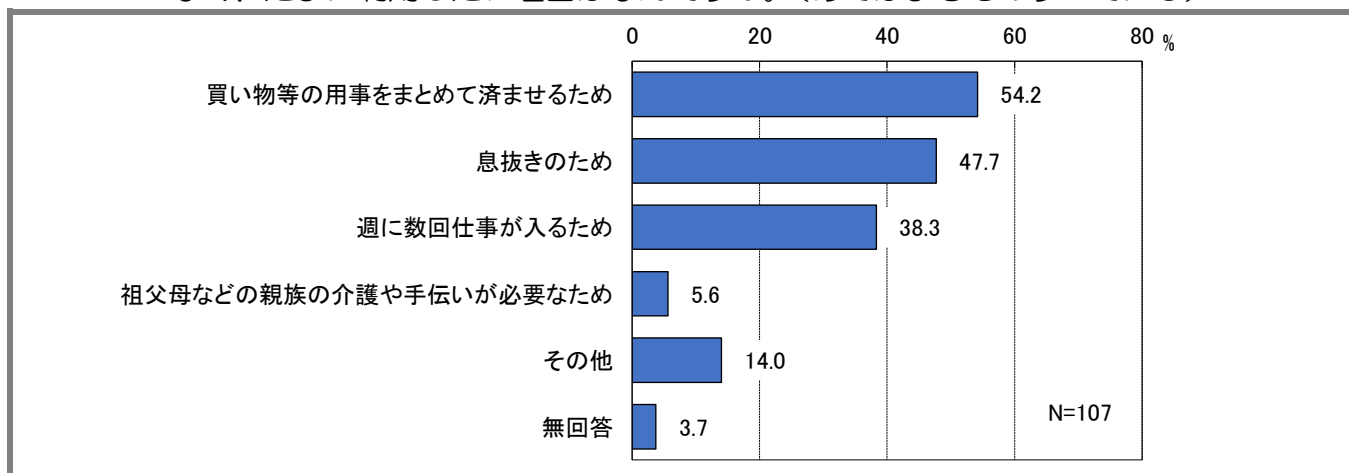
- 幼稚園利用者に長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望を尋ねたところ、21.3%の人が「ほぼ毎日利用したい」と回答しており、「週に数日利用したい」（40.7%）と回答した人を合わせると、62.0%の人が利用したいと考えていることがわかる。

問 16-1 問 16 で、「2. ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で「2. ほぼ毎日利用したい」と答えた方に、利用したい理由を尋ねたところ、「仕事があるため」が83.9%と最も多く、以下、「用事を済ませるため」が14.3%、「息抜きのため」が8.9%となっている。

問 16-2 問 16 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

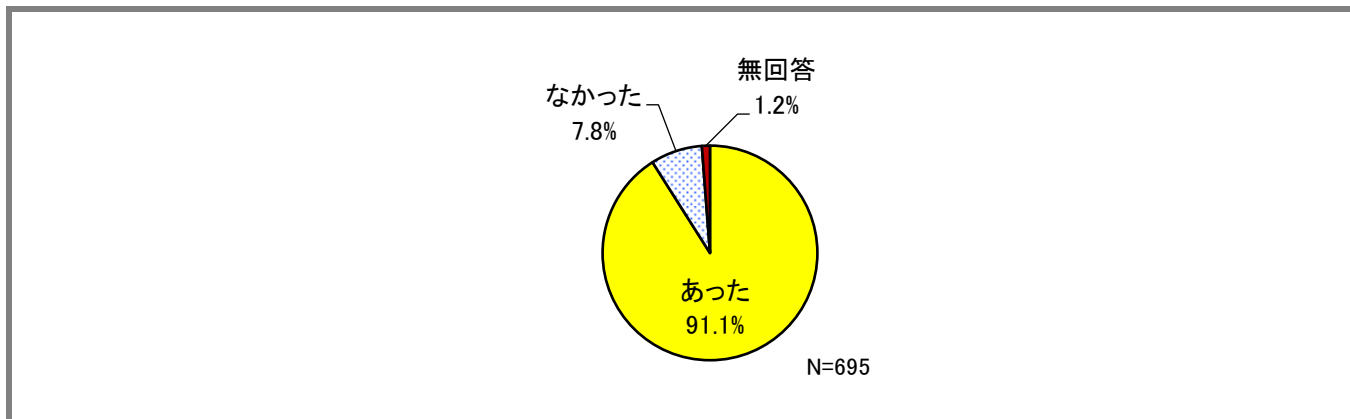


- 前問で「3. 週に数日利用したい」と答えた方に、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が54.2%と最も多くなっており、以下、「息抜きのため」が47.7%、「週に数回仕事が入るため」が38.3%となっている。



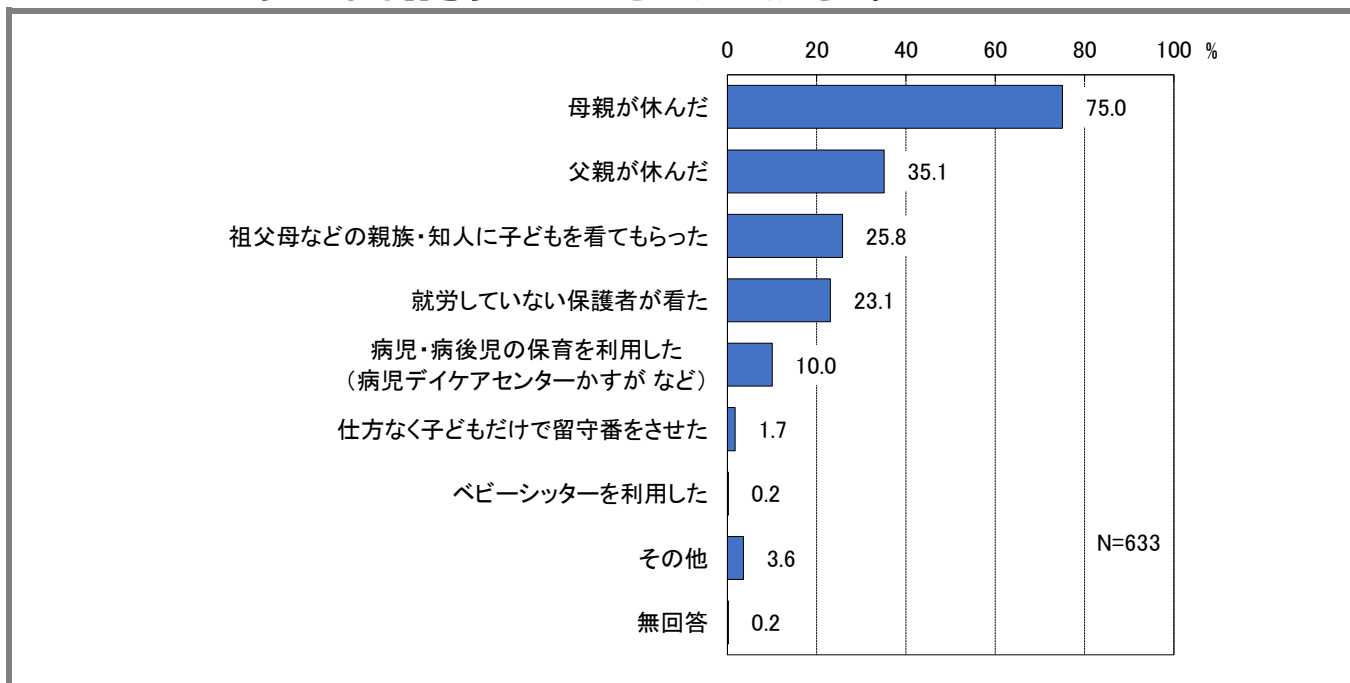
## 8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 17 平日の定期的な教育・保育を利用している保護者の方にうかがいます。  
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありましたか。



- 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している保護者のうち、この1年間に、対象の子どもが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったことが「あった」と回答した人は91.1%であった。

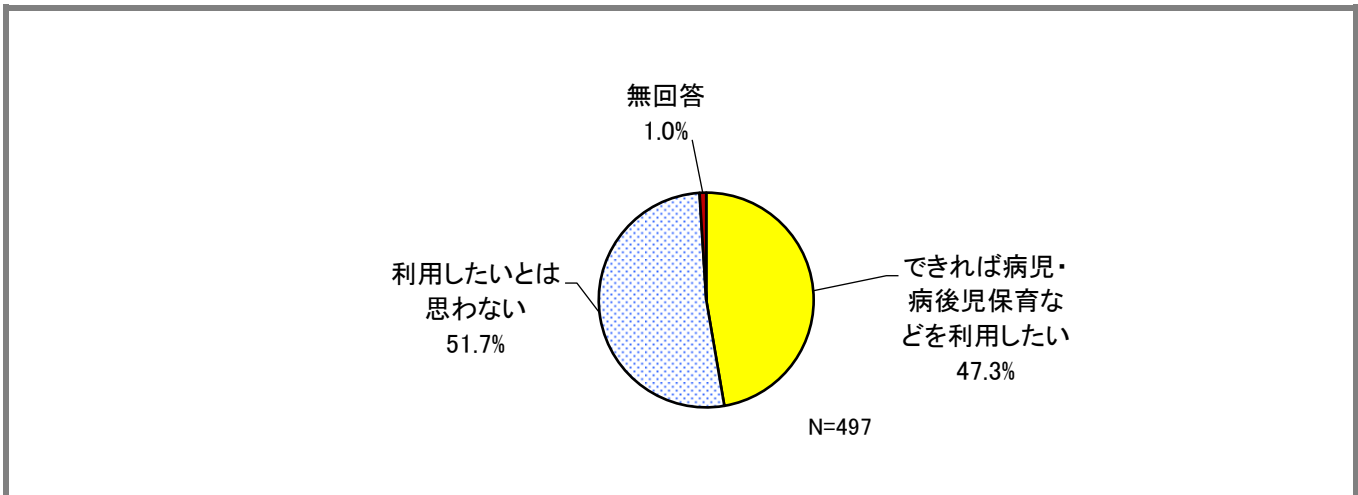
問 17-1 問 17 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけてください。



- 子どもが病気やけがで幼稚園・保育所を利用できなかった場合の対処方法を尋ねたところ、「母親が（仕事を）休んだ」という回答が75.0%と最も多く、「父親が休んだ」が35.1%でそれに続いている。

問 17-2 問 17-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にかがいます。

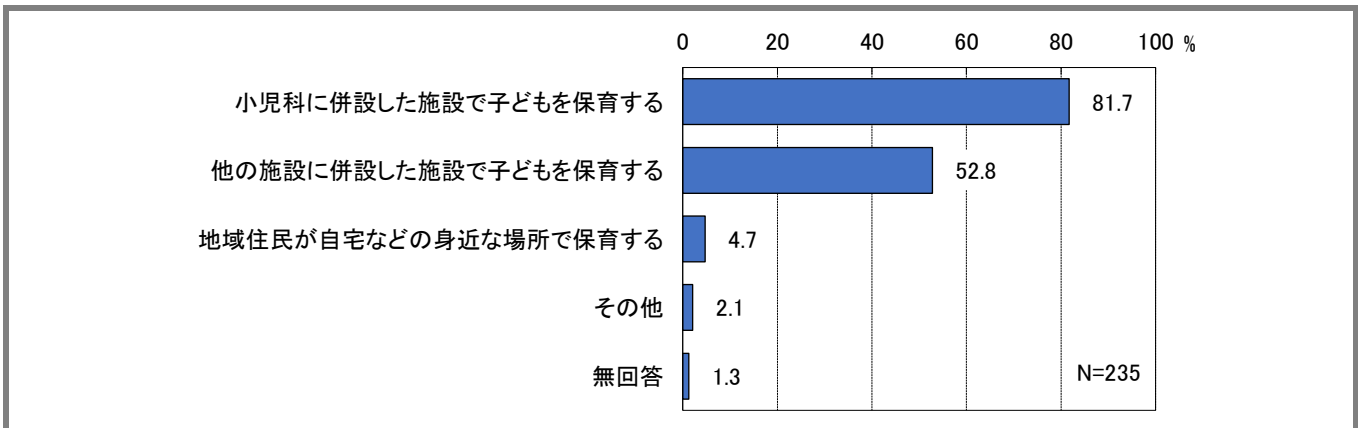
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



● 前問で、両親のいずれかが（仕事を）休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った人の割合は47.3%であった。

問 17-3 問 17-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方にかがいます。

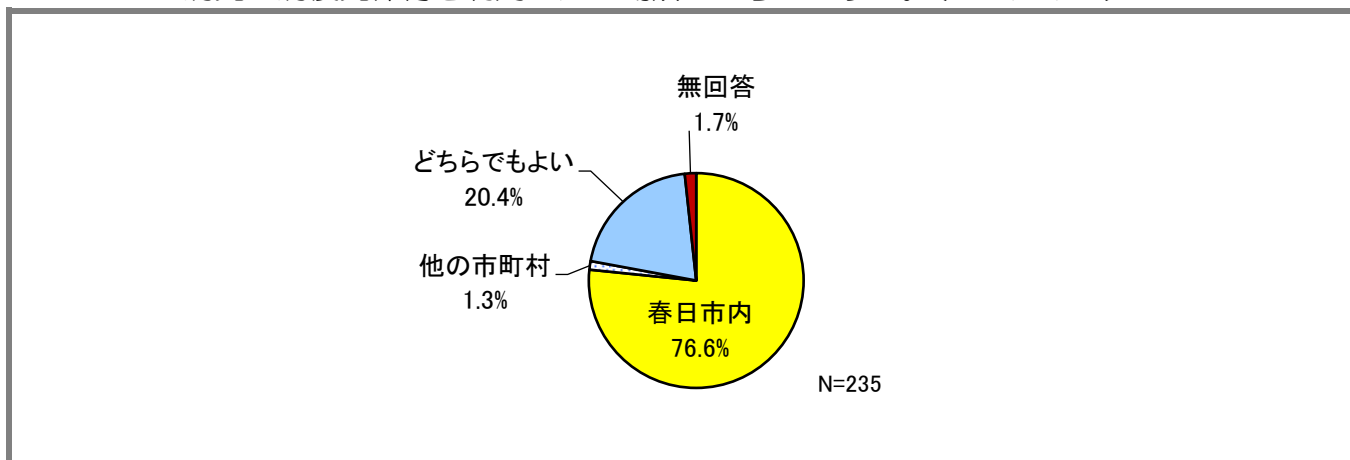
下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。（あてはまるものすべてに○）



● 前問で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と回答した人に、望ましい事業形態を尋ねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する」という回答が81.7%と最も多くなっている。

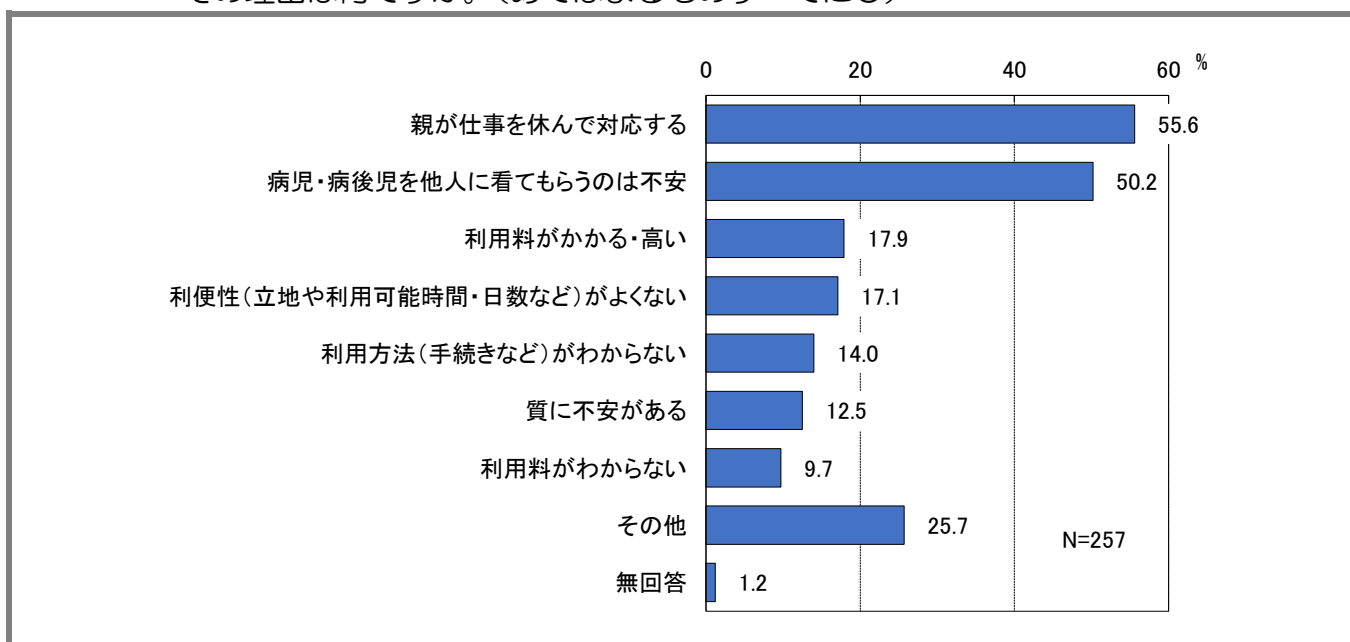
問 17-4 問 17-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方にかがいます。

病児・病後児保育を利用したい場所はどちらですか。（1 つだけ○）



- 前問で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と回答した人に、利用したい場所を尋ねたところ、「春日市内」が76.6%と最も多くなっており、「他の市町村」という回答は1.3%であった。

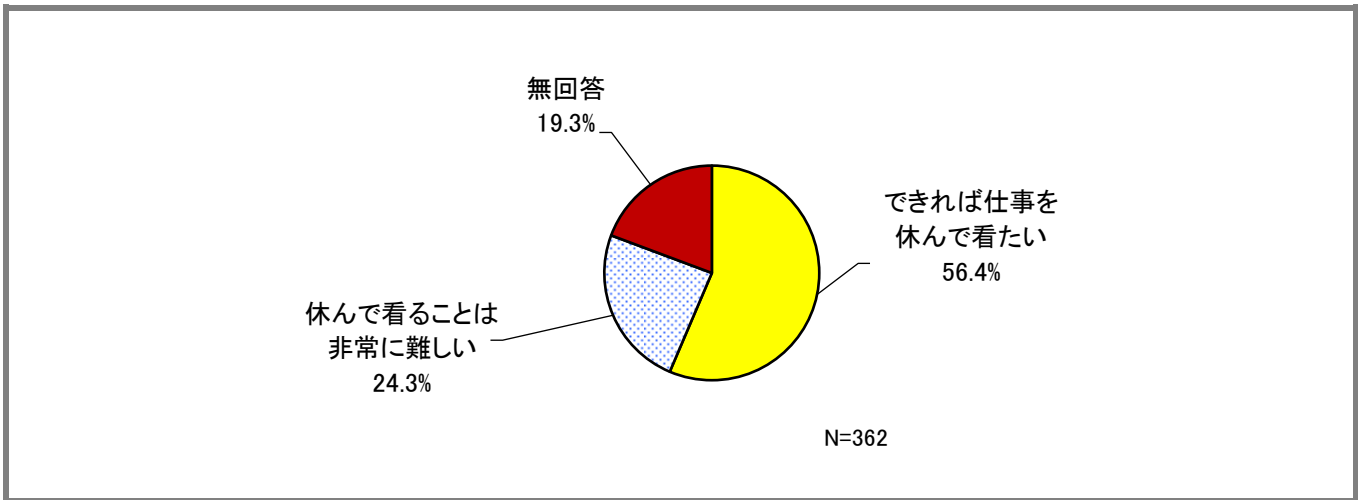
問 17-5 問 17-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にかがいます。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 問 17-2 で病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「親が仕事を休んで対応する」という回答が55.6%と最も多く、以下、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が50.2%、「利用料がかかる・高い」が17.9%と続いている。
- 「その他」の内容としては、「病気の時こそそばにいてあげたい」「他の病気をもらいそう」「弁当、オムツ、ふとんの準備など大変」「その場まで連れて行くのが大変」などの理由があがっている。

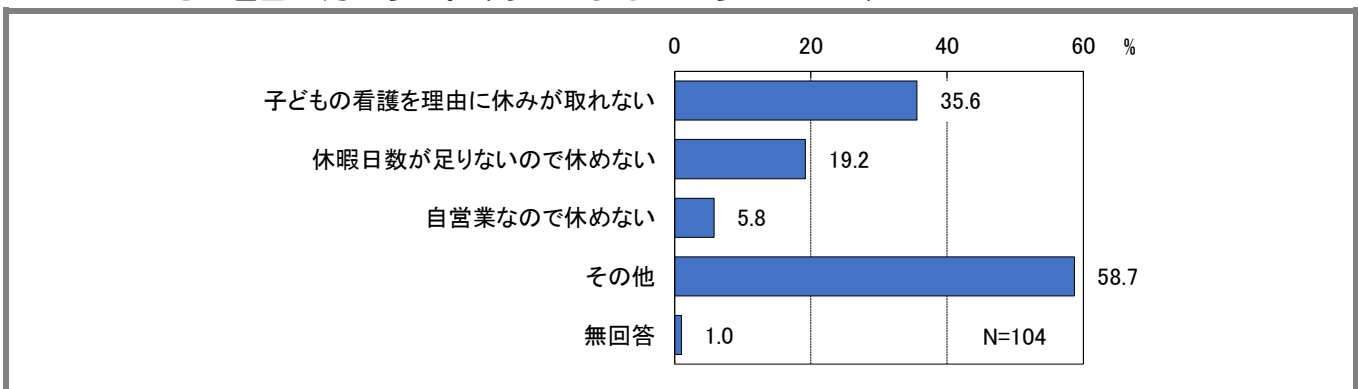
問 17-6 問 17-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」以外に○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



- 子どもが病気やけがのときに両親が休む以外の方法で対処した場合に、「できれば仕事を休んで看たい」と思ったと回答した人の割合は56.4%であった。

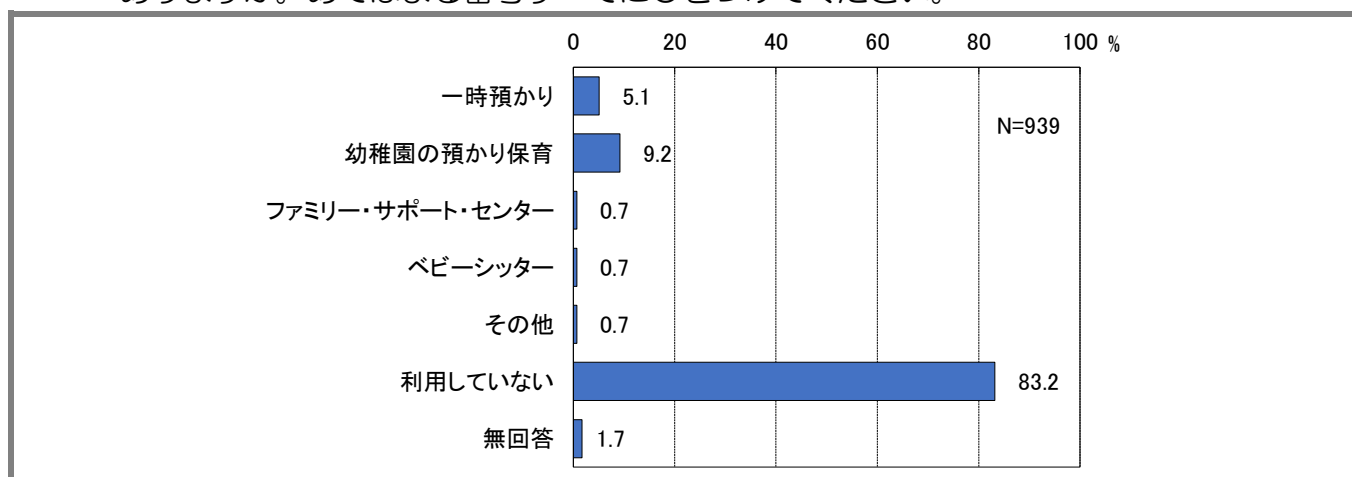
問 17-7 問 17-6 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で「休んで看することは非常に難しい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「子どもの看護を理由に休みが取れない」という回答が35.6%と多くなっている。
- 「その他」の内容としては、「休めば給料が減るため」「夜勤があるので代替りの人を探すのが大変」「休みが取りづらい」などがあがっている。

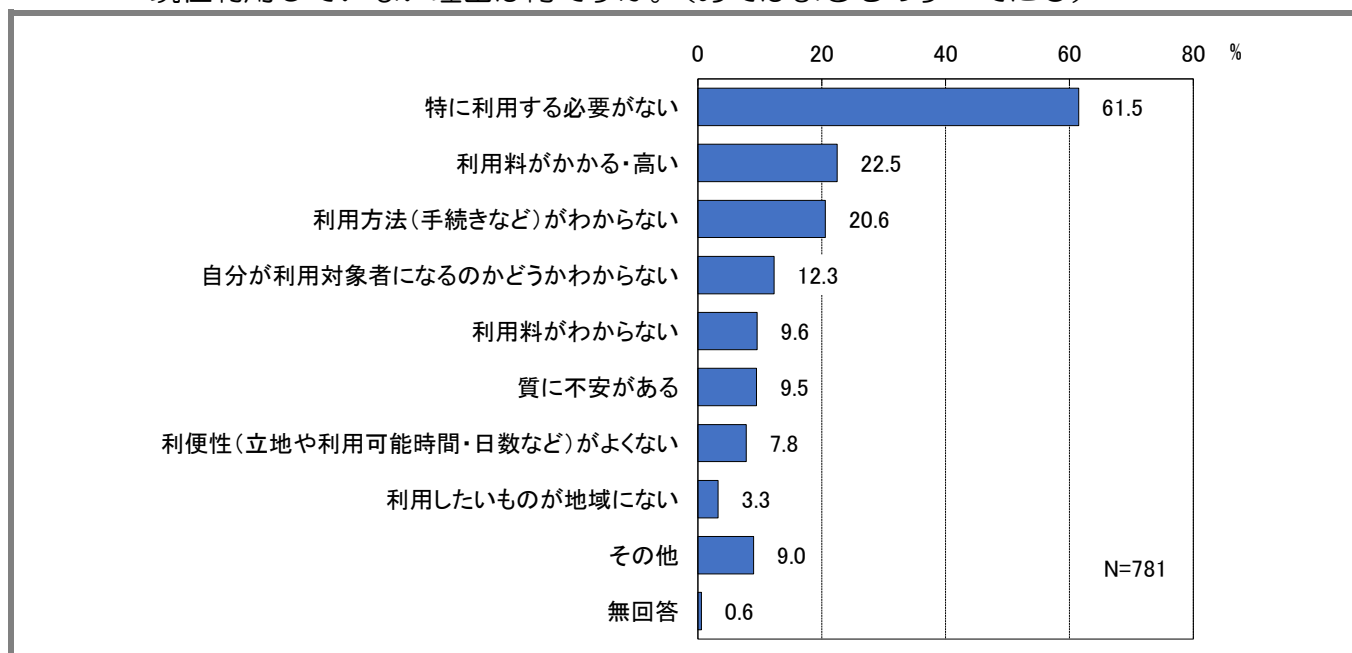
## 9. 宛名のお子さんの不規則の教育・保育や宿泊を伴う一時保育などの利用について

問 18 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、冠婚葬祭、リフレッシュ、幼稚園の長期休暇、親の通院、不規則の就労など、理由を問わない目的で不規則に利用しているものがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



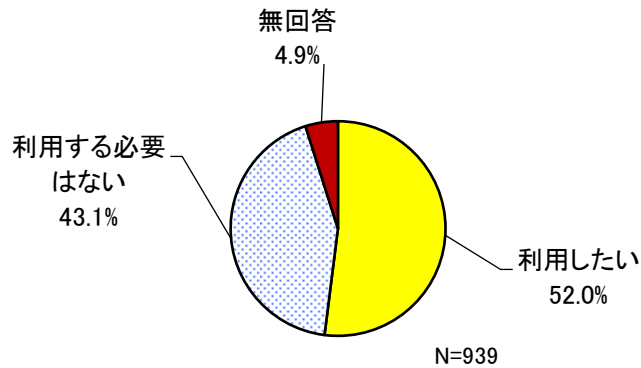
- 私用や親の通院、不規則の就労などのため、不規則に利用している事業があるか尋ねたところ、「利用していない」と回答した人は83.2%で、何らかの事業を利用している人は15.1%となっている。

問 18-1 問 18で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。  
現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

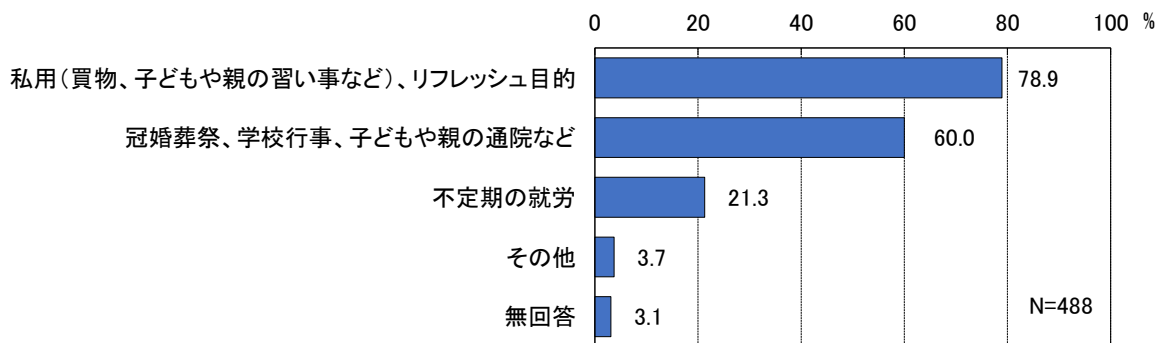


- 前問で「6. 利用していない」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」と回答した人が61.5%と大半を占めているが、それ以外の理由としては「利用料がかかる・高い」(22.5%)や「利用方法(手続きなど)がわからない」(20.6%)が上位にあがっている。

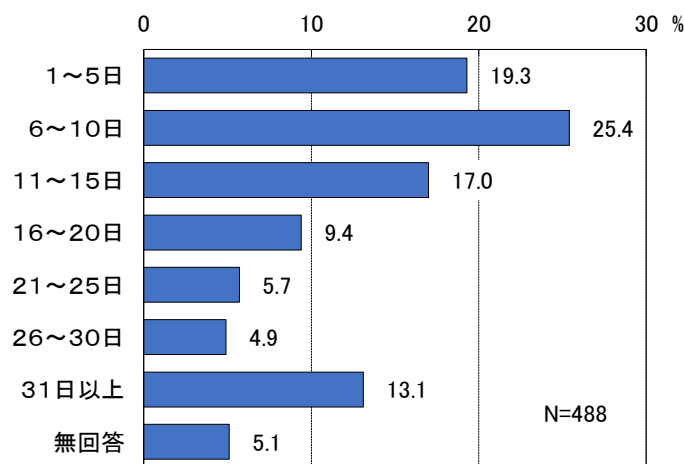
問 19 宛名のお子さんについて、病気のため以外に冠婚葬祭、リフレッシュ、幼稚園の長期休暇、親の通院、不定期の就労など、理由を問わない目的で、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



【目的の内訳】

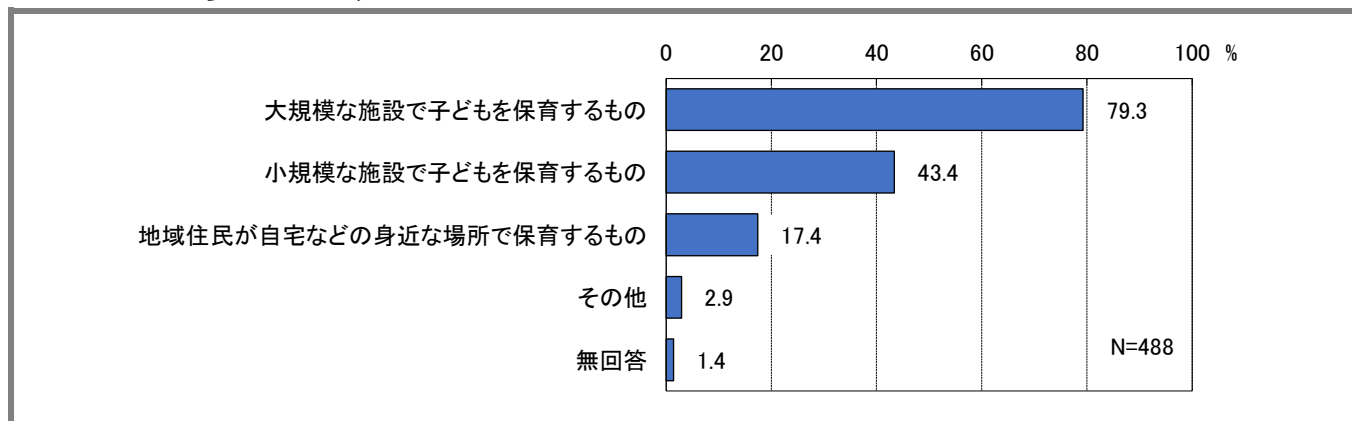


【年間必要日数】



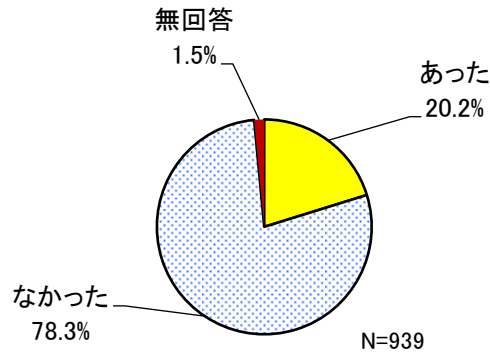
● 私用や親の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を「利用したい」と回答した人の割合は 52.0%となっているが、年間必要日数については、そのうちの 44.7%の人が年間 10 日以内の日数を回答している。

問 19-1 問 19で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 19の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

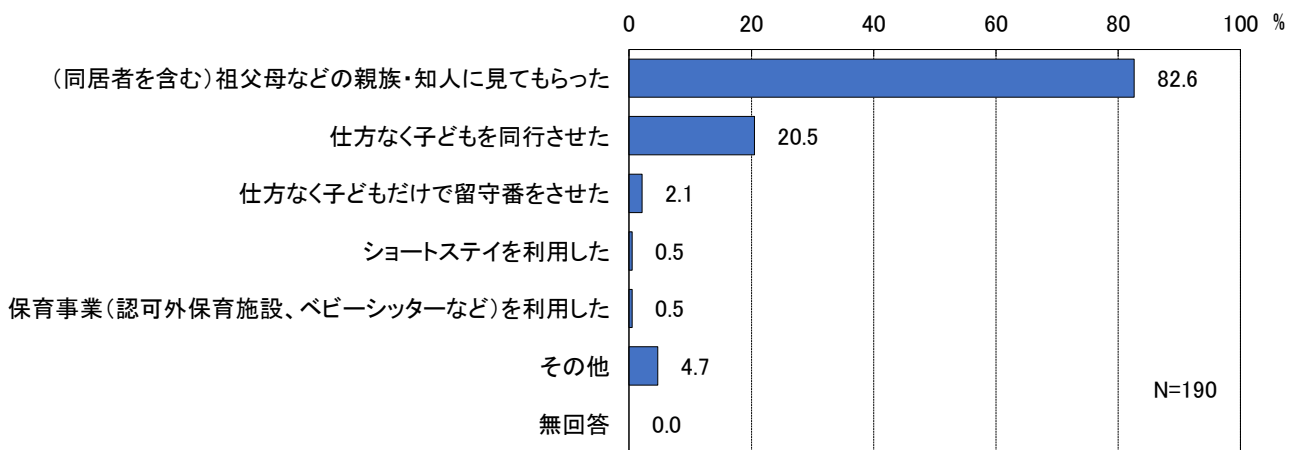


- 前問で、「利用したい」と回答した人に、望ましい事業形態を尋ねたところ、「大規模な施設で子どもを保育するもの」という回答が79.3%と最も多くなっている。

問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



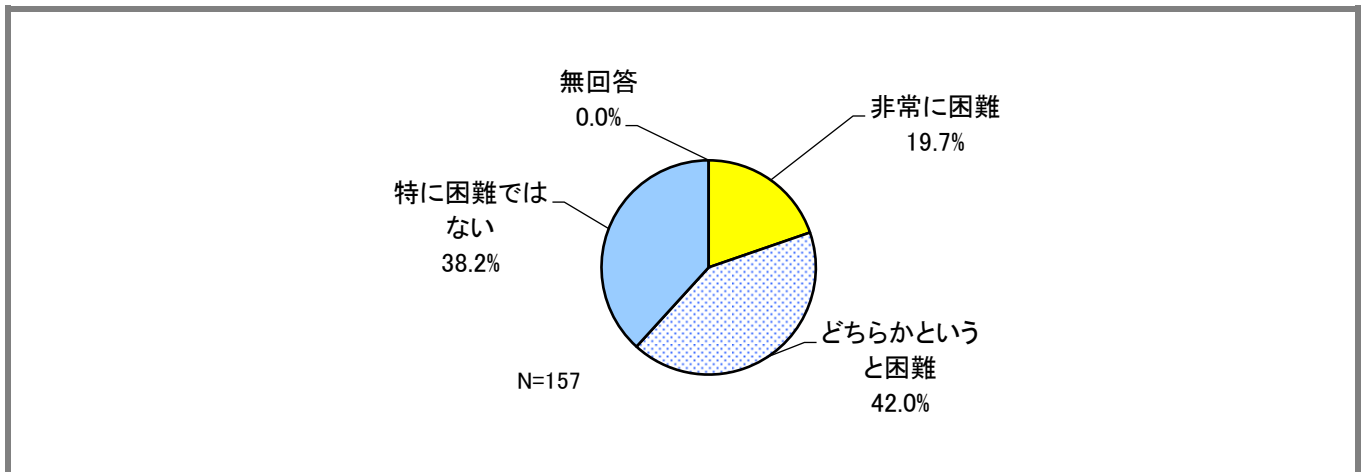
【対処方法の内訳】



- この1年間に、保護者の用事などにより、就学前の子どもを泊まりがけで家族以外に見てもらわなければならないことが「あった」と回答した人の割合は20.2%であった。
- 対処方法の内訳としては、「(同居者を含む) 親族・知人に見てもらった」が82.6%と大半を占めており、「仕方なく子どもを同行させた」が20.5%でそれに続いている。



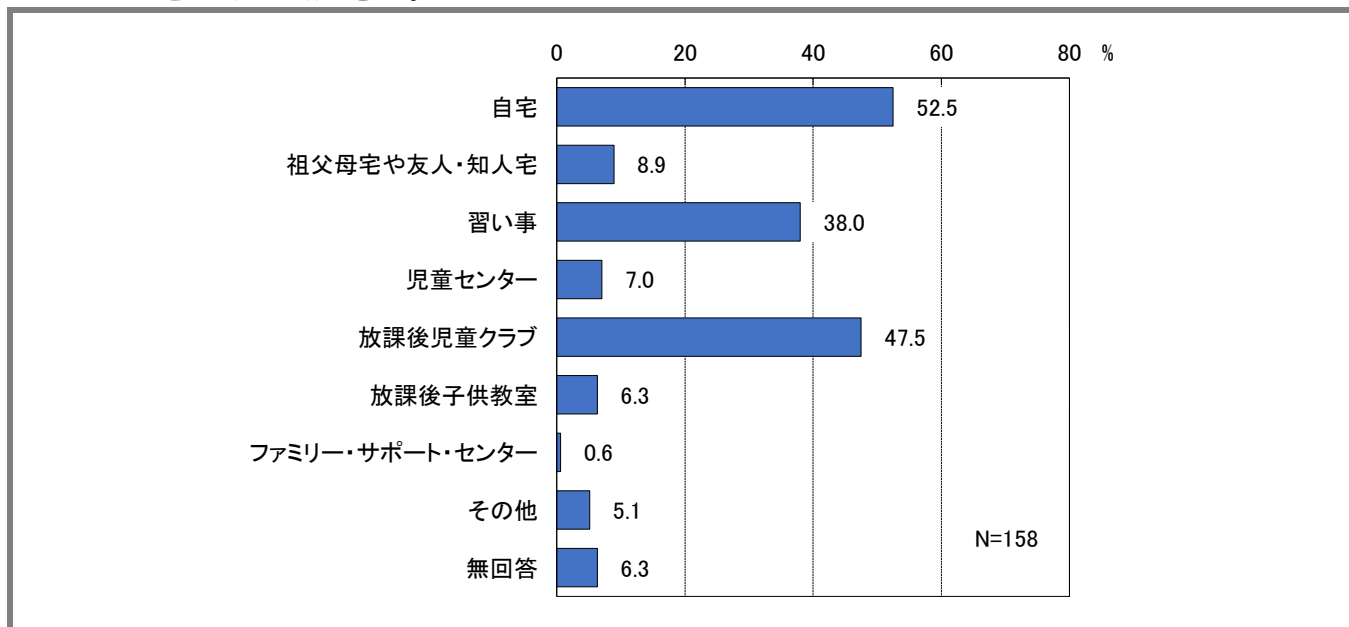
問 20-1 問 20 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人に見てもらった」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つだけ○)



- 「親族・知人に見てもらった」場合の困難度を尋ねたところ、「非常に困難」(19.7%) または「どちらかという困難」(42.0%) と回答した人は61.7%となっている。
- 「特に困難ではない」と回答した人の割合は38.2%であった。

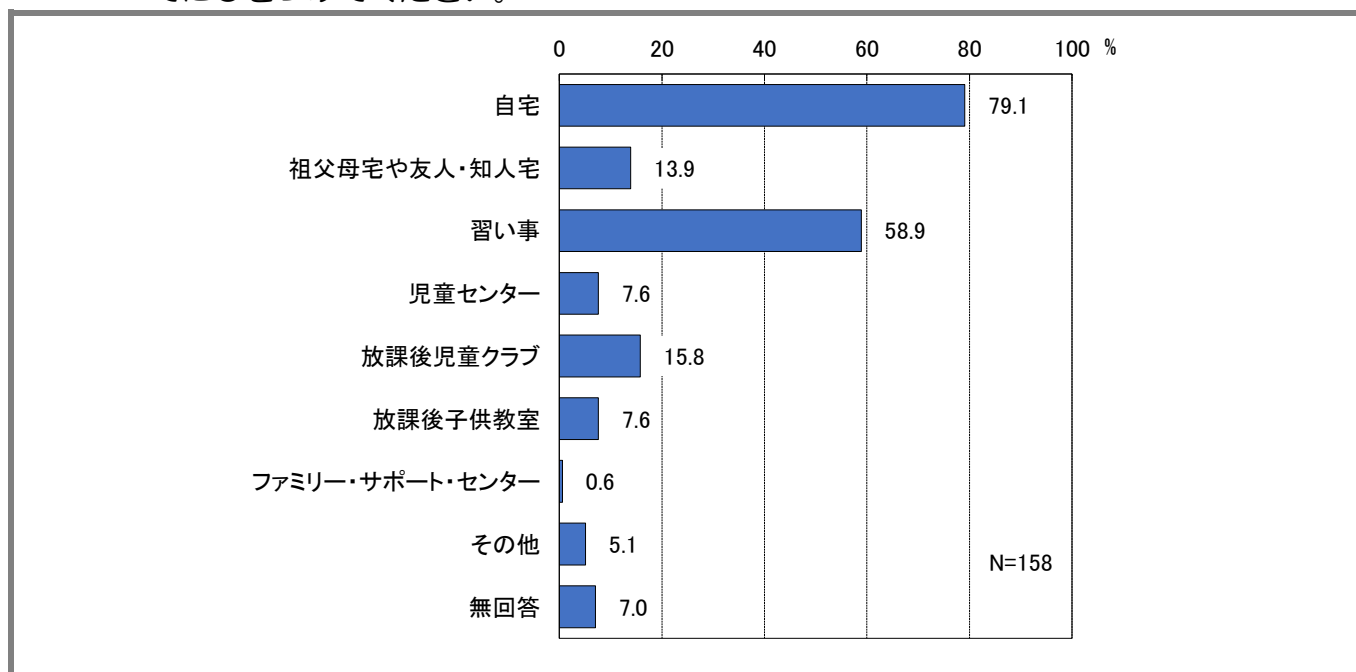
## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問21 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 小学校低学年の放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ」を希望する人の割合は全体の47.5%、「放課後子供教室」を希望する人の割合は6.3%であった。

問22 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

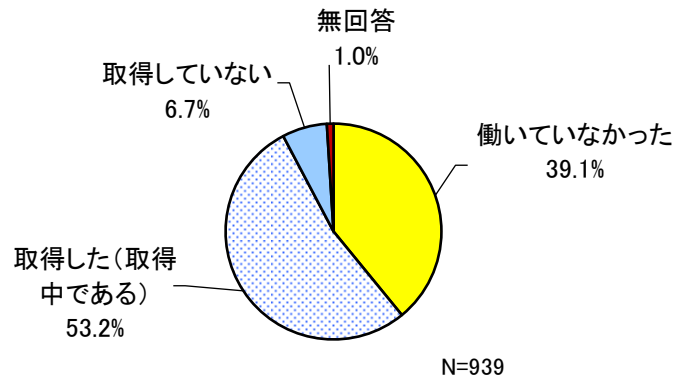


- 小学校高学年の放課後の過ごし方については、低学年に比べ「習い事」（58.9%）を希望する人の割合が高くなっており、その反面「放課後児童クラブ」を希望する人の割合は 15.8%と低くなっている。

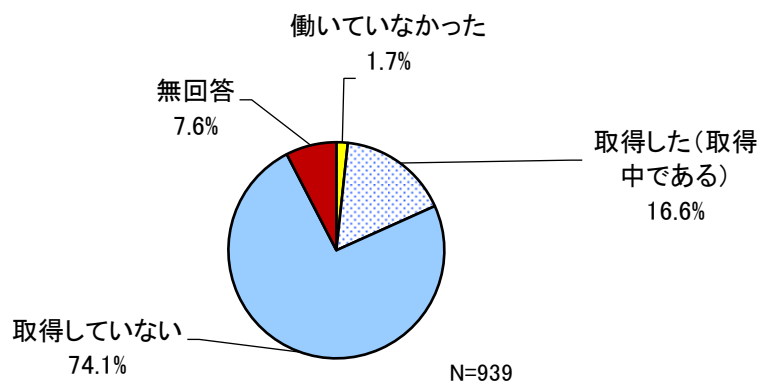
## 11. 育児休業など職場の両立支援制度について

問23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つだけ○）

### 【母親】



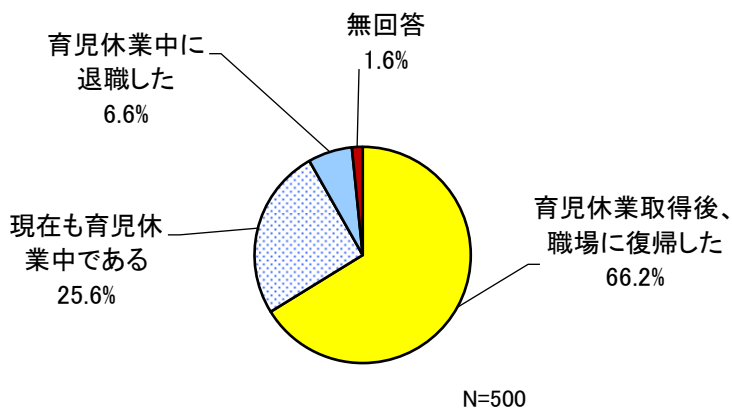
### 【父親】



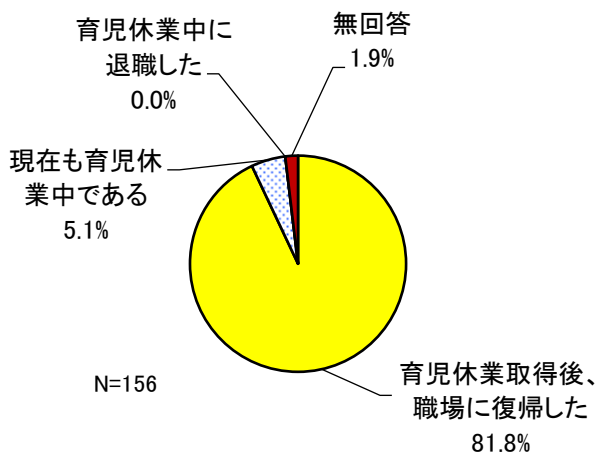
- 育児休業を「取得した」割合は、母親で 53.2%、父親で 16.6%となっているが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で 88.8%、父親で 18.3%となっている。

問23-1 問23で「2.取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。  
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つだけ○）

【母親】



【父親】

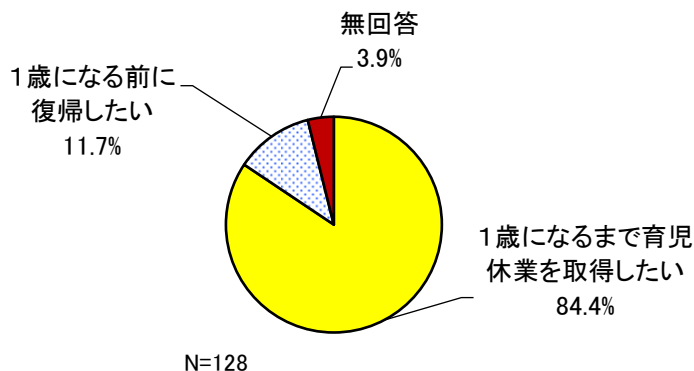


- 「育児休業取得後、職場に復帰した」母親の割合は66.2%、父親は81.8%となっており、「育児休業中に退職した」のは母親のみ（6.6%）となっている。

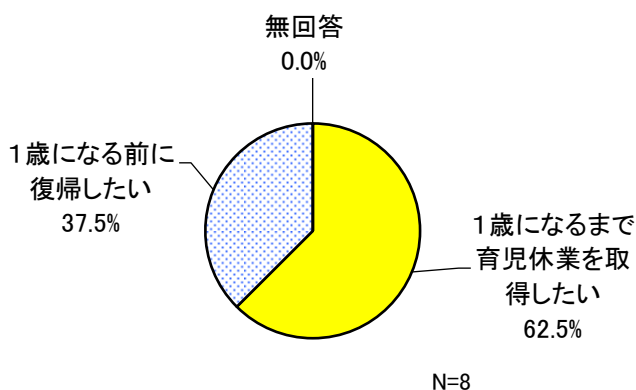
問23-2 問23-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられるところがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

【母親】



【父親】

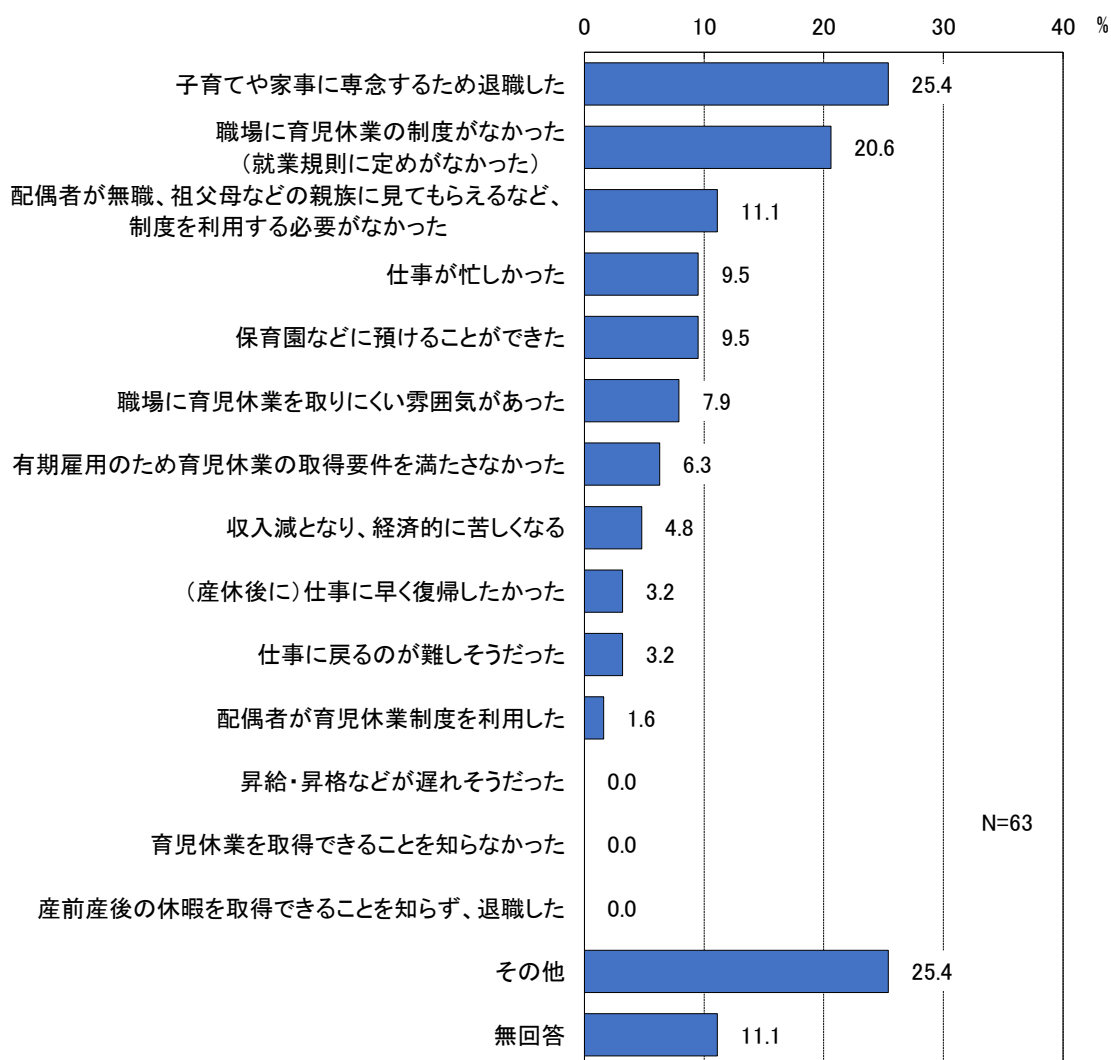


- 子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した人の割合は、母親で84.4%、父親で62.5%となっている。

問23-3 問23で「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

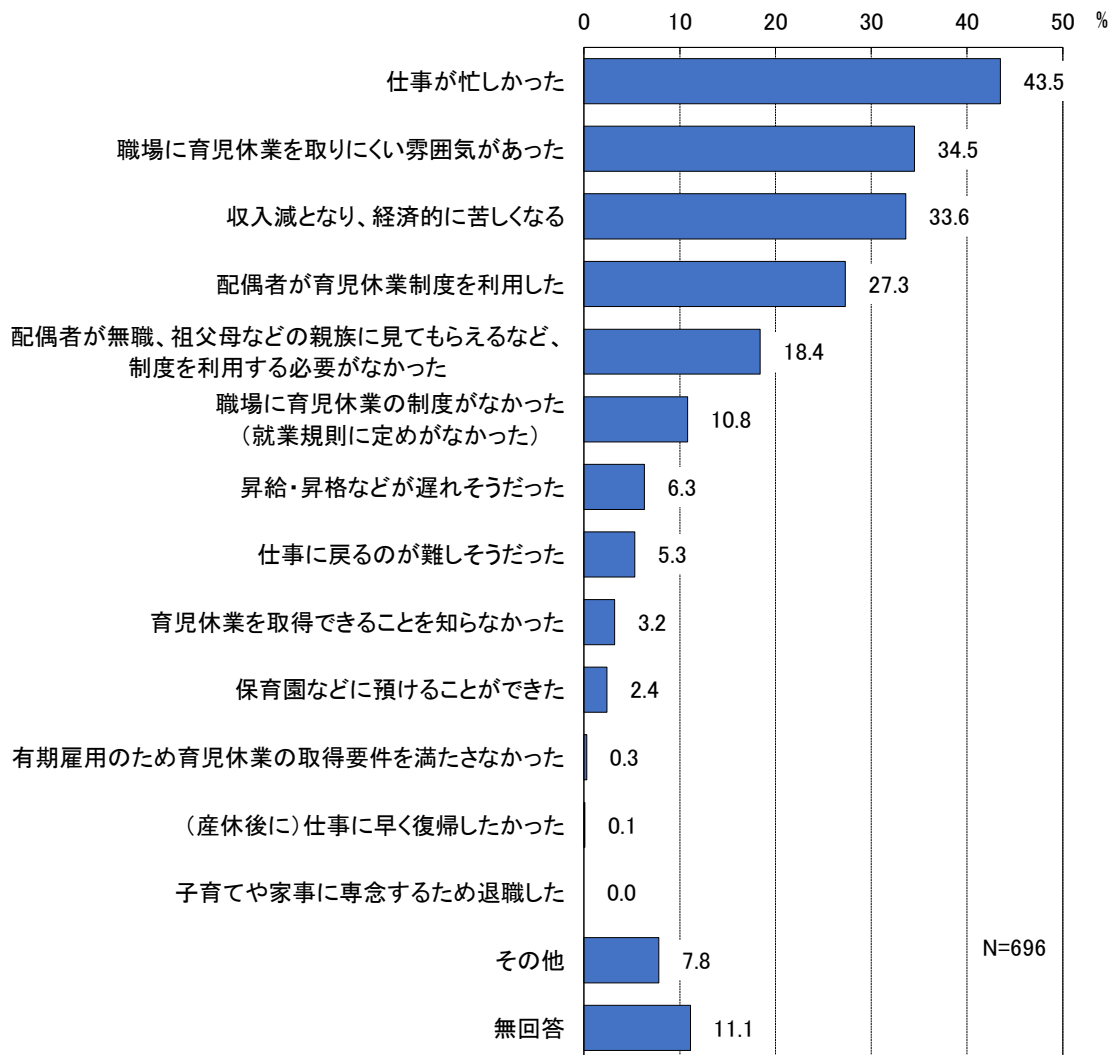
取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、あてはまるすべての番号を( )内に数字でご記入ください。

【母親】



- 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が25.4%と最も多く、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が20.6%で、それに次ぐ回答割合となっている。

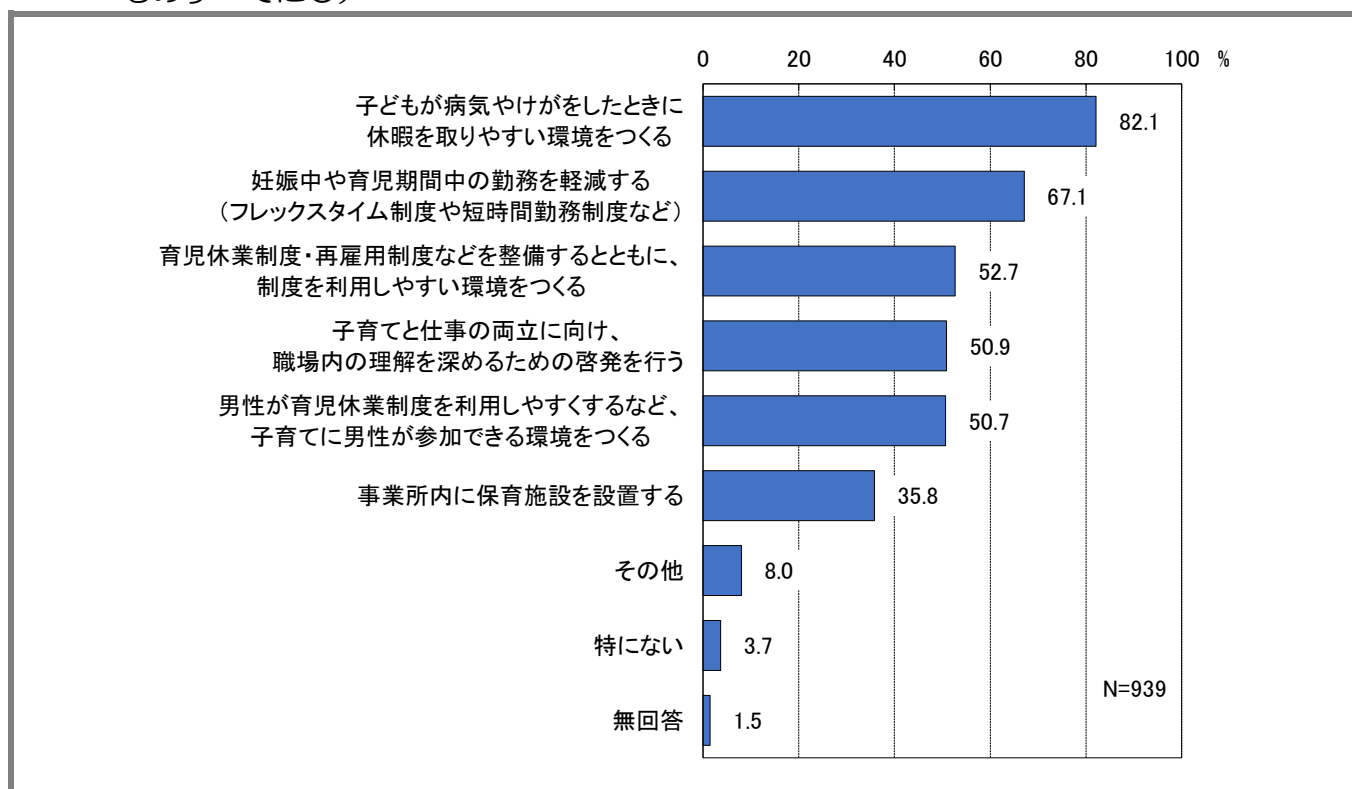
【父親】



- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「仕事が多忙だった」（43.5%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（34.5%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（33.6%）などが上位にあがっている。



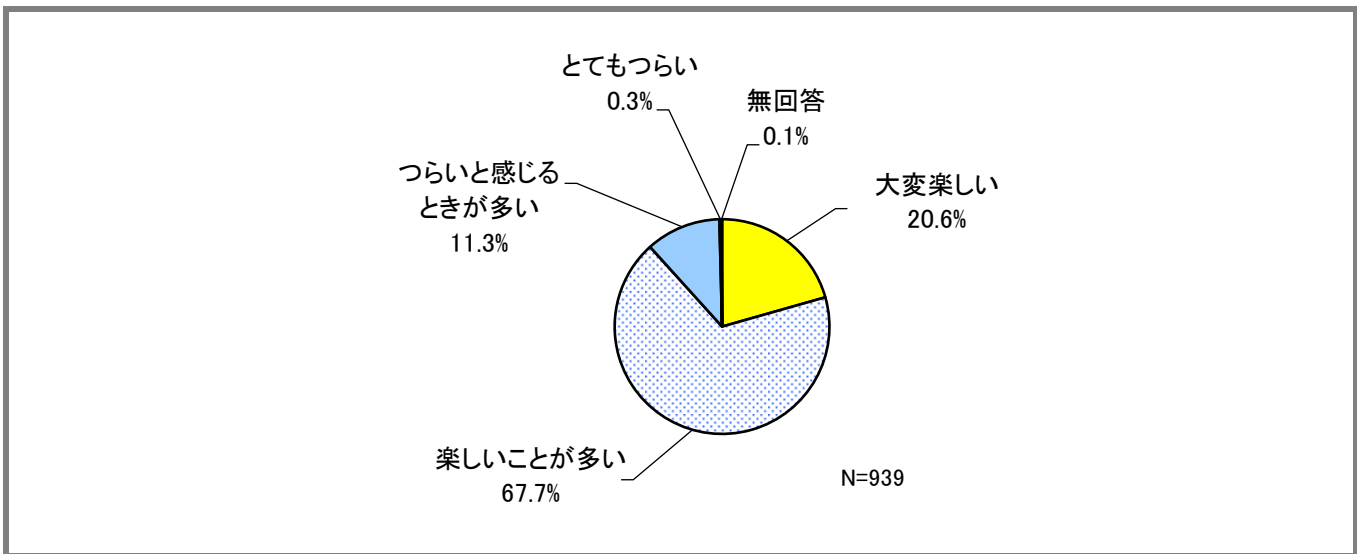
問24 子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）



- 子育てと仕事の両立支援として企業に期待することとしては、「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」という回答割合が82.1%と最も高く、「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）」が67.1%でそれに続いている。

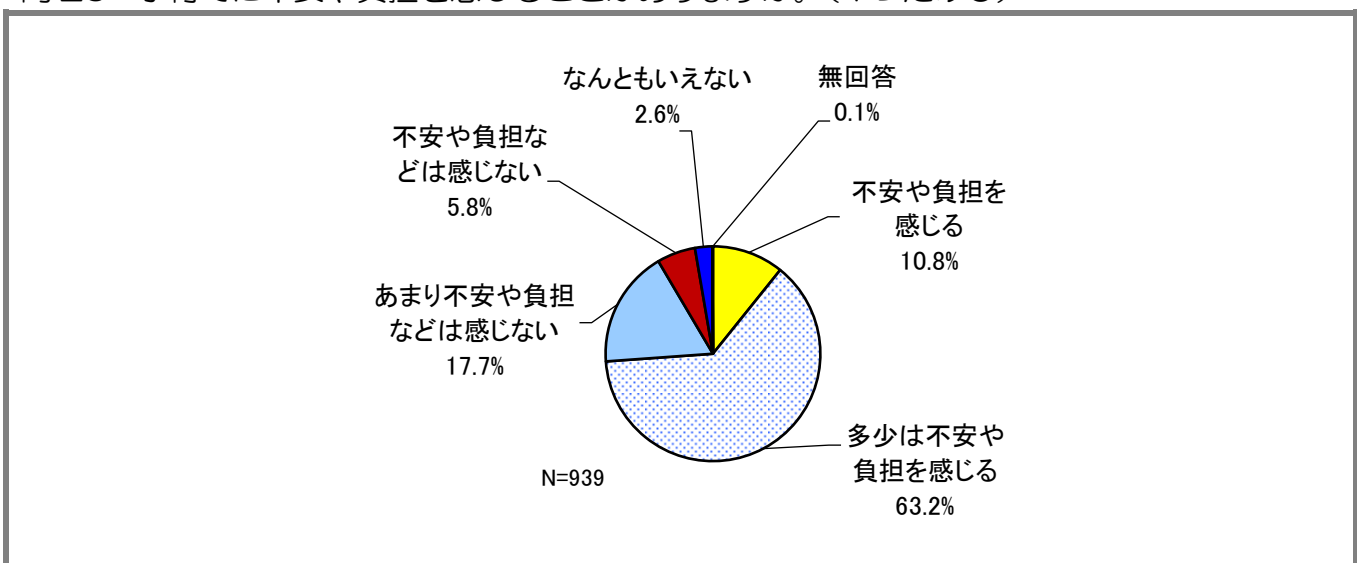
## 12. 子育て全般について

問25 あなたは、子育てをどのように思いますか。（1つだけ○）



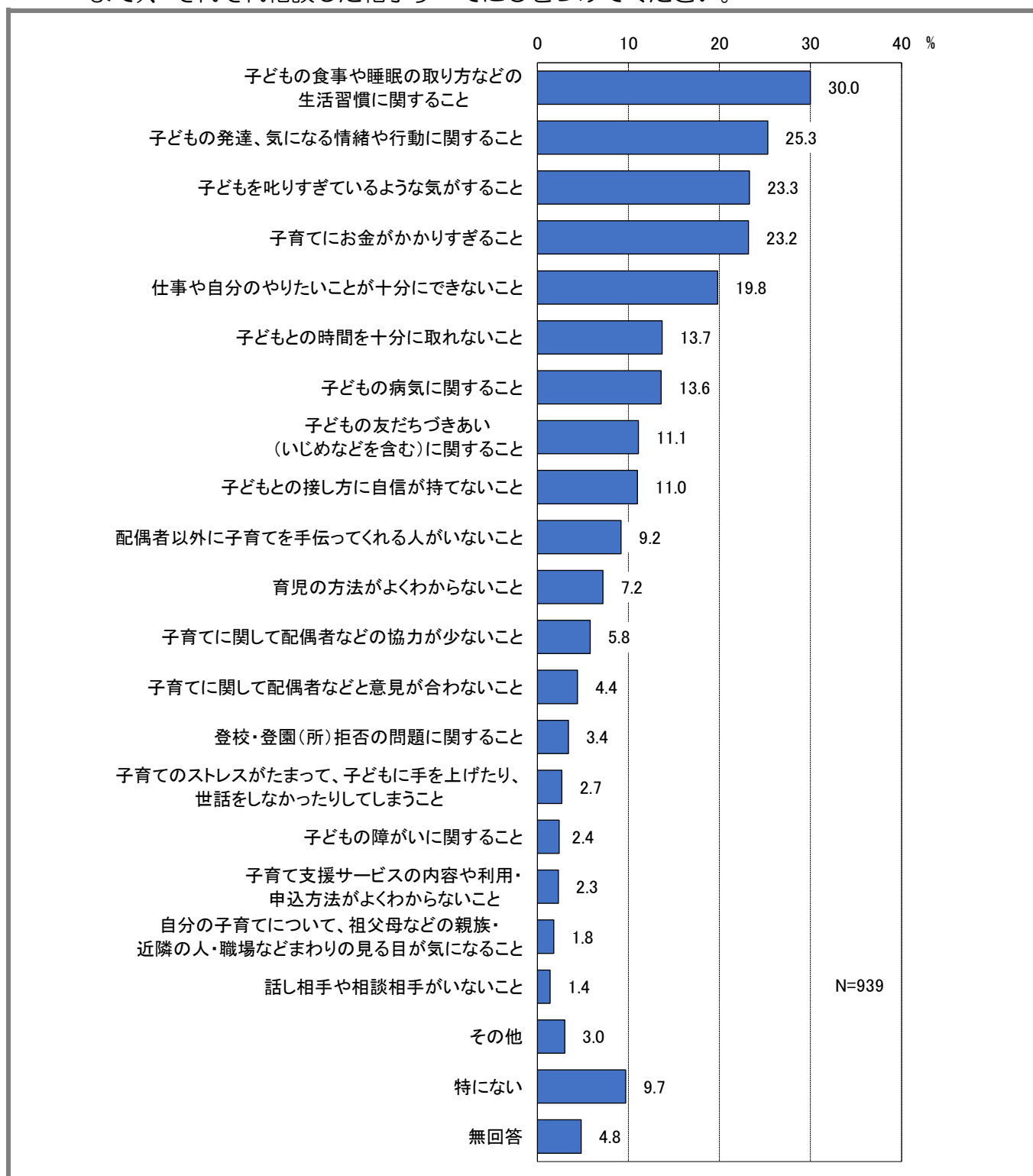
- 子育てを「大変楽しい」、「楽しいことが多い」と回答した人が 88.3%と大半を占めているが、一方で「つらいと感じるときが多い」（11.3%）、「とてもつらい」（0.3%）と回答した人もいる。

問26 子育てに不安や負担を感じることがありますか。（1つだけ○）



- 子育てに「不安や負担を感じる」と回答した人の割合は 10.8%で、「多少は不安や負担を感じる」（63.2%）と回答した人を合わせると 74.0%となっている。

問27 子育てに関して、どのような悩みがありますか。特にあてはまるものに○をつけ（3つまで）、それぞれ相談した相手すべてに○をつけてください。



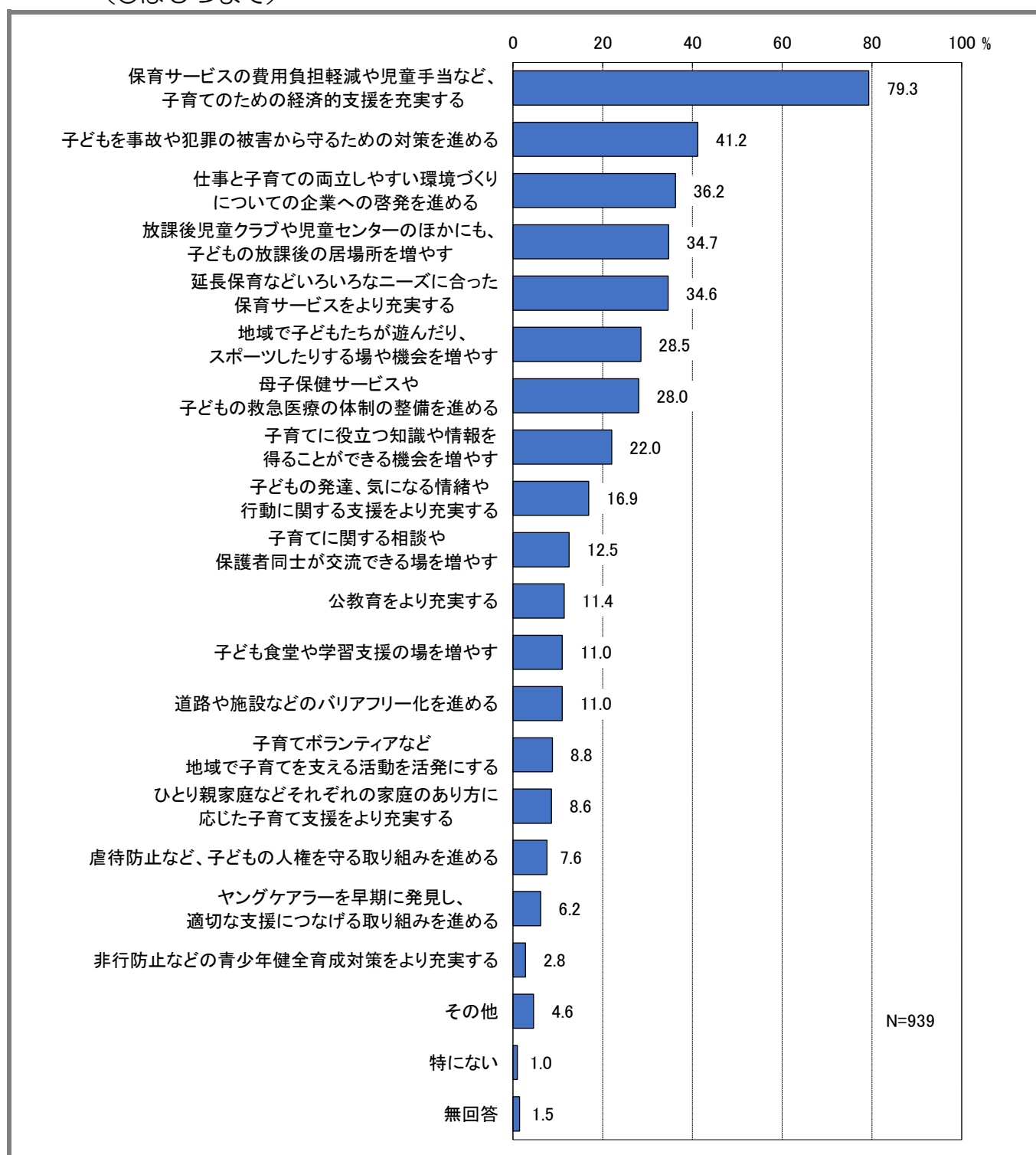
- 子育てに関する悩みとしては、「子どもの食事や睡眠の取り方などの生活習慣に関すること」が30.0%と最も多く、以下、「子どもの発達、気になる情緒や行動に関すること」（25.3%）、「子どもを叱りすぎているような気がする」（23.3%）、「子育てにお金がかかりすぎる」（23.2%）と続いている。
- 悩みの内容ごとの相談相手は、次ページのとおりとなっている。

【相談した相手】

（単位：％）

相談相手 悩みの内容（回答者数）	公的 相談 機関	医療 機関	幼稚園・ 保育所など	親戚・ 知人に 相談した	その他	誰にも 相談して いない	無 回答
子どもの食事や睡眠の取り方などの生活習慣に関すること (282)	13.8	13.5	36.5	66.0	6.4	11.3	1.4
育児の方法がよくわからないこと (68)	17.6	4.4	32.4	67.6	13.2	8.8	0.0
子どもの病気に関すること (128)	7.0	74.2	18.8	50.0	4.7	3.9	0.0
子どもの障がいに関すること (23)	65.2	73.9	43.5	34.8	39.1	0.0	0.0
子どもの発達、気になる情緒や行動に関すること (238)	45.0	21.8	53.8	52.5	9.2	7.6	0.4
登校・登園(所)拒否の問題に関すること (32)	21.9	9.4	62.5	56.3	12.5	9.4	0.0
子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること (104)	5.8	1.9	47.1	58.7	9.6	14.4	2.9
子どもとの時間を十分に取れないこと (129)	3.1	1.6	9.3	39.5	10.1	46.5	3.1
子どもとの接し方に自信が持てないこと (103)	9.7	1.9	19.4	45.6	11.7	34.0	2.9
自分の子育てについて、祖父母などの親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること (17)	5.9	0.0	23.5	47.1	11.8	35.3	0.0
子どもを叱りすぎているような気がする事 (219)	7.8	0.9	16.4	60.3	9.6	27.4	0.9
子育てのストレスがたまって、子どもに手を上げたり、世話をしなかつたりしてしまうこと (25)	4.0	4.0	4.0	36.0	8.0	44.0	4.0
話し相手や相談相手がないこと (13)	7.7	0.0	15.4	38.5	7.7	46.2	0.0
子育てに関して配偶者などの協力が少ないこと (54)	11.1	0.0	7.4	74.1	3.7	22.2	0.0
子育てに関して配偶者などと意見が合わないこと (41)	9.8	2.4	4.9	63.4	4.9	26.8	4.9
配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと (86)	7.0	1.2	4.7	30.2	3.5	60.5	4.7
仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと (186)	2.2	0.0	1.6	39.8	11.8	47.8	4.3
子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと (22)	18.2	0.0	9.1	18.2	4.5	68.2	0.0
子育てにお金がかかりすぎる事 (218)	1.8	0.0	1.4	33.5	5.0	57.3	4.1

問28 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。  
 (〇は5つまで)

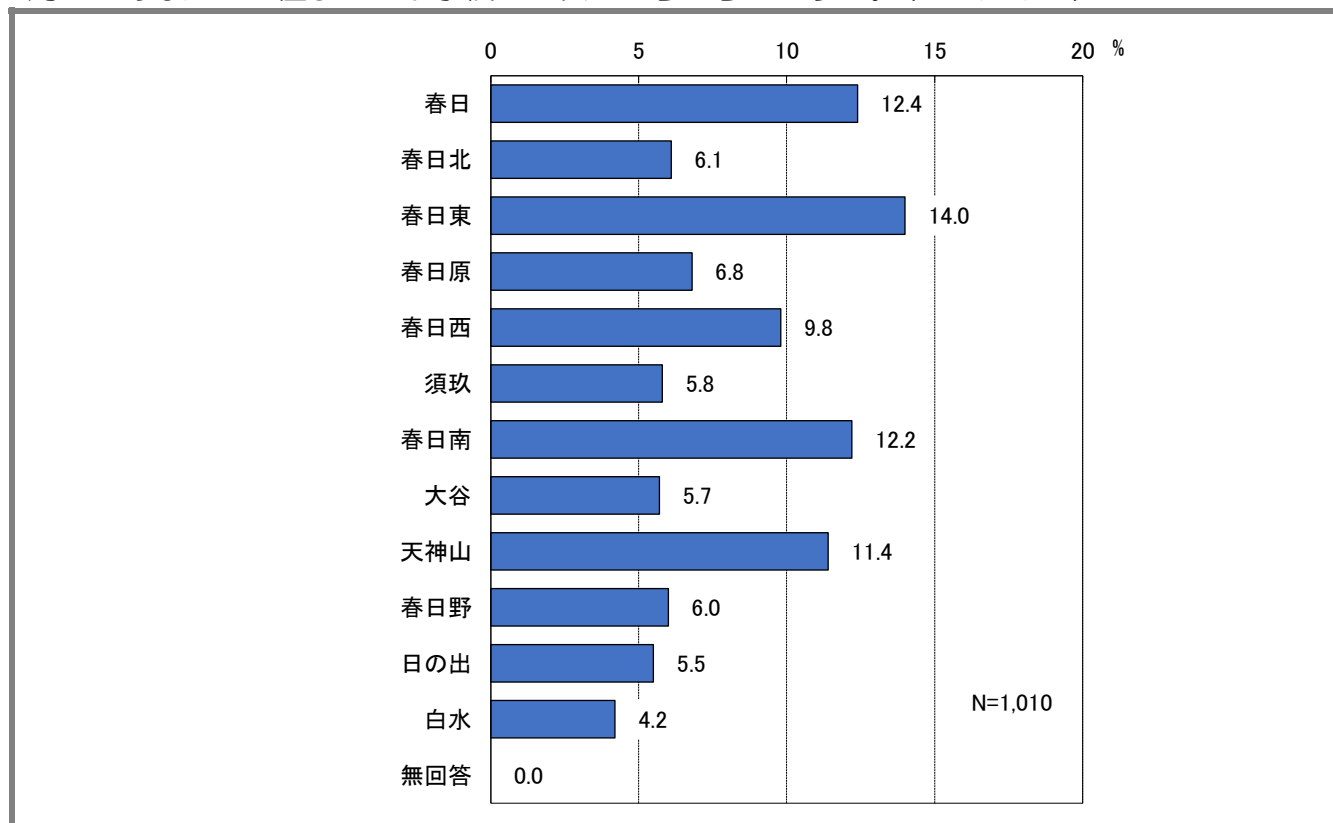


- 子どもを健やかに生み育てるために、市に期待することとしては、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援を充実する」が79.3%と最も多く、以下、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」(41.2%)、「仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについての企業への啓発を進める」(36.2%)、「放課後児童クラブや児童センターのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす」(34.7%)、「延長保育などいろいろなニーズに合った保育サービスをより充実する」(34.6%)と続いている。

## 第2章 小学生とその保護者に対する調査

### 1. お住まいの地域について

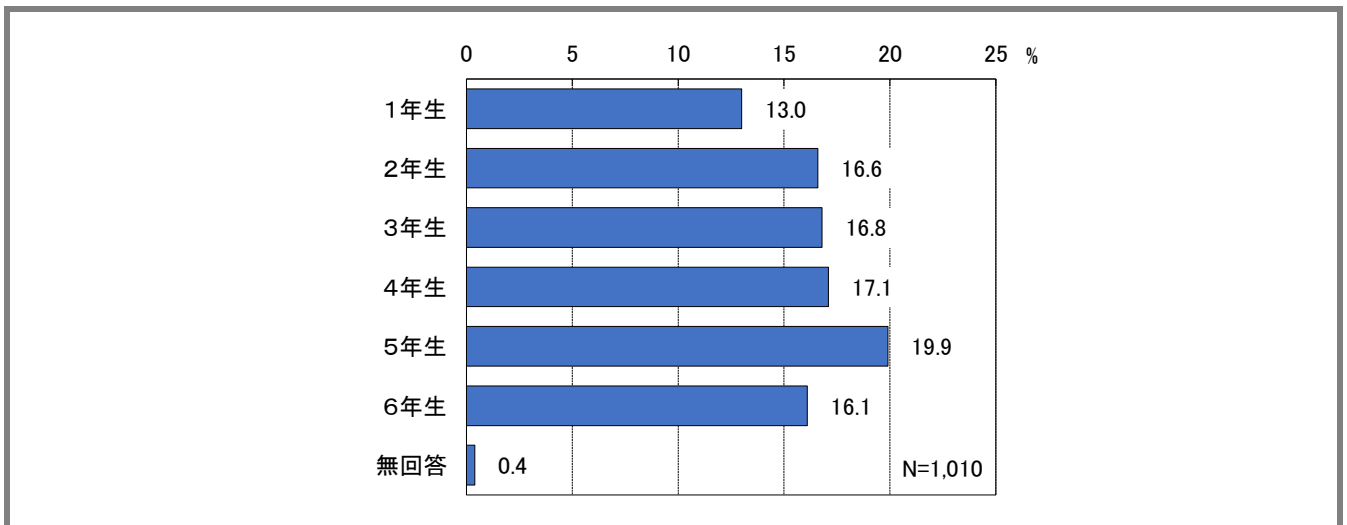
問1 あなたのお住まいの小学校区は次のうちどちらですか。（1つだけ○）



- 居住小学校区については上のおおりで、「春日東」小学校区と回答した人の割合が14.0%と最も高くなっている。

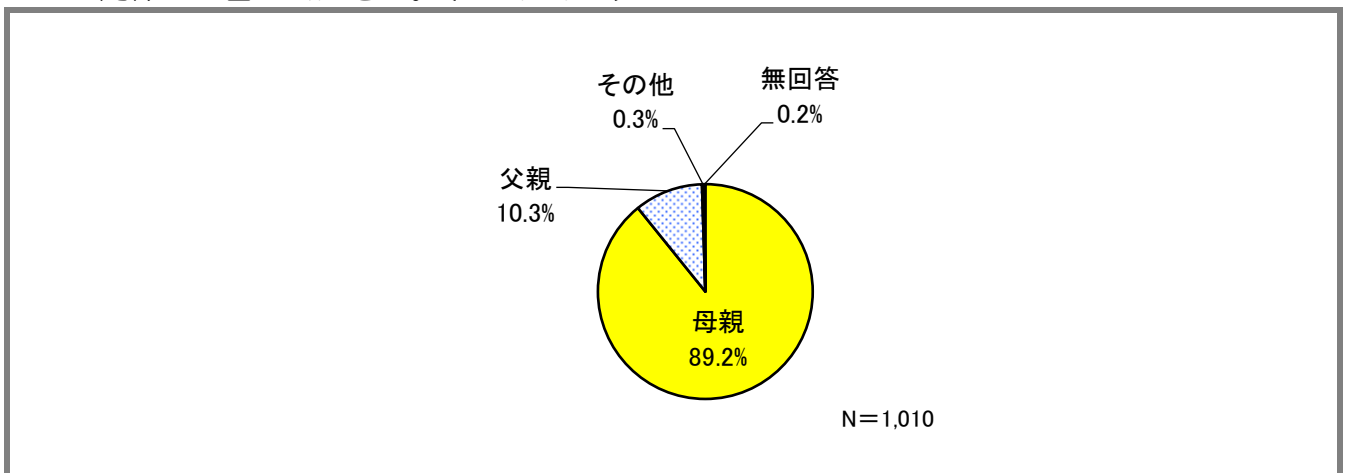
## 2. 宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



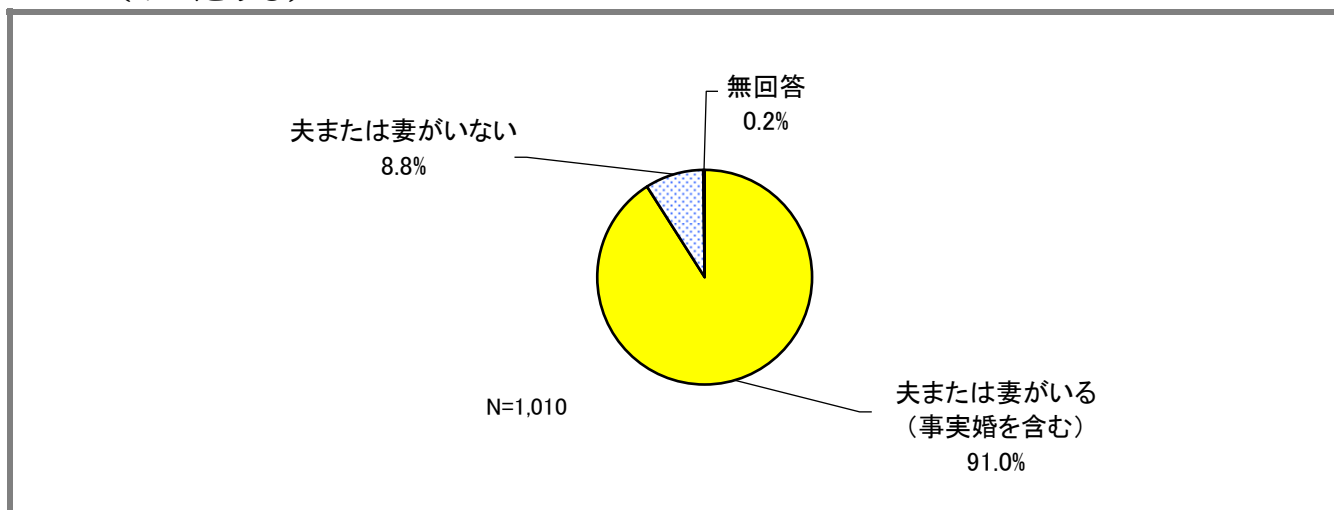
- 子どもの学年比率は上のおり、5年生の割合（19.9%）が最も高くなっている。

問3 このアンケートにご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ〇）



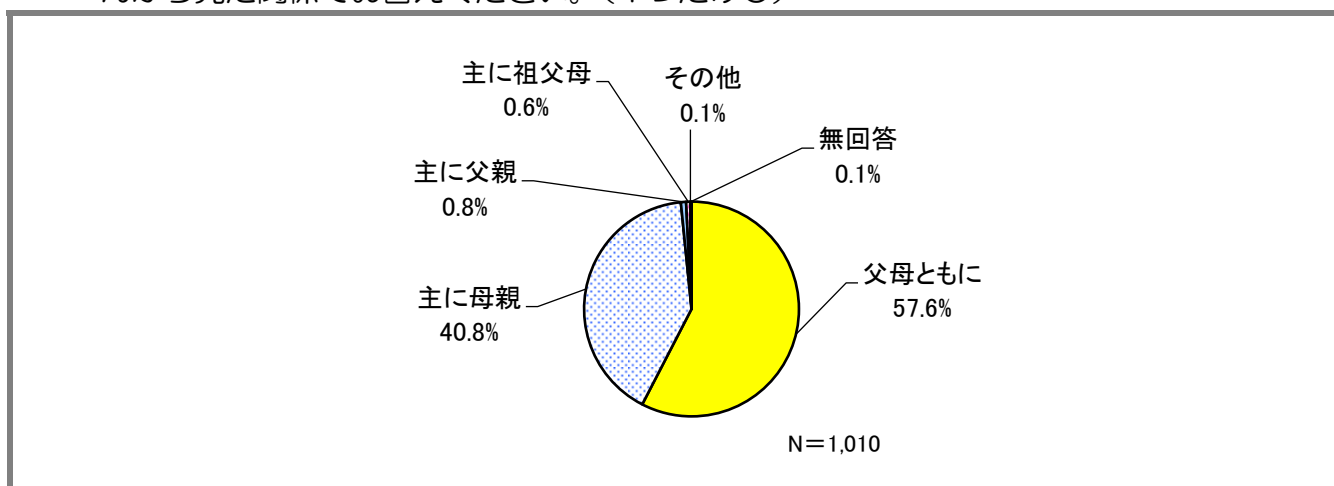
- 回答者は「母親」が89.2%と圧倒的に多く、「父親」は10.3%となっている。

問4 このアンケートにご回答いただいている方についてお答えください。  
（1つだけ〇）



● 回答者の配偶関係を見ると、「夫または妻がいない」と回答した人は8.8%となっている。

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ〇）



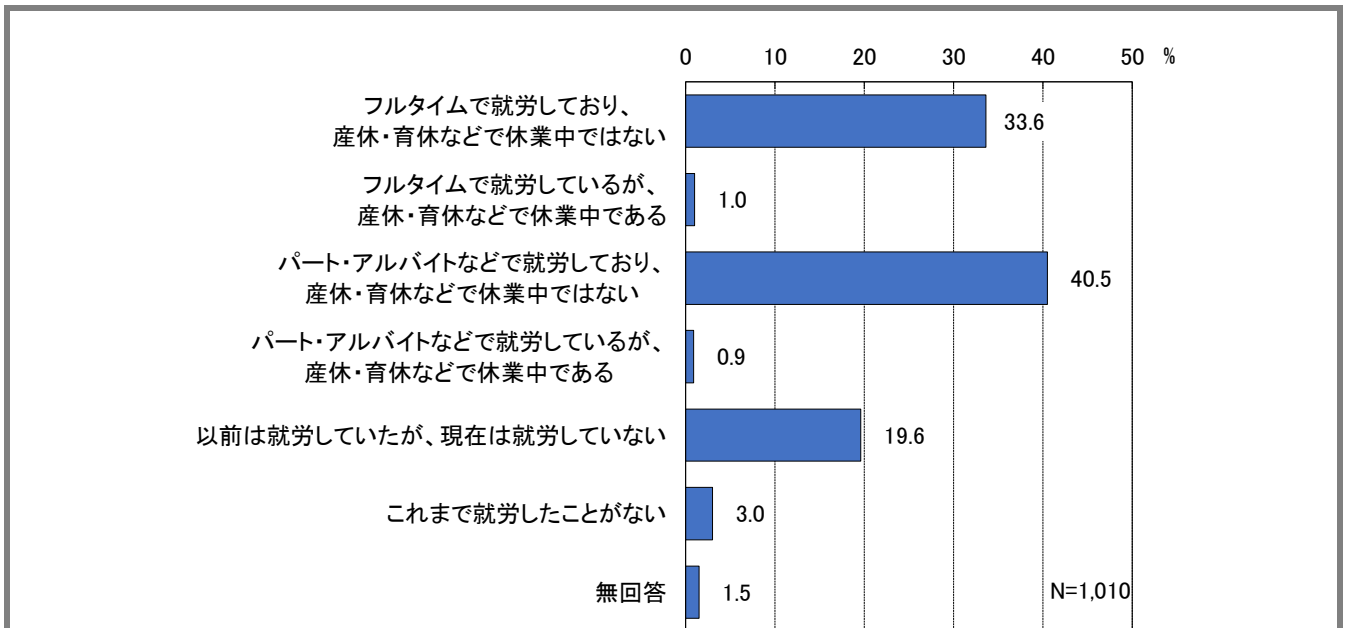
● 子どもの子育てについては、「父母ともに」行っていると回答した割合が57.6%、「主に母親」が行っていると回答した割合が40.8%となっている。



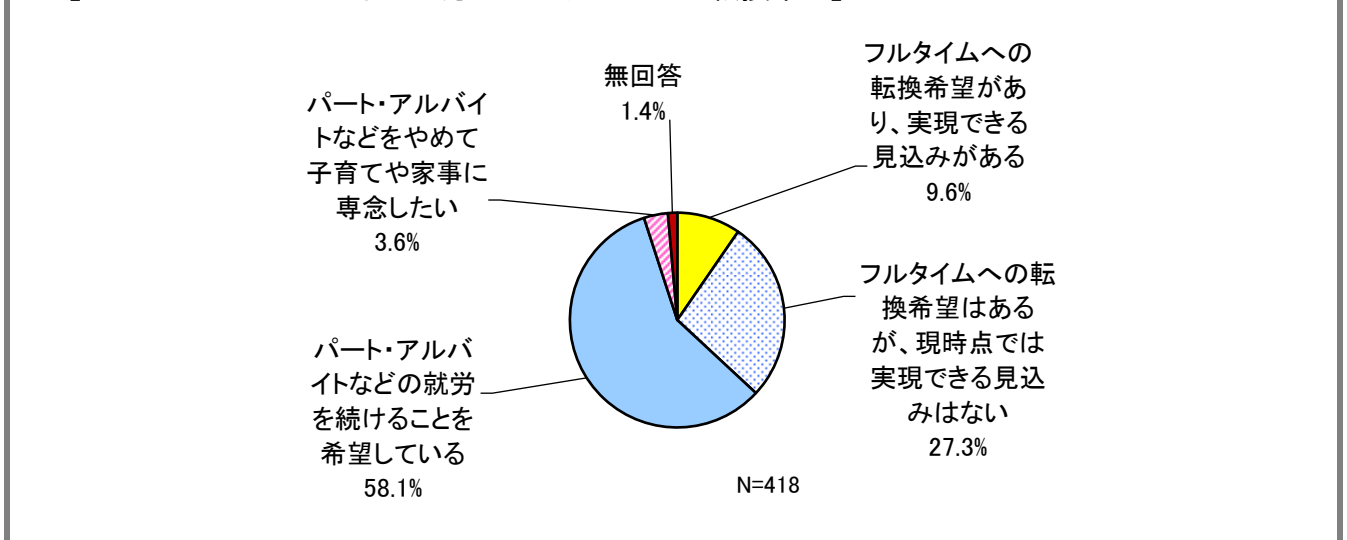
### 3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問6 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】

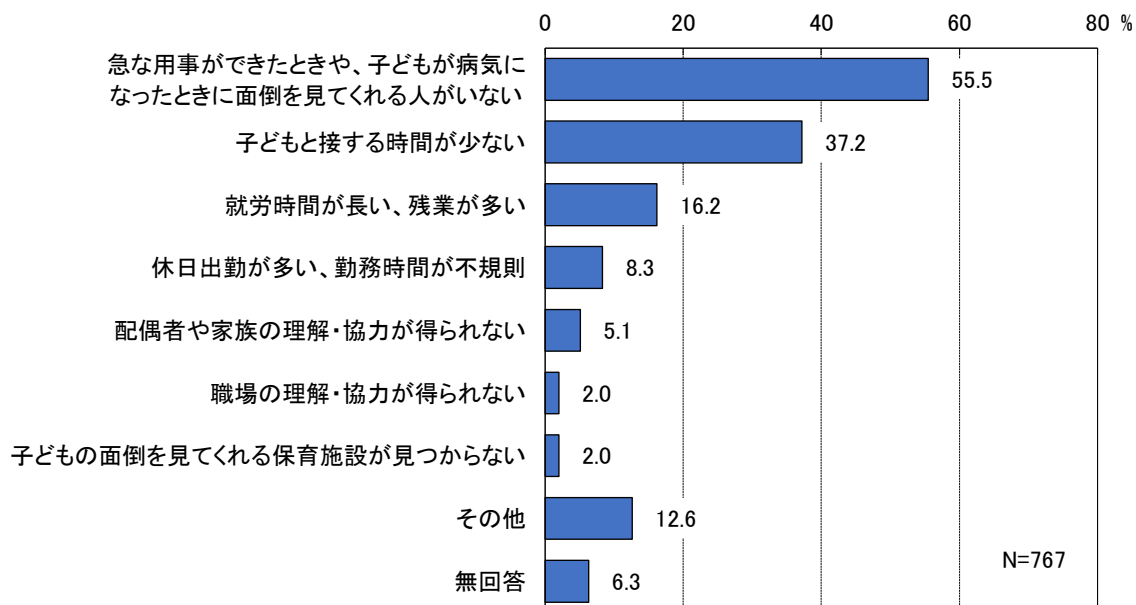


#### 【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



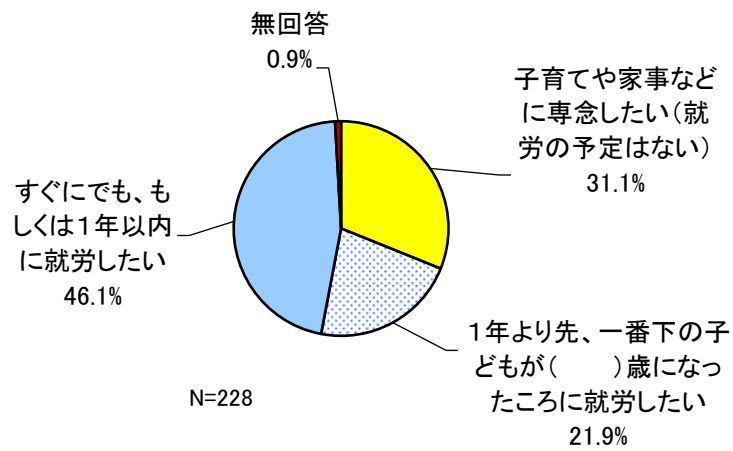
- 母親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休・介護休業中の人も含めて34.6%、同じくパート・アルバイトなどが41.4%となっている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人のうち、フルタイムへの転換希望がある人は36.9%となっている。

【母親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること】

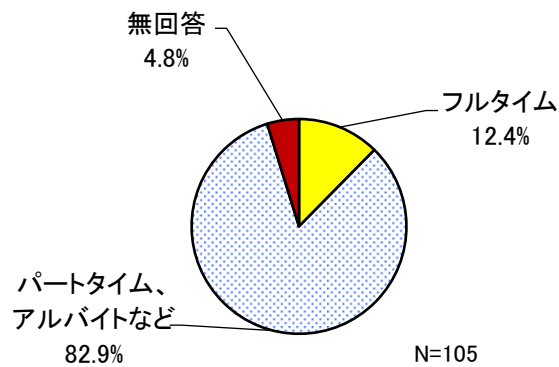


- 働いている母親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることとしては、「急な用事ができたときや、子どもが病気になったときに面倒を見てくれる人がいない」が 55.5%と最も多くなっており、「子どもと接する時間が少ない」が 37.2%で、それに続いている。

【非就労者の就労意向】

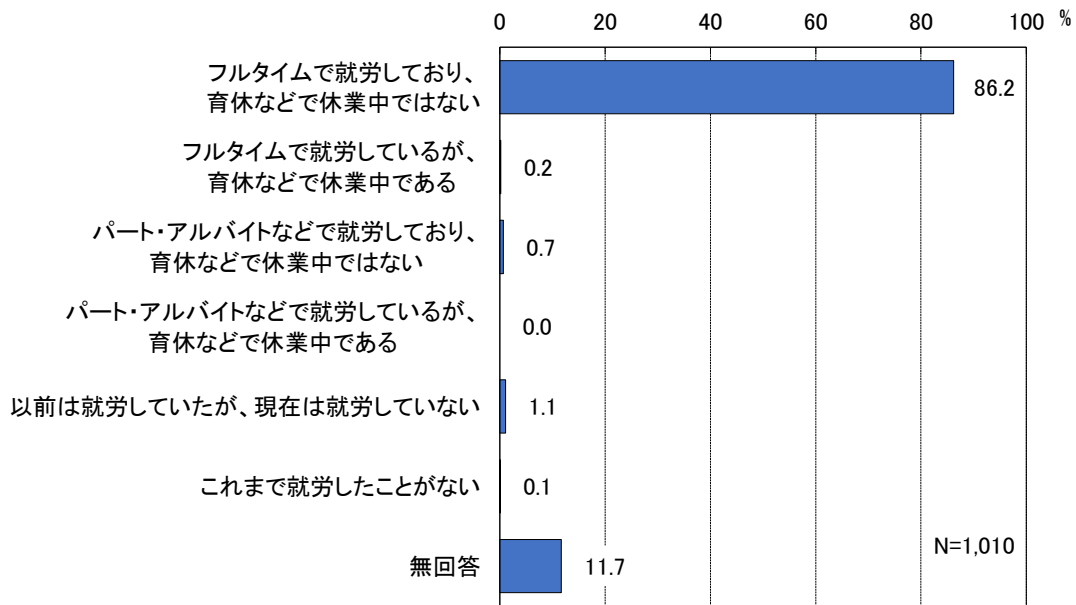


【希望する就労形態】

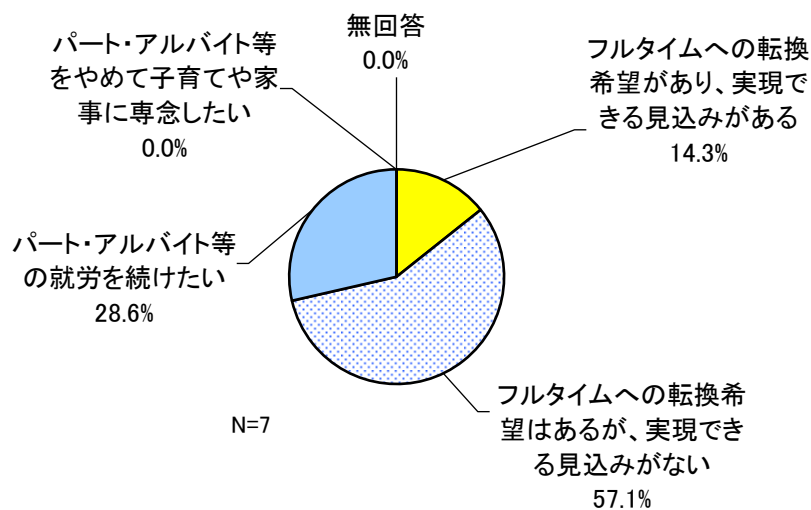


- 現在就労していない母親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が46.1%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は21.9%となっており、就労していない母親の68.0%に就労希望のあることがわかる。
- 就労希望があると回答した人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パートタイム、アルバイトなど」が82.9%と高い割合を占めており、「フルタイム」を希望する人の割合は12.4%となっている。

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】

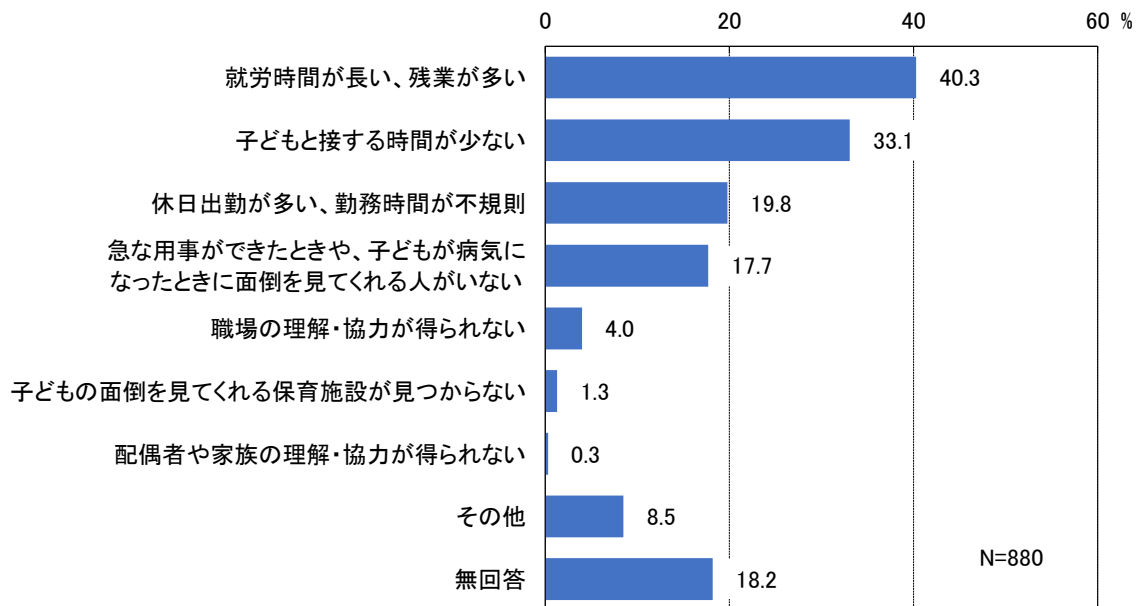


【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



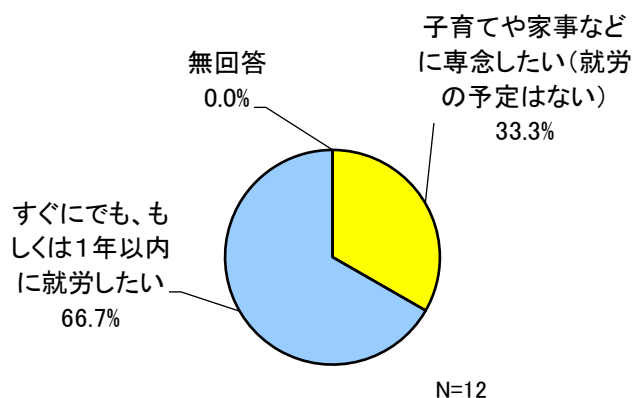
- 父親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休などで休業中の人も含めて86.4%となっており、無回答を除く実際の回答者の大半を占めている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人（7人）に、フルタイムへの転換希望を尋ねたところ、フルタイムへの転換希望がある人は5人（71.4%）、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」と回答した人は2人（28.6%）となっている。

## 【父親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること】

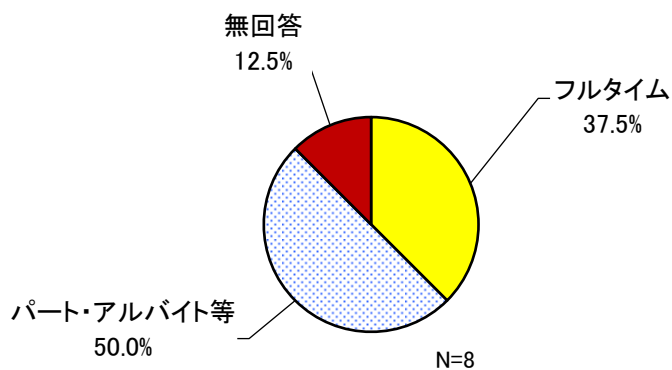


- 働いている父親が子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることとしては、「就労時間が長い、残業が多い」が40.3%と最も多くなっており、「子どもと接する時間が少ない」が33.1%で、それに続いている。

### 【非就労者の就労意向】



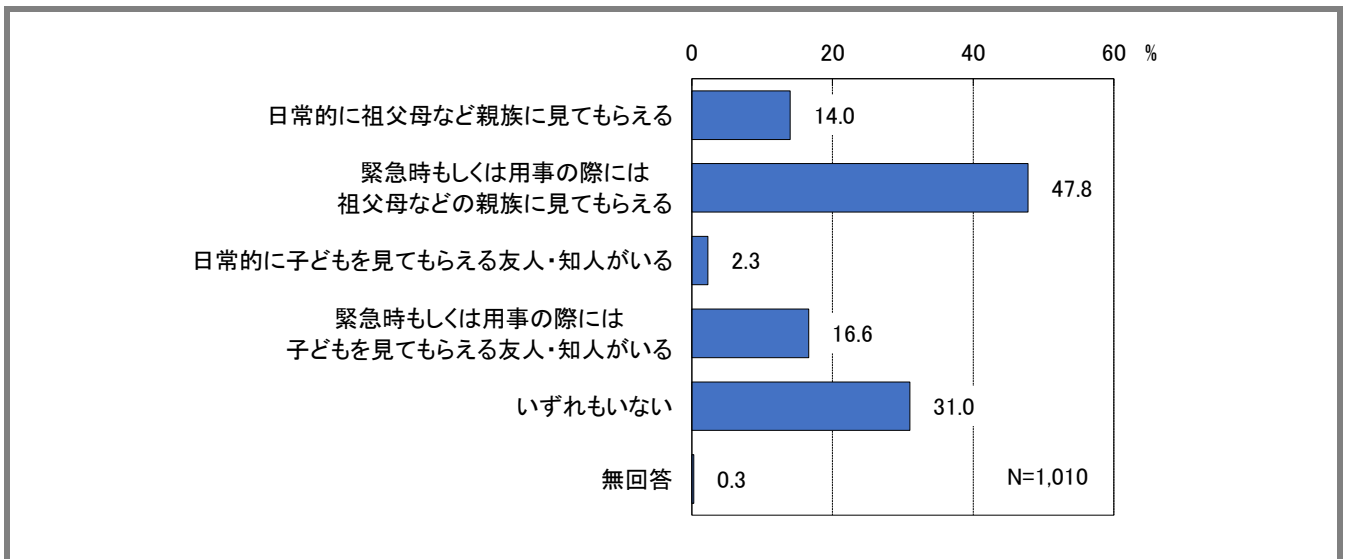
### 【希望する就労形態】



- 現在就労していない父親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の割合は66.7%となっている。
- 就労希望があると回答した人（8人）に、希望の就労形態を尋ねたところ、「フルタイム」が3人（37.5%）、「パートタイム、アルバイトなど」が4人（50.0%）となっている。

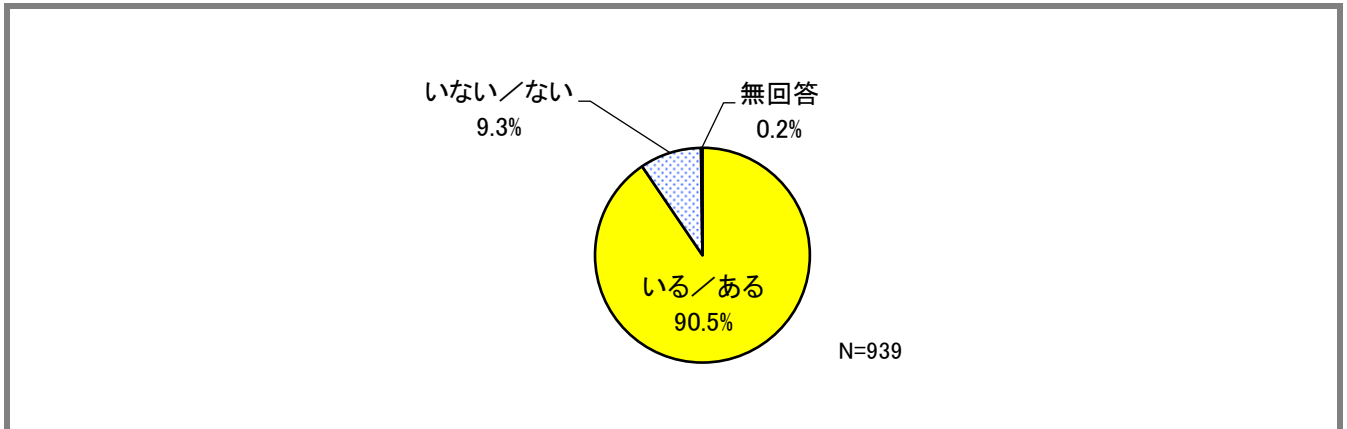
#### 4. 子育ての環境について

問7 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。  
（あてはまるものすべてに○）



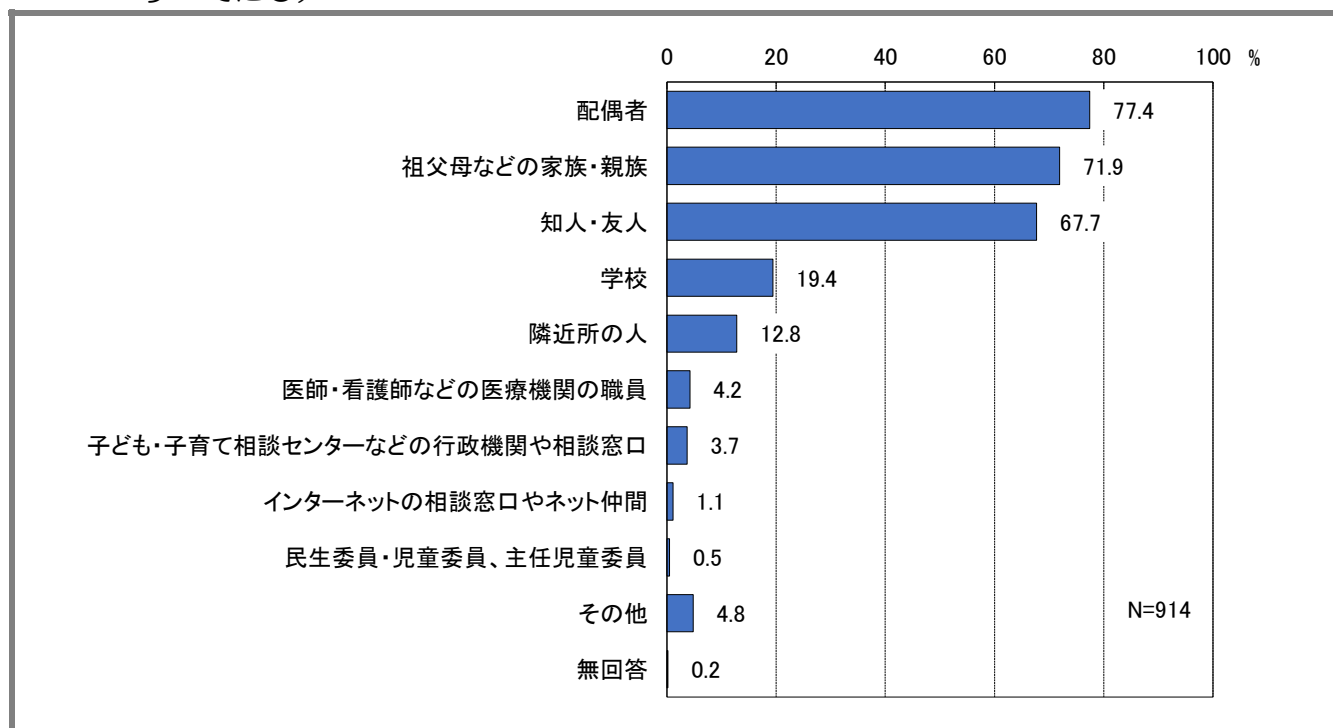
● 緊急時や用事の際にも子どもを預かってもらえる人がいない人の割合は 31.0%となっている。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。（1つだけ○）



● 子育てについて気軽に相談できる人や場所が「いない／ない」と回答した人の割合は 9.3%となっている。

問8-1 問8で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

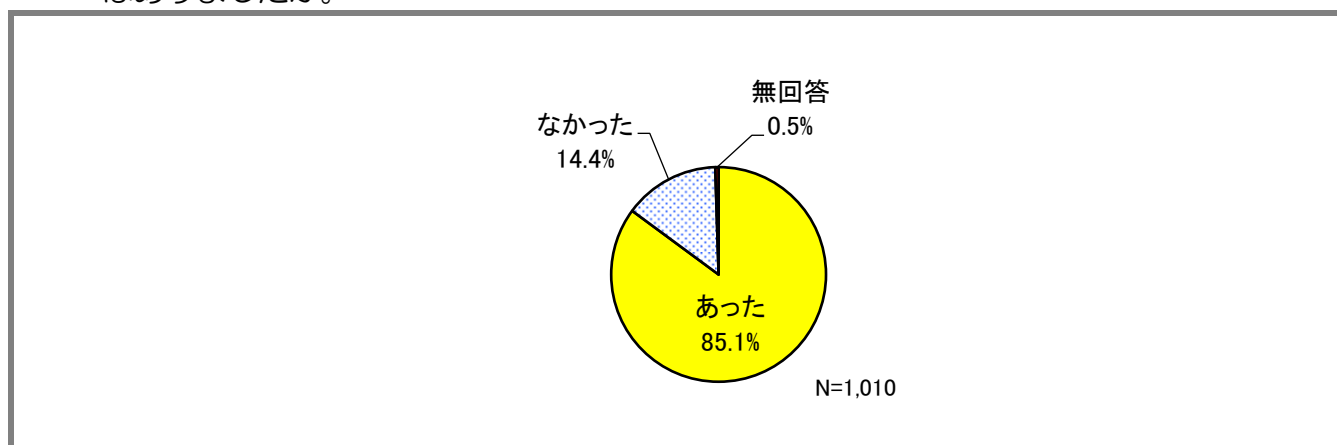


- 子育てに関する相談先については、「配偶者」（77.4%）、「祖父母などの家族・親族」（71.9%）、「知人・友人」（67.7%）が上位を占めている。



## 5. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

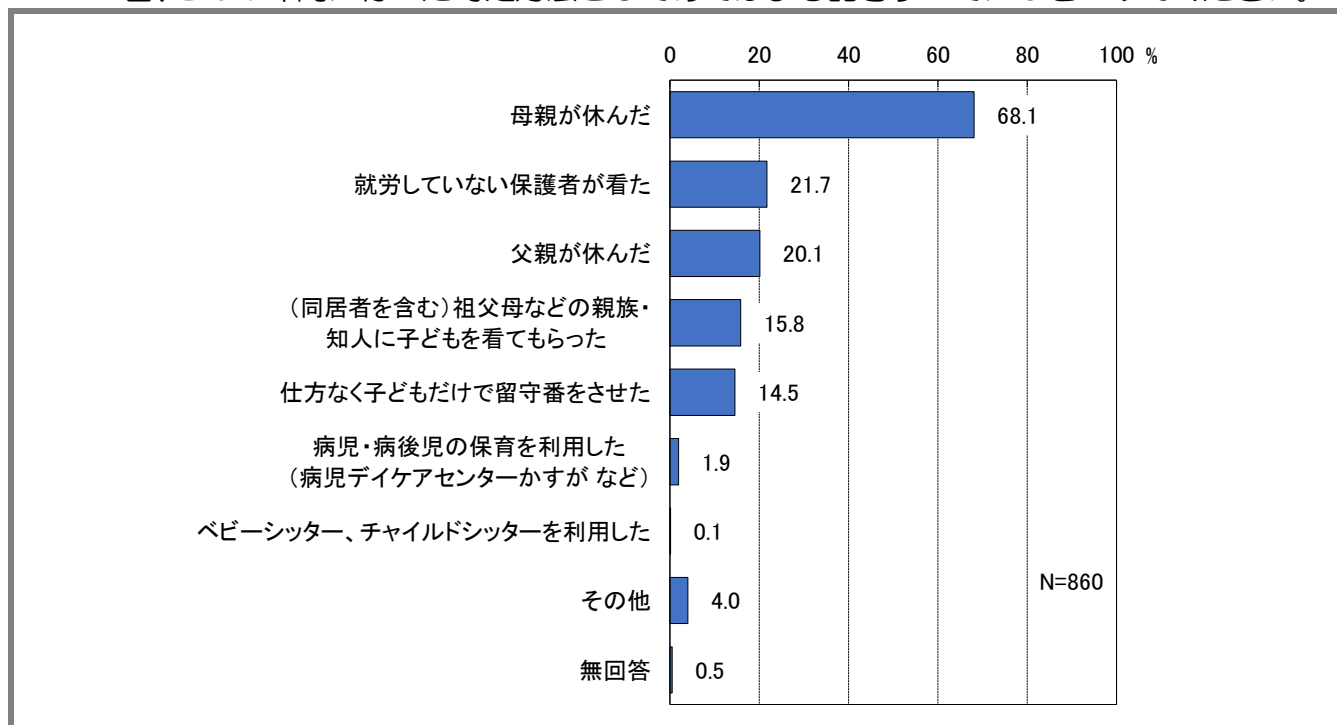
問9 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。



- この1年間に、対象の子どもが病気やけがで学校を休まなければならないことが「あった」と回答した人は全体の85.1%であった。

問9-1 問9で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。

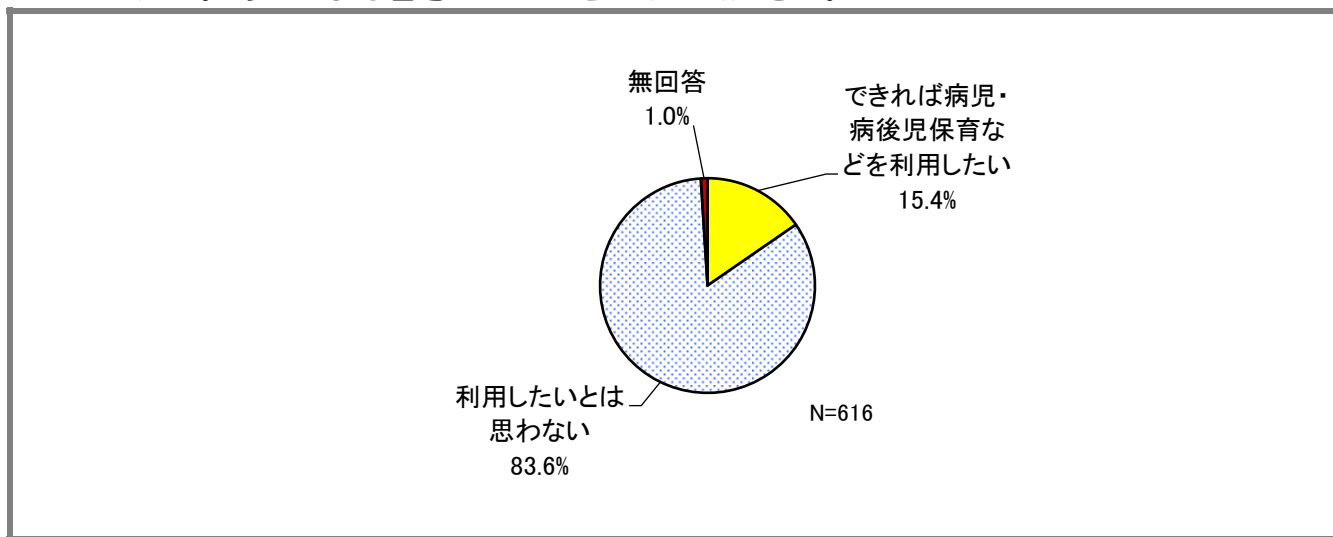
お子さんが病気や病後（感染症など）、またはけがで学校を休んだり、放課後児童クラブ（学童保育）などの預かりサービスが利用できなかったりしたことがあった場合、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけてください。



- 子どもが病気やけがで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかったりした場合の対処方法を尋ねたところ、「母親が（仕事を）休んだ」という回答が68.1%と最も多く、「就労していない保護者が見た」が21.7%でそれに続いている。

問9-2 問9-1で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

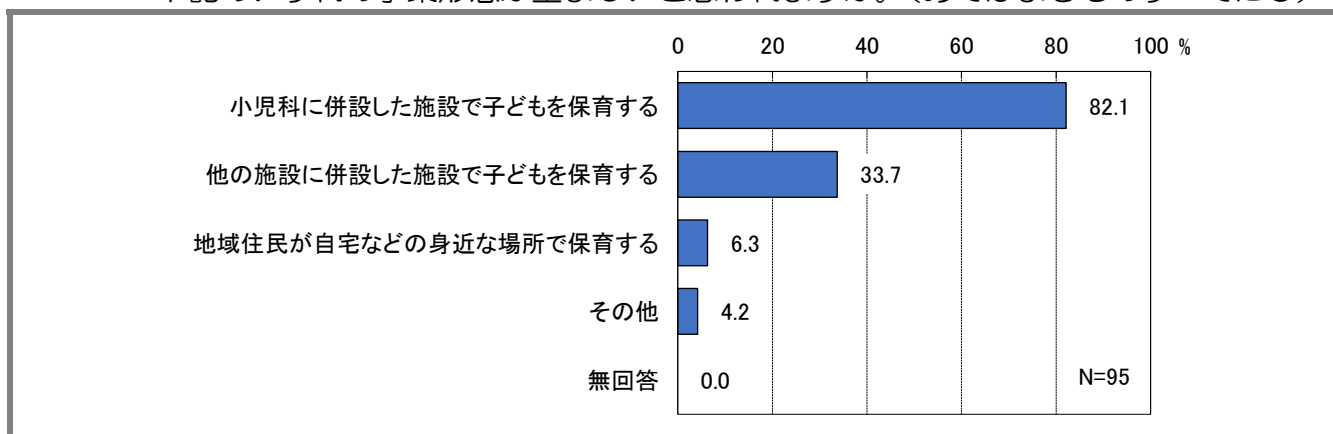
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



- 前問で、両親のいずれかが（仕事を）休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った人の割合は15.4%であった。

問9-3 問9-2で「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方にかがいます。

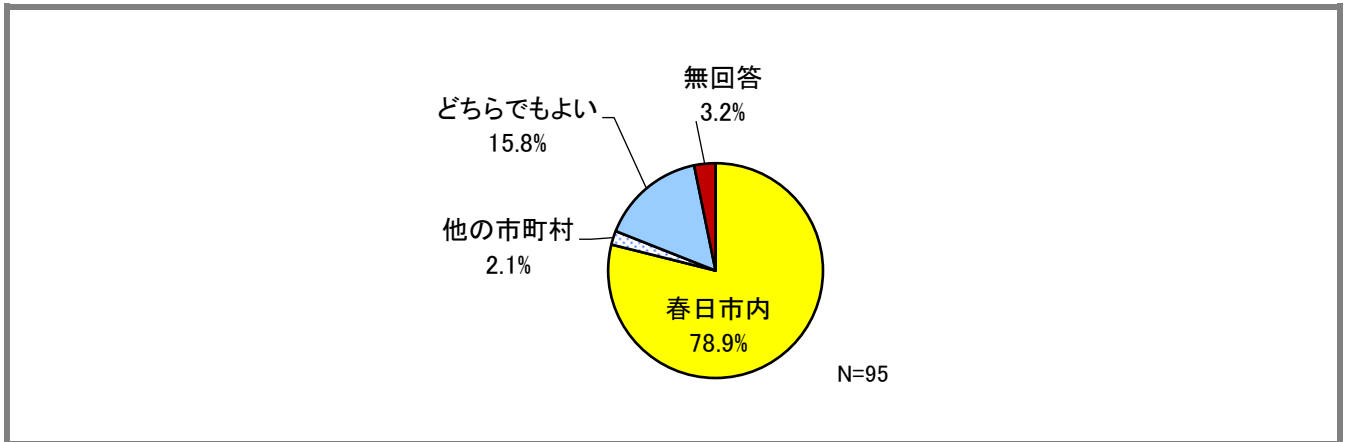
下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と回答した人に、望ましい事業形態を尋ねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する」という回答が82.1%と最も多くなっている。

問9-4 問9-2で「1.できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方にかがいます。

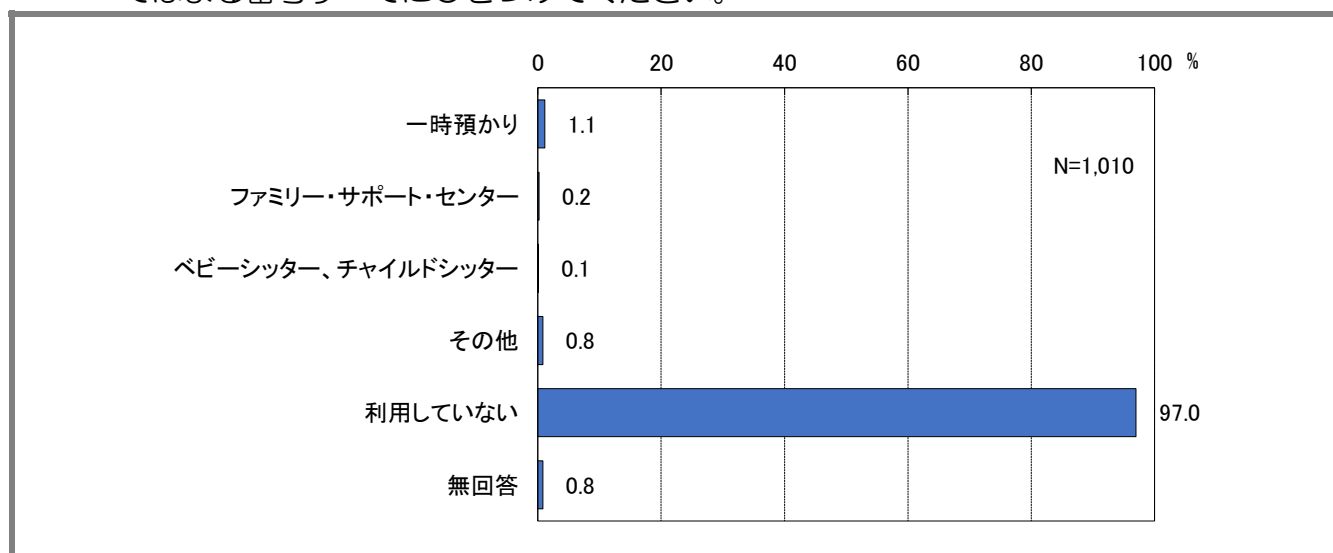
病児・病後児保育を利用したい場所はどちらですか。（1つだけ○）



- 前問で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と回答した人に、利用したい場所を尋ねたところ、「春日市内」が78.9%、「他の市町村」が2.1%となっている。

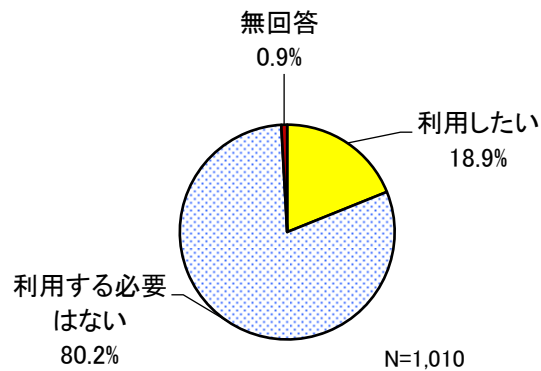
## 6. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 10 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労など、理由を問わない目的で不定期に利用しているものはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

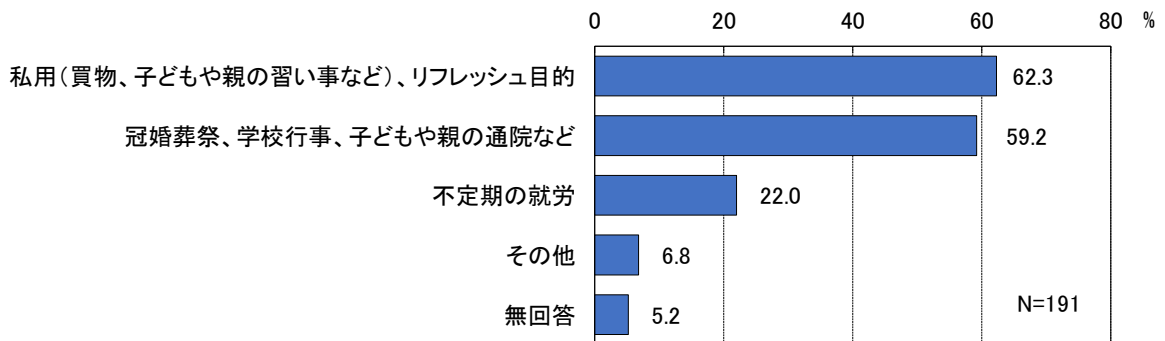


- 私用や親の通院、不定期の就労などのため、不定期に利用している事業があるか尋ねたところ、「利用していない」と回答した人は97.0%で、何らかのサービスを利用している人は2.2%となっている。

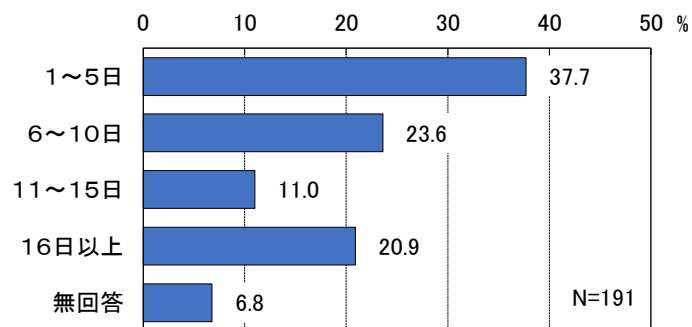
問 11 宛名のお子さんについて、病気のため以外に冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労など、理由を問わない目的で、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



【目的の内訳】

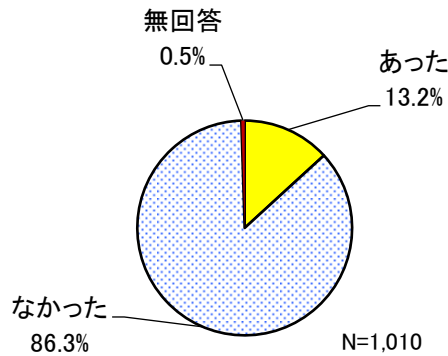


【年間必要日数】

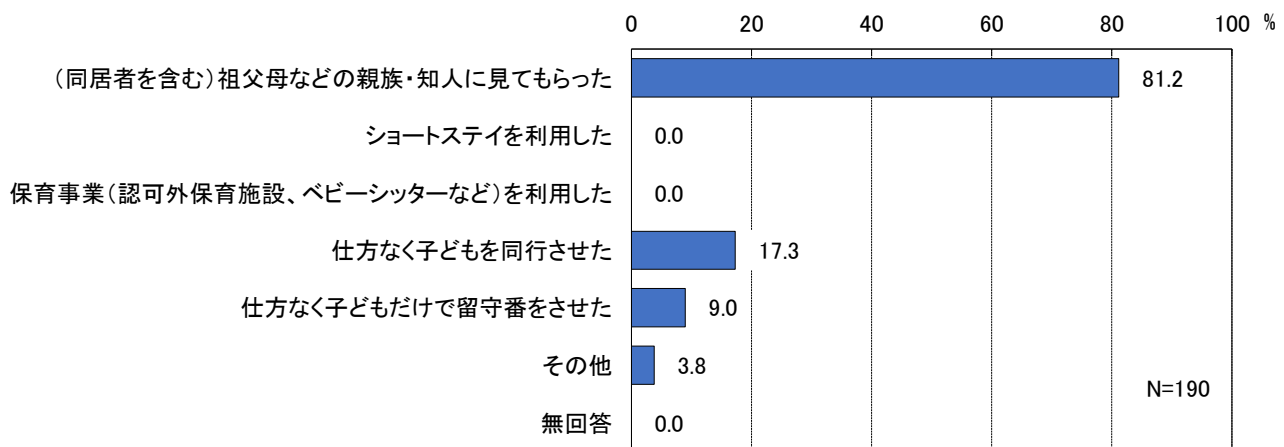


- 私用や親の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を「利用したい」と回答した人の割合は18.9%となっている。
- 利用目的としては、「私用（買い物、子どもや親の習い事など）、リフレッシュ目的」（62.3%）や「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」（59.2%）が多くなっている。
- 年間必要日数については、61.3%の人が年間10日以内の日数を回答している。

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。

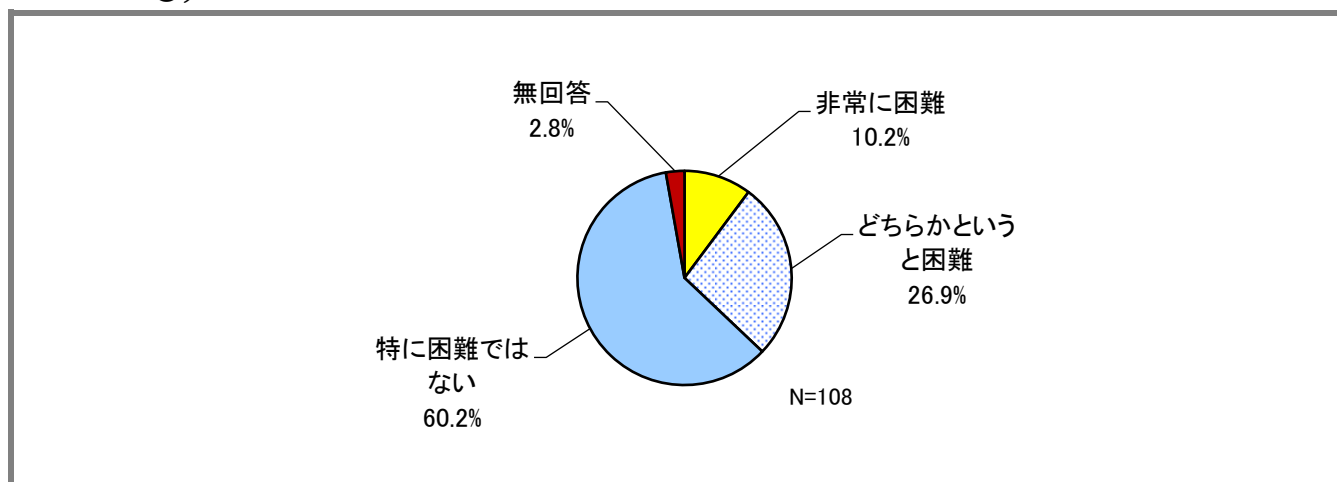


【対処方法の内訳】



- この1年間に、保護者の用事などにより、対象の子どもを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことが「あった」と回答した人の割合は全体の13.2%であった。
- 対処方法の内訳としては、「(同居者を含む) 親族・知人に見てもらった」が81.2%と大半を占めており、「仕方なく子どもを同行させた」が17.3%でそれに続いている。

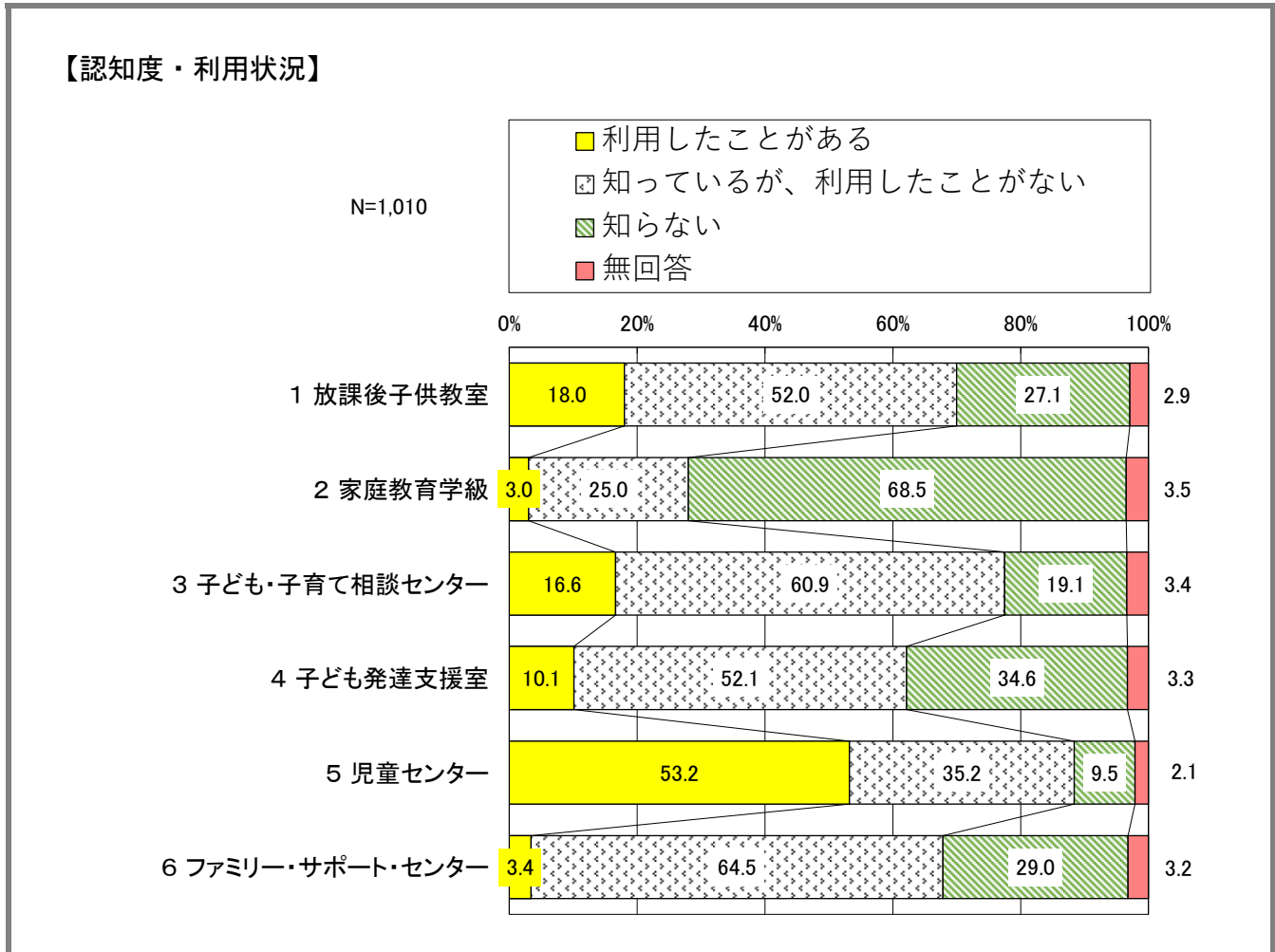
問12-1 問12で「1. あった ア. (同居者を含む)祖父母などの親族・知人に見てもらった」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つだけ○）



- 「親族・知人に見てもらった」場合の困難度を尋ねたところ、「非常に困難」（10.2%）または「どちらかという困難」（26.9%）と回答した人は37.1%となっている。
- 「特に困難ではない」と回答した人の割合は60.2%であった。

## 7. 宛名のお子さんの育ちに関する、地域の子育て支援事業の利用状況について

問 13 下記の支援サービスなどについてお答えください。



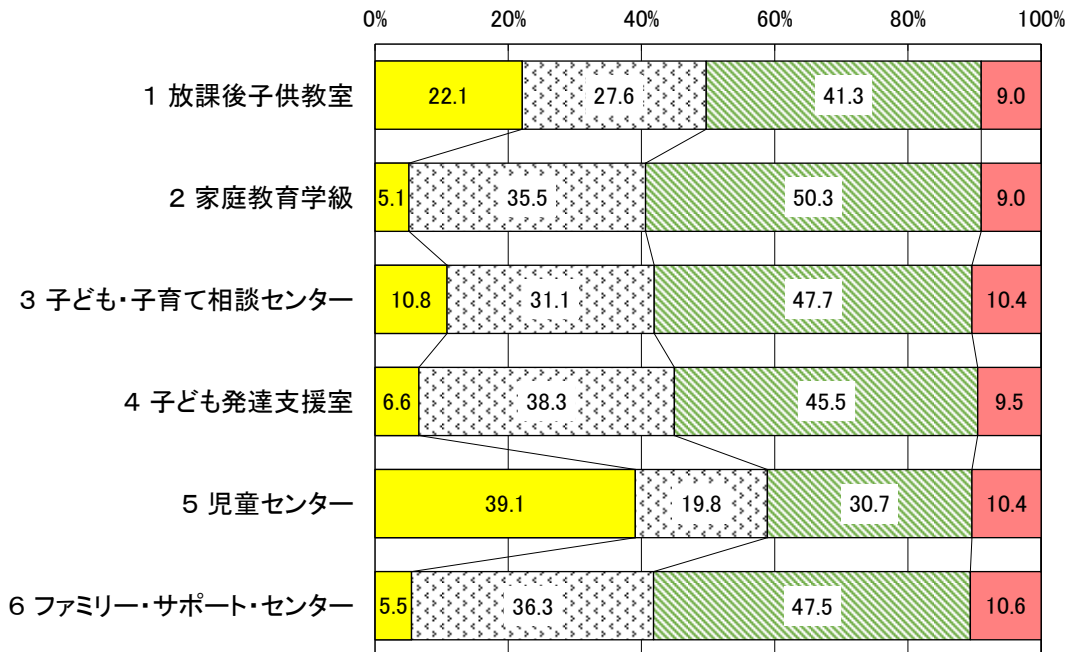
- 6つの支援サービス等のうち、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も高かったのは「児童センター」（53.2%）で、「放課後子供教室」（18.0%）がそれに続いている。
- 「知らない」という回答が多かったのは、「家庭教育学級」（68.5%）で、「子ども発達支援室」（34.6%）がそれに続いている。



【今後の利用意向】

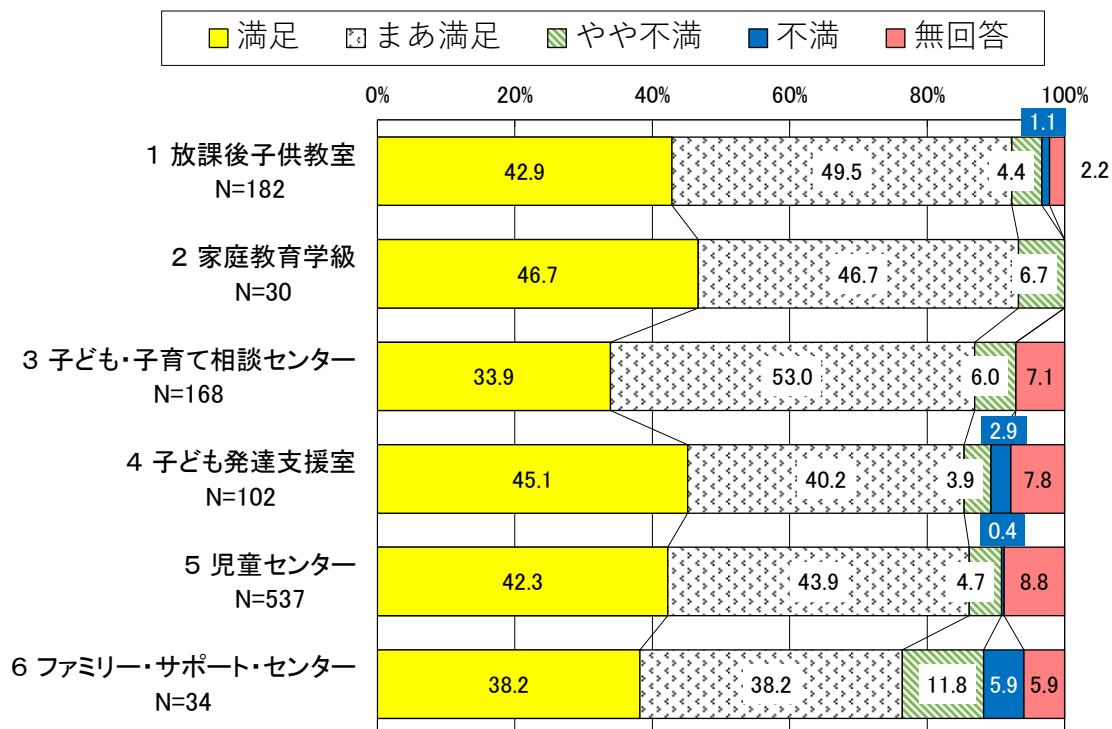
N=1,010

■ 利用したい □ 利用しない ▨ わからない ■ 無回答



- 6つの支援サービス等のうち、今後「利用したい」と回答した人の割合が最も高かったのは「児童センター」（39.1%）で、「放課後子供教室」（22.1%）がそれに続いている。

【満足度】

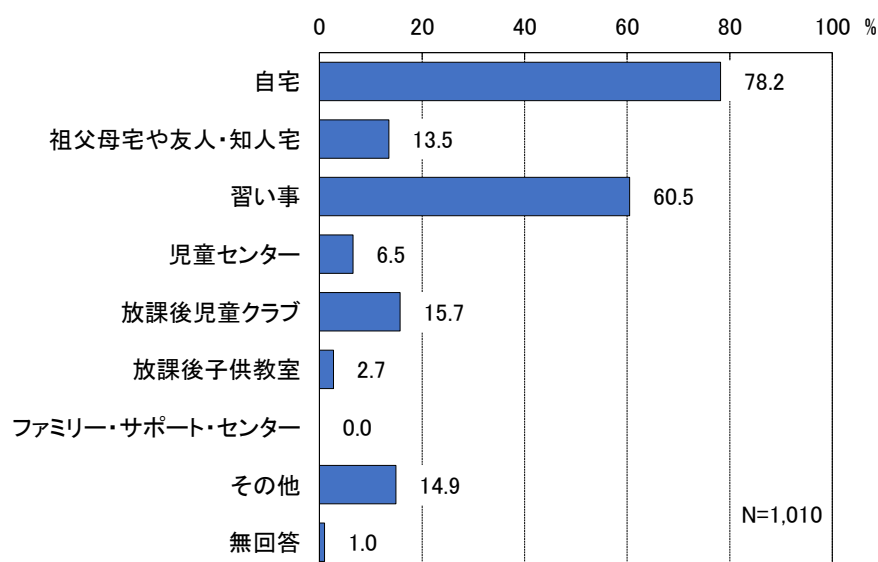


- 利用者の満足度については、それぞれの利用者数が異なるため一概に比較できないが、おおむね満足度は高いと評価できる回答結果となっている。
- 「やや不満」「不満」の割合が最も高かったのは「ファミリー・サポート・センター」で、17.7%となっている。

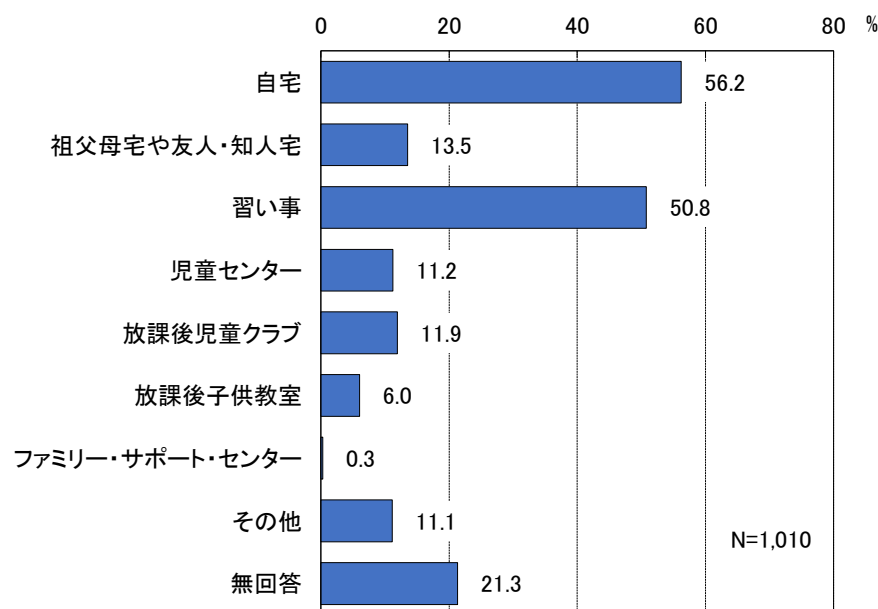
## 8. 放課後の過ごし方について

問 14 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（過ごさせたいと思いますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

## 【現状】

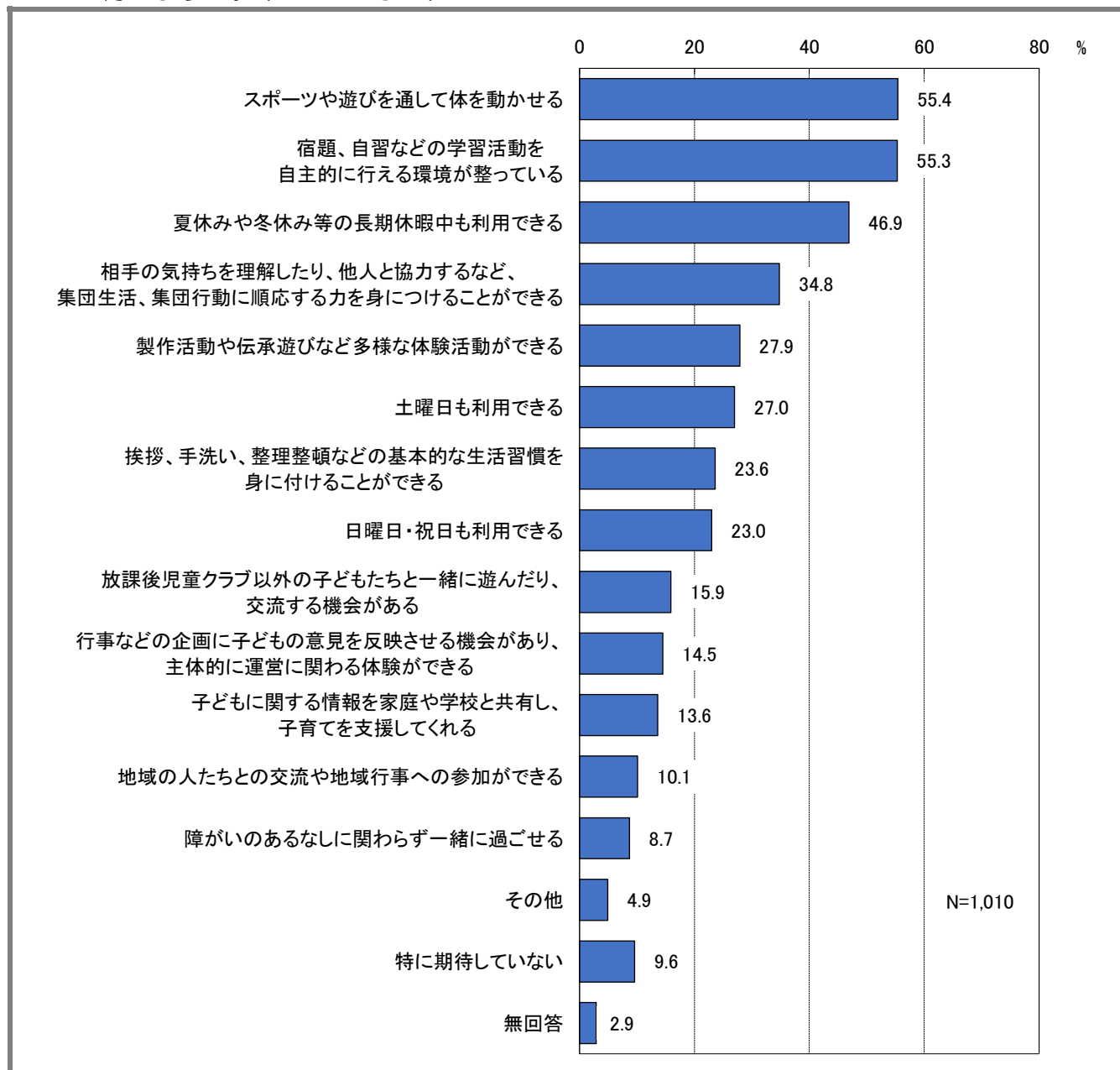


## 【希望】



- 放課後の過ごし方について、「学童保育（放課後児童クラブ）」を利用している人の割合は15.7%であった。
- 今後の利用希望については無回答者が多く、現在利用している人の割合を上回っているのは、「児童センター」（11.2%）と「放課後子供教室」（6.0%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.3%）のみであった。

問 15 放課後児童クラブにどのような役割を期待しますか。現在、放課後児童クラブを利用していない方も、今後利用したいと思えるようにするためには、どのようなことを期待しますか。（〇は5つまで）

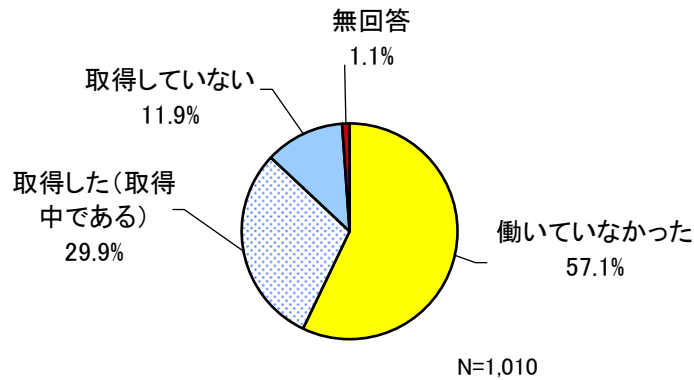


- 放課後児童クラブに期待する役割としては、「スポーツや遊びを通して体を動かせる」(55.4%)と「宿題、自習などの学習活動を自主的に行える環境が整っている」(55.3%)の回答割合が高く、「夏休みや冬休み等の長期休暇中も利用できる」(46.9%)がそれらに続いている。

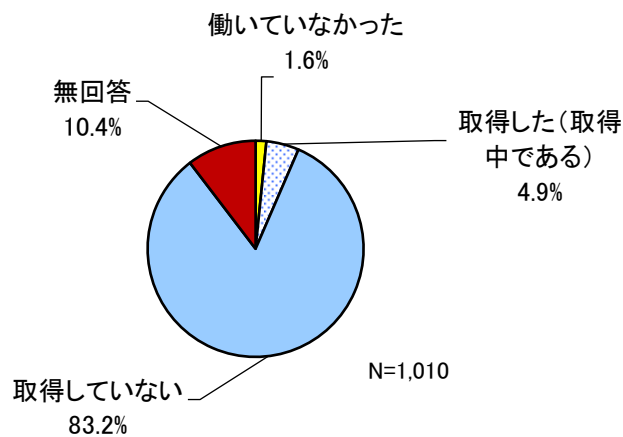
## 9. 育児休業など職場の両立支援制度について

問 16 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

### 【母親】



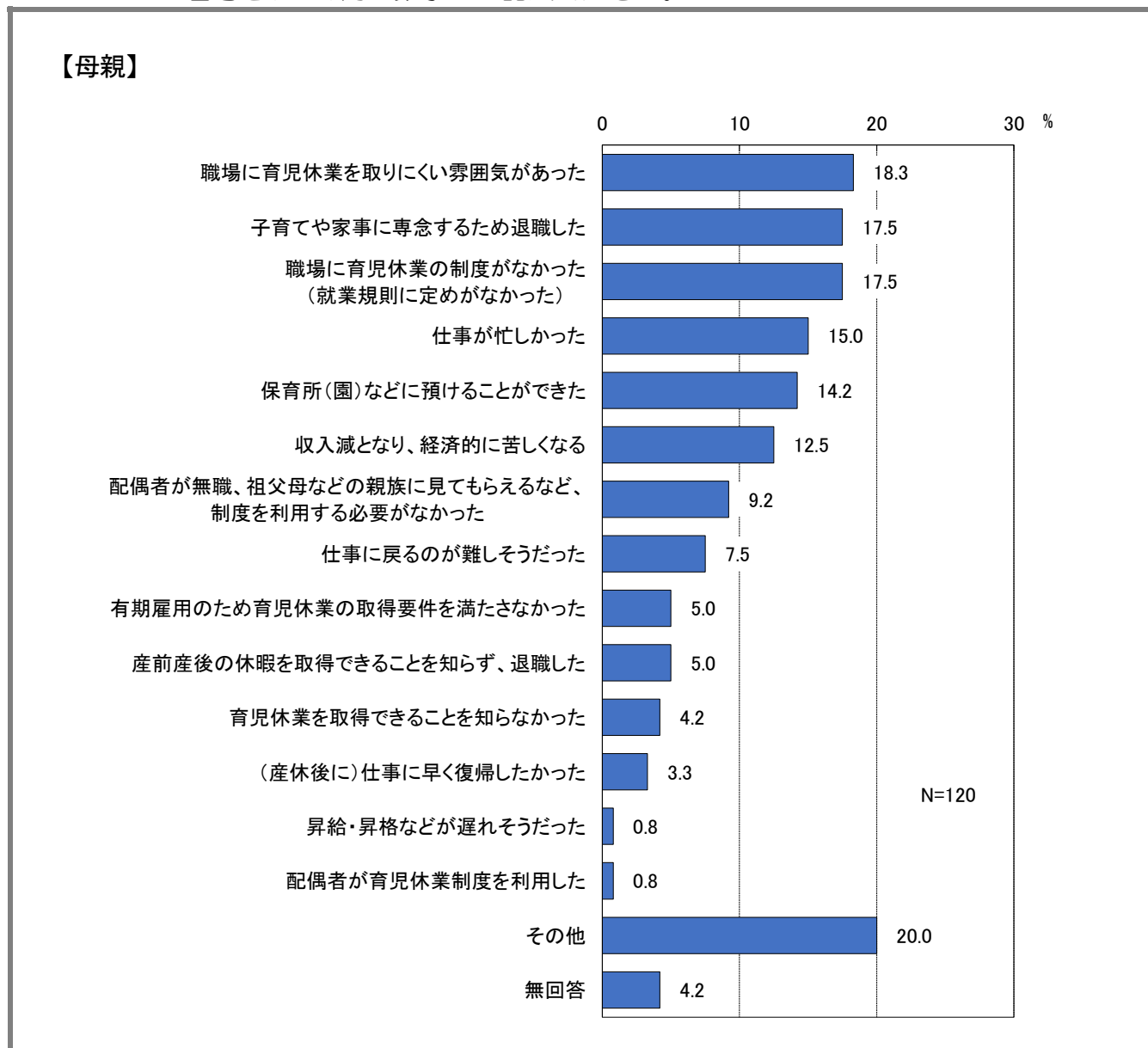
### 【父親】



- 育児休業を「取得した」割合は、母親で29.9%、父親で4.9%となっているが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で71.6%、父親で5.5%となっている。

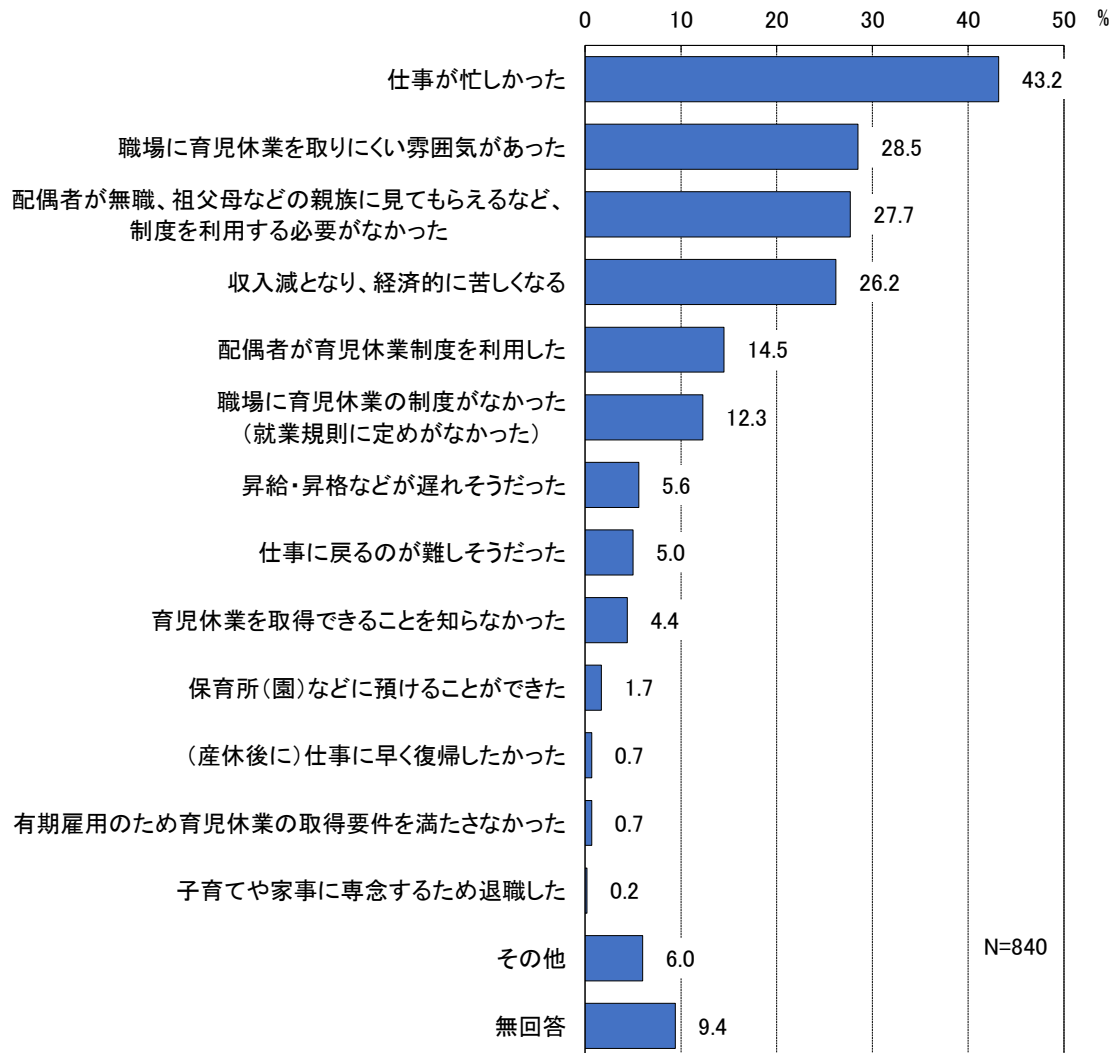
問 16-1 問 16で「3. 取得していない」に○をつけた方にかがいます。

取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、あてはまるすべての番号を( )内に数字でご記入ください。



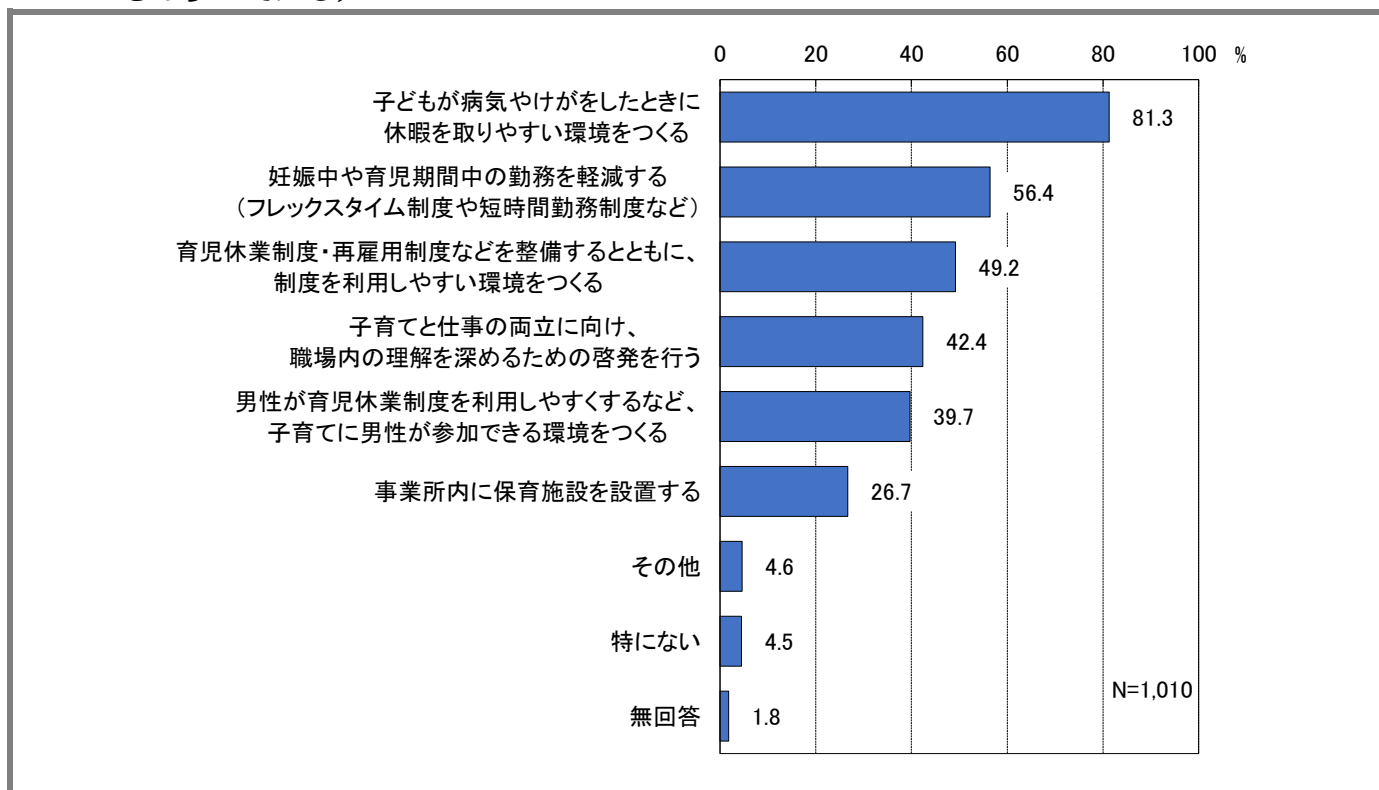
- 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が18.3%と最も多く、「子育てや家事に専念するため退職した」と「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がともに17.5%で、それに続いている。

## 【父親】



- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「仕事が多忙だった」が43.2%と最も多く、以下、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（28.5%）、「配偶者が無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（27.7%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（26.2%）と続いている。

問 17 子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）

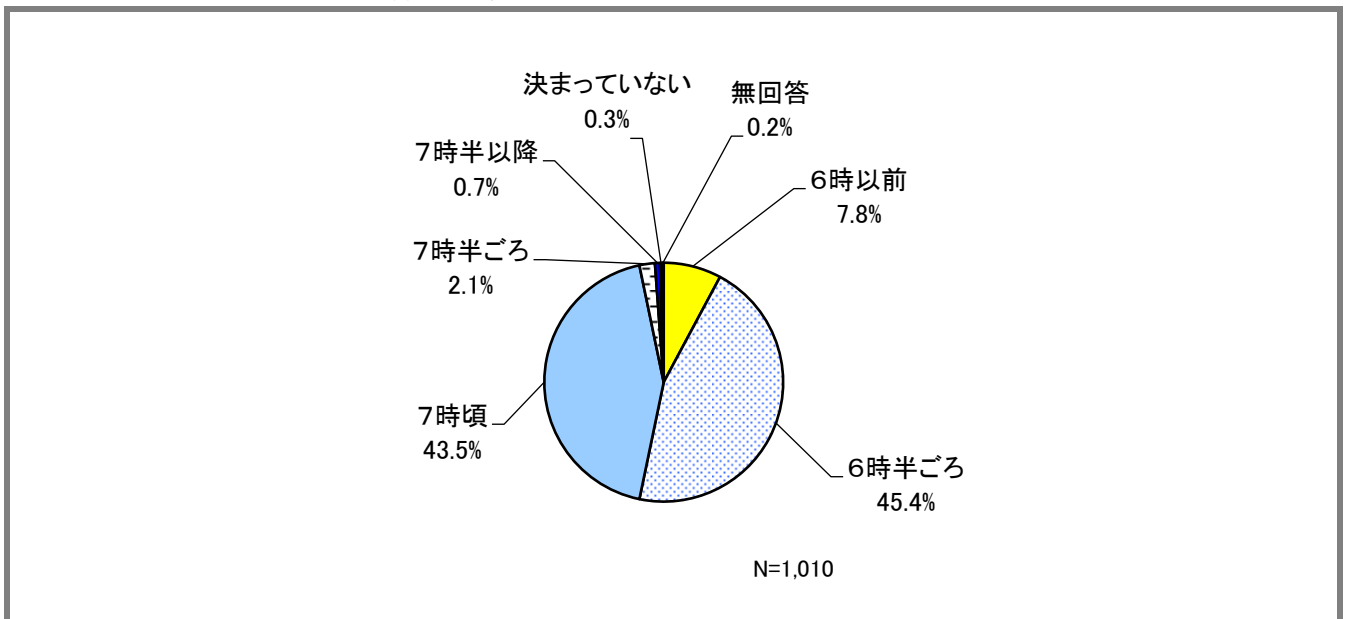


- 子育てと仕事の両立支援として企業に期待することとしては、「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」という回答割合が81.3%と最も高く、「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）」が56.4%、「育児休業制度・再雇用制度などを整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる」が49.2%、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が42.4%で、それに続いている。



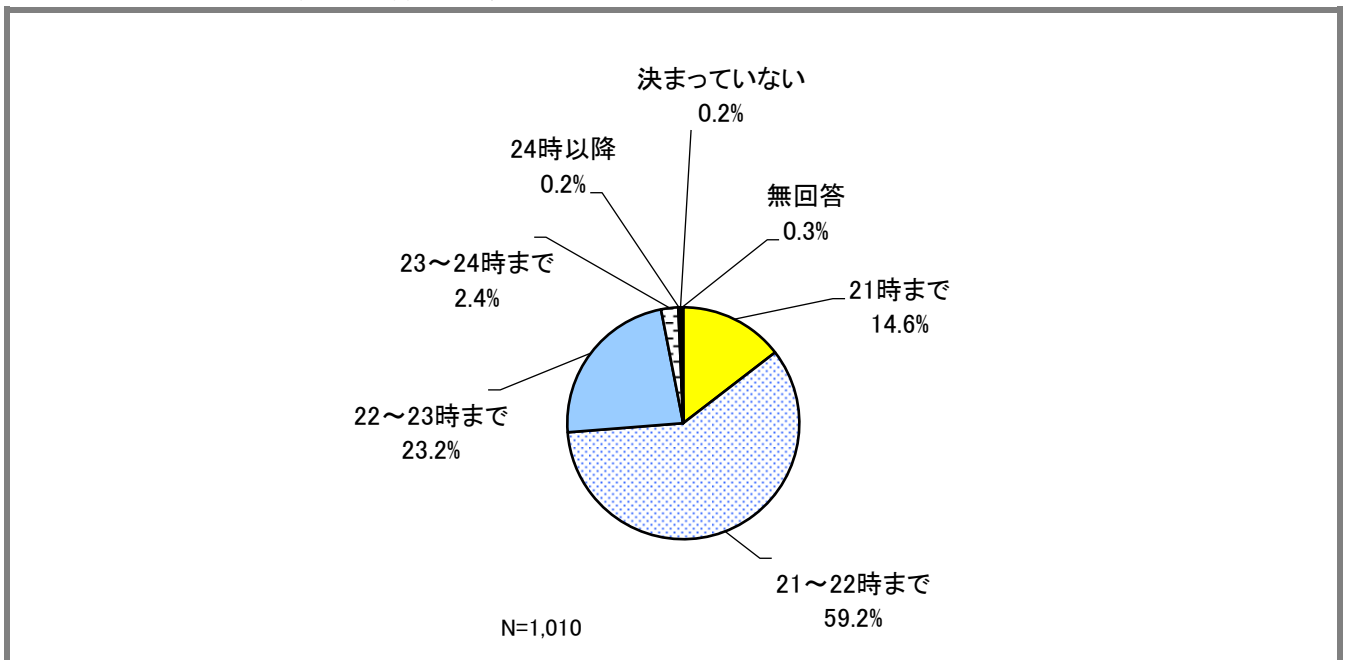
## 10. 宛名のお子さんの日常生活について

問 18 お子さんは朝、大体何時頃に起きますか。（1つだけ○）



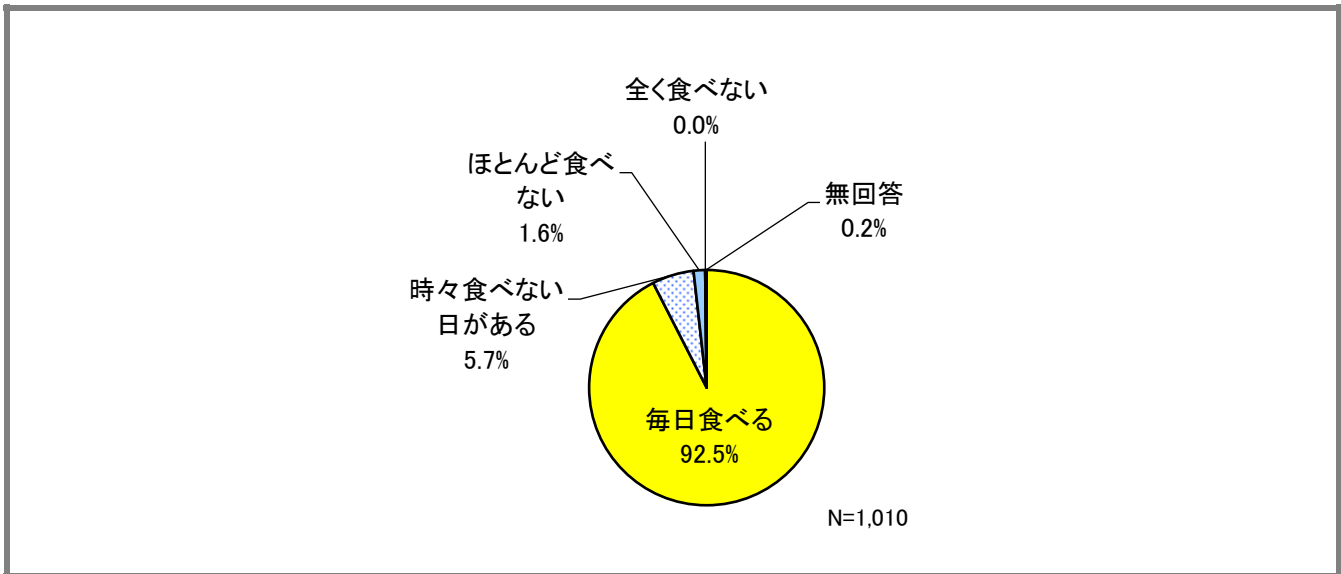
- 子どもの起床時間については、「6時半頃」と回答した人が45.4%と最も多く、ほとんどの子どもが7時頃までに起きていることがわかる。

問 19 お子さんは夜、大体何時頃に寝ますか。（1つだけ○）



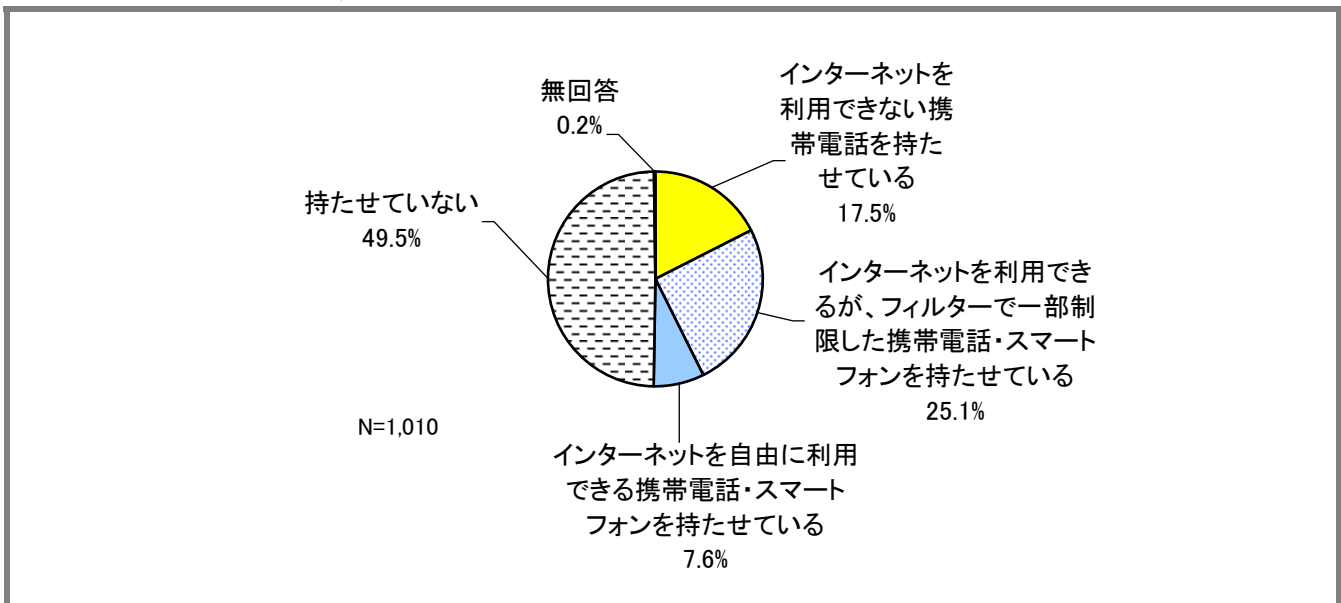
- 子どもの就寝時間については、「21～22時まで」が59.2%と最も多く、「22～23時まで」が23.2%でそれに続いている。

問20 お子さんは朝食を食べますか。（1つだけ○）



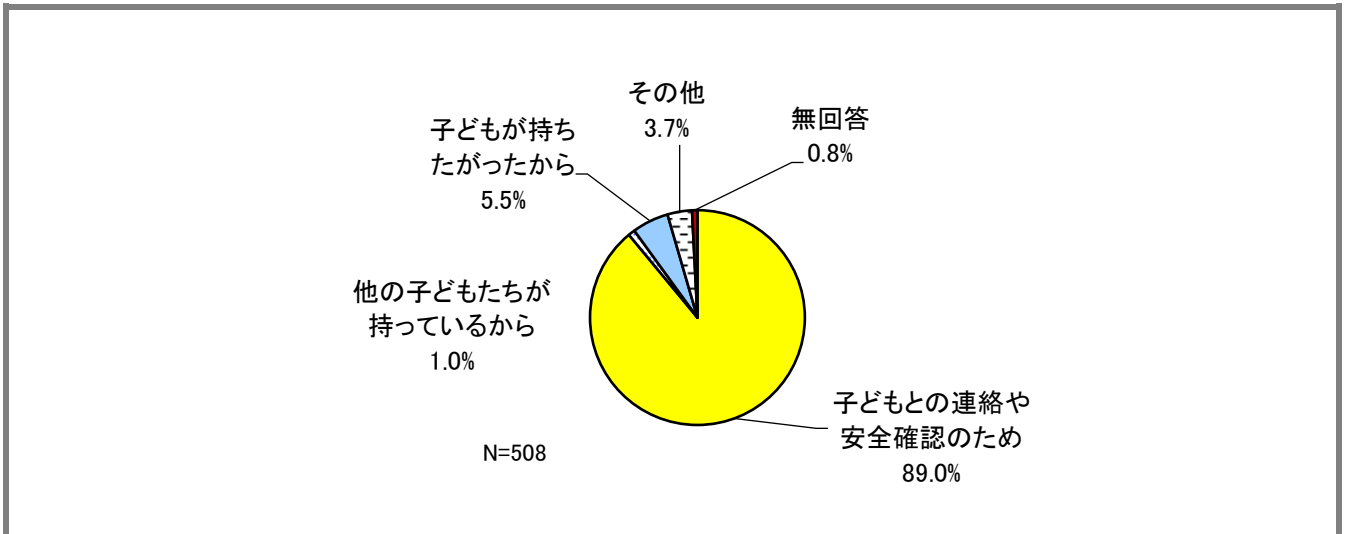
- 朝食を「毎日食べる」子どもが92.5%と大半を占めているが、「時々食べない日がある」子ども（5.7%）や「ほとんど食べない」（1.6%）子どもも存在する。

問21 お子さんに携帯電話・スマートフォンを持たせていますか。（1つだけ○）



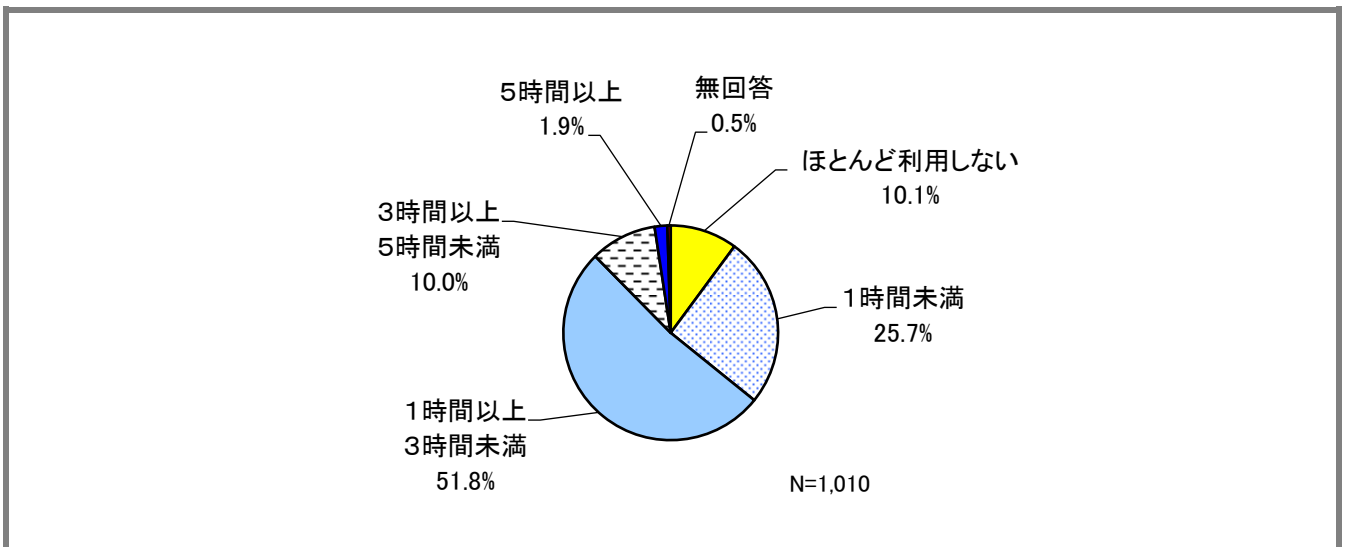
- 子どもに携帯電話・スマートフォンを「持たせていない」と回答した人の割合は49.5%、一方「持たせている」と回答した人の割合は50.2%と、拮抗状態にあることがわかる。
- また、「インターネットを自由に利用できる携帯電話・スマートフォンを持たせている」と回答した人の割合は全体の7.6%となっている。

問21-1 問21で、1～3に○をつけた方にうかがいます。  
携帯電話・スマートフォンを持たせている理由は何ですか。（1つだけ○）



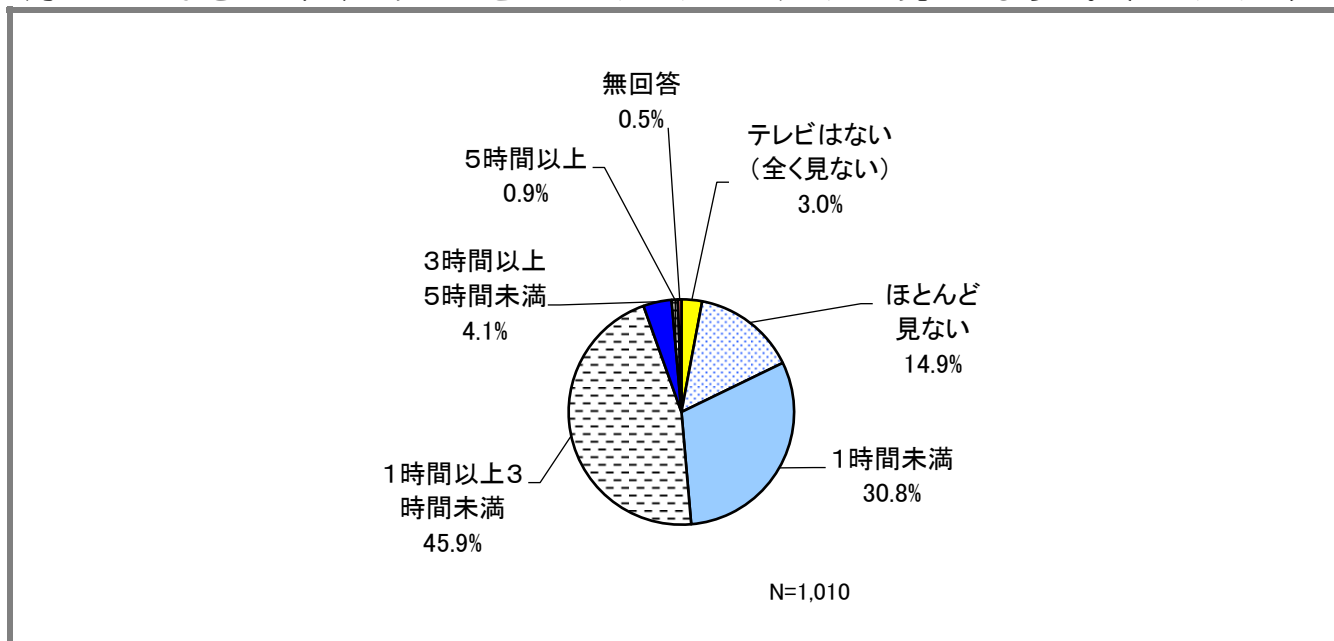
- 子どもに携帯電話を持たせている理由としては、「子どもとの連絡や安全確認のため」が89.0%と大半を占めている。

問22 お子さんは、平日、パソコン、携帯電話・スマートフォン・ゲーム機器、その他多機能端末を1日にだいたいどれくらい利用していますか。（1つだけ○）



- パソコン、携帯電話・スマートフォン・ゲーム機器、その他多機能端末については、「1時間以上3時間未満」利用していると回答した人が51.8%と最も多くなっており、「ほとんど利用しない」と回答した人の割合は10.1%となっている。

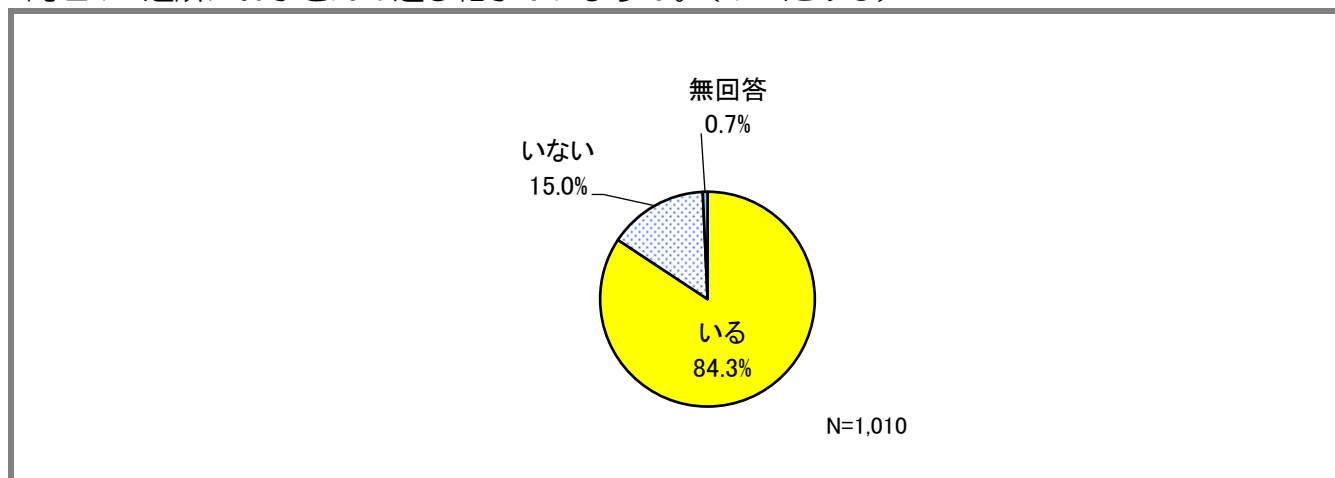
問23 お子さんは、平日テレビを1日にだいたいどれくらい見ていますか。（1つだけ○）



- 子どもが1日にテレビを見る時間については、「1時間以上3時間未満」が45.9%と最も多く、次いで、「1時間未満」が30.8%となっている。

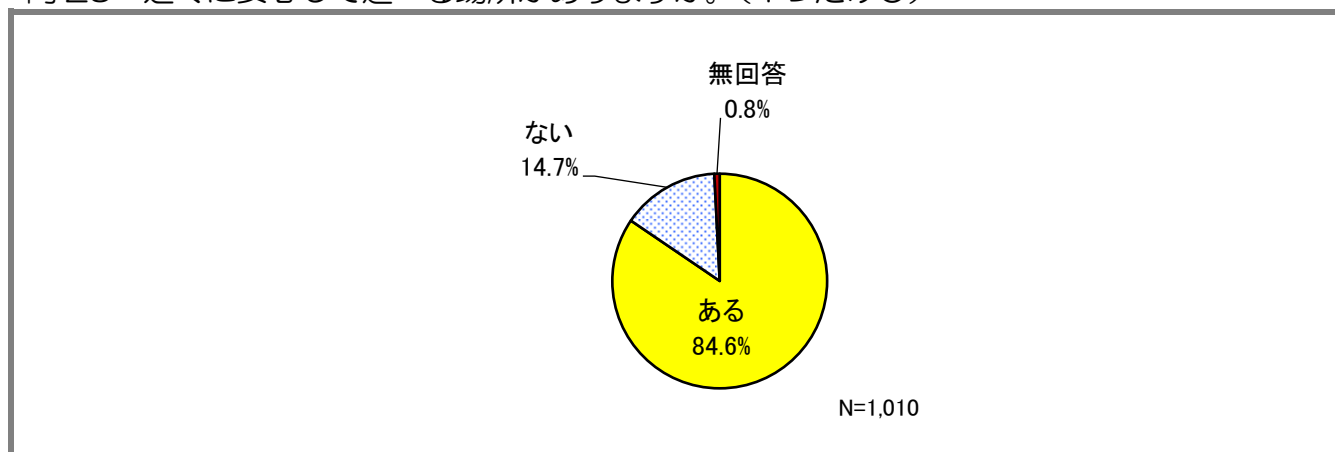
## 11. 宛名のお子さんの遊びや地域活動について

問24 近所にお子さんの遊び相手がいますか。（1つだけ○）



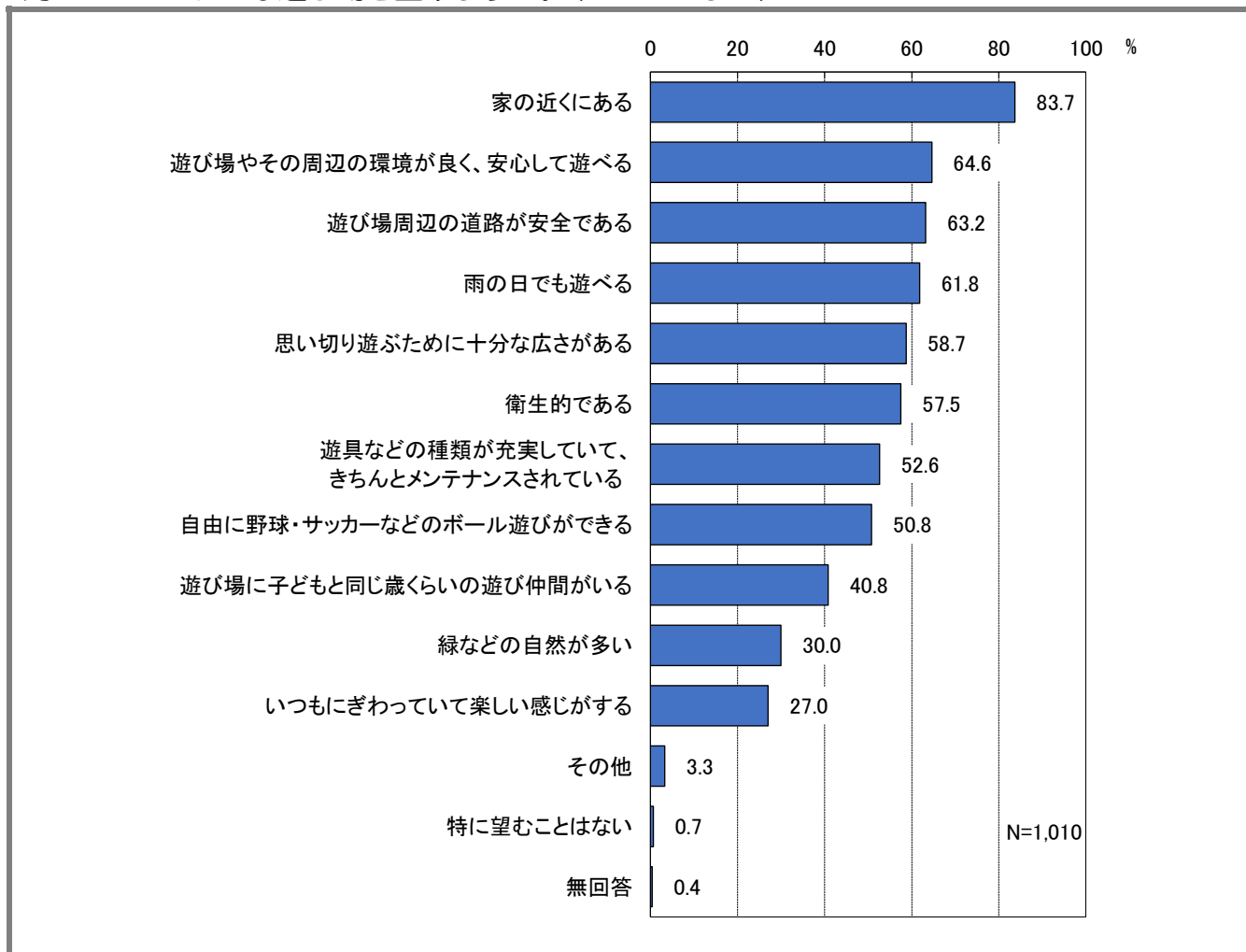
- 近所に子どもの遊び相手が「いる」と回答した人の割合は84.3%、「いない」と回答した人の割合は15.0%となっている。

問25 近くに安心して遊べる場所がありますか。（1つだけ○）



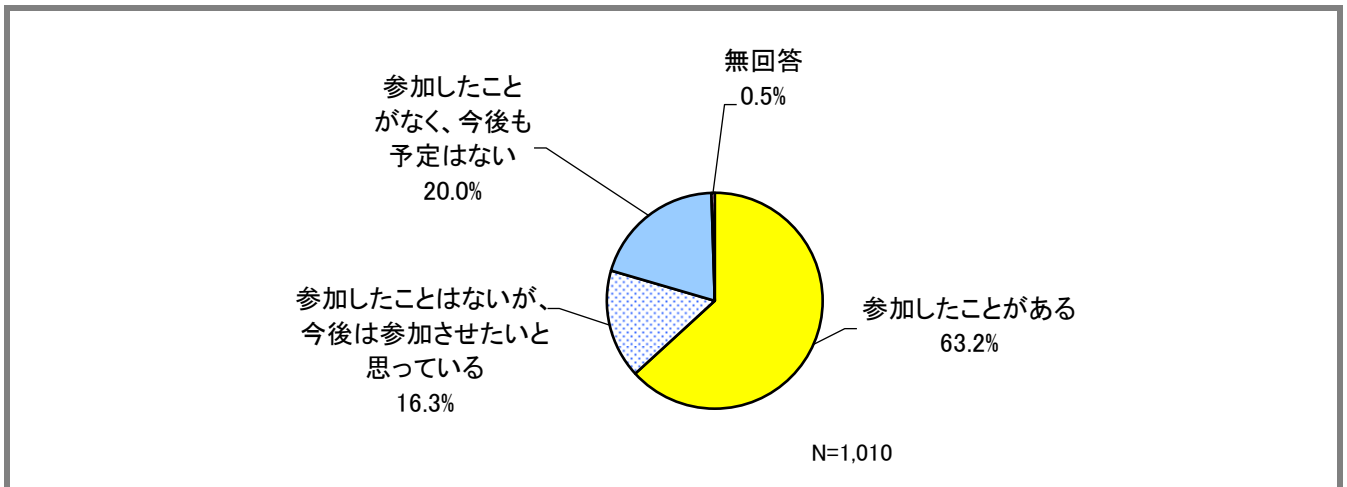
- 近くに安心して遊べる場所が「ある」と回答した人の割合は84.6%、「ない」と回答した人の割合は14.7%となっている。

問26 どのような遊び場を望みますか。（〇は3つまで）



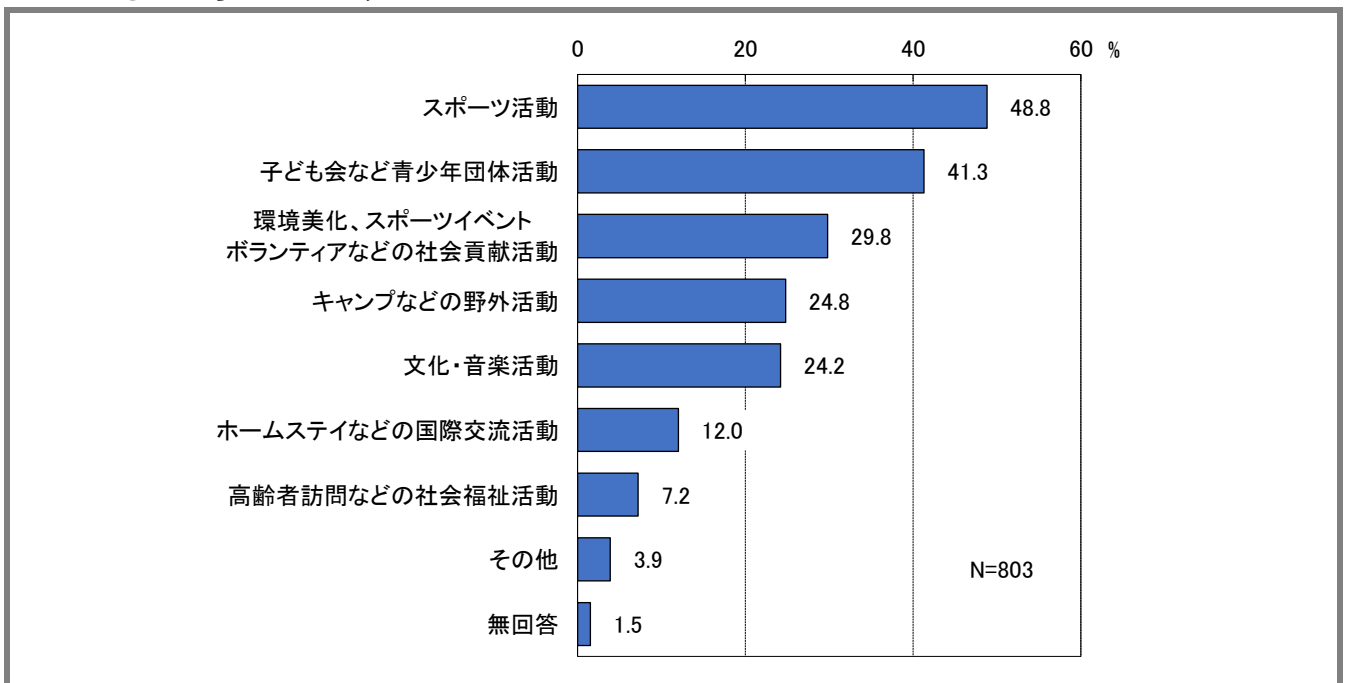
- どのような遊び場を望むか尋ねたところ、「家の近くにある」が83.7%と最も多く、以下、「遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる」(64.6%)、「遊び場周辺の道路が安全である」(63.2%)、「雨の日でも遊べる」(61.8%)、「思い切り遊ぶために十分な広さがある」(58.7%)、「衛生的である」(57.5%)と続いている。

問27 宛名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。  
（1つだけ○）



- 対象児童が地域活動やグループ活動などに「参加したことがある」と回答した人の割合は63.2%で、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と回答した人の割合は16.3%となっている。

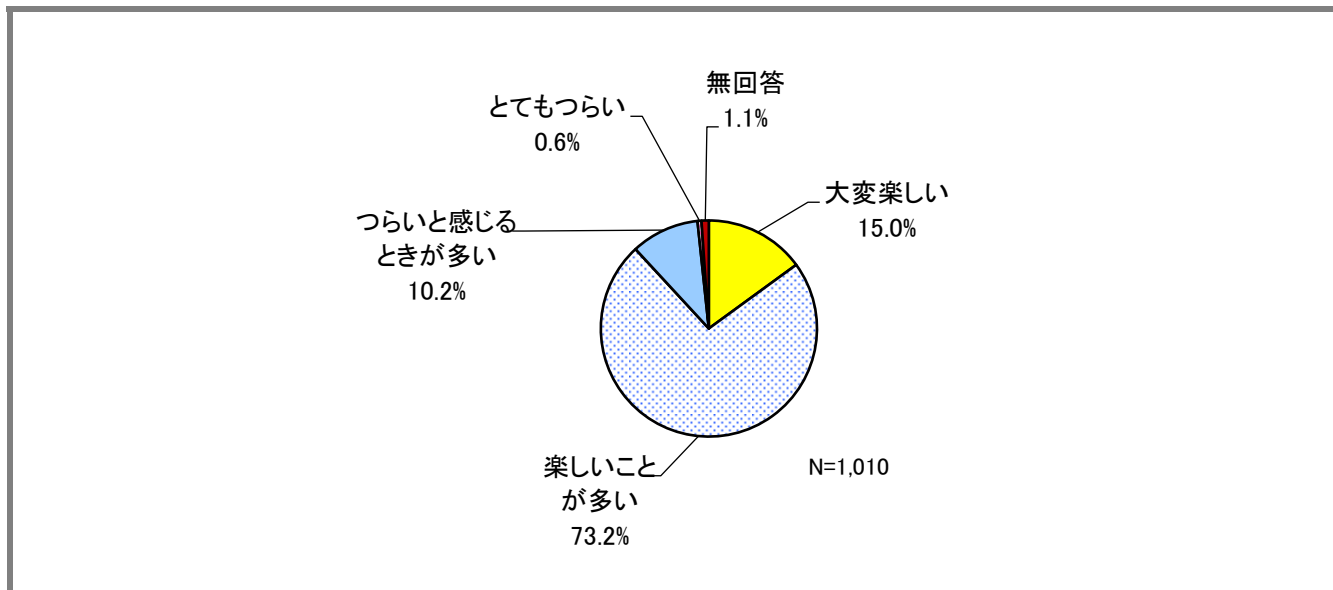
問27-1 問27で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが参加したことがある、または今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 対象児童が地域活動やグループ活動などに「参加したことがある」または「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と回答した人に、その種類を尋ねたところ、「スポーツ活動」を選択した人の割合が48.8%と最も高く、以下、「子ども会など青少年団体活動」が41.3%、「環境美化、スポーツイベントボランティアなどの社会貢献活動」が29.8%と続いている。

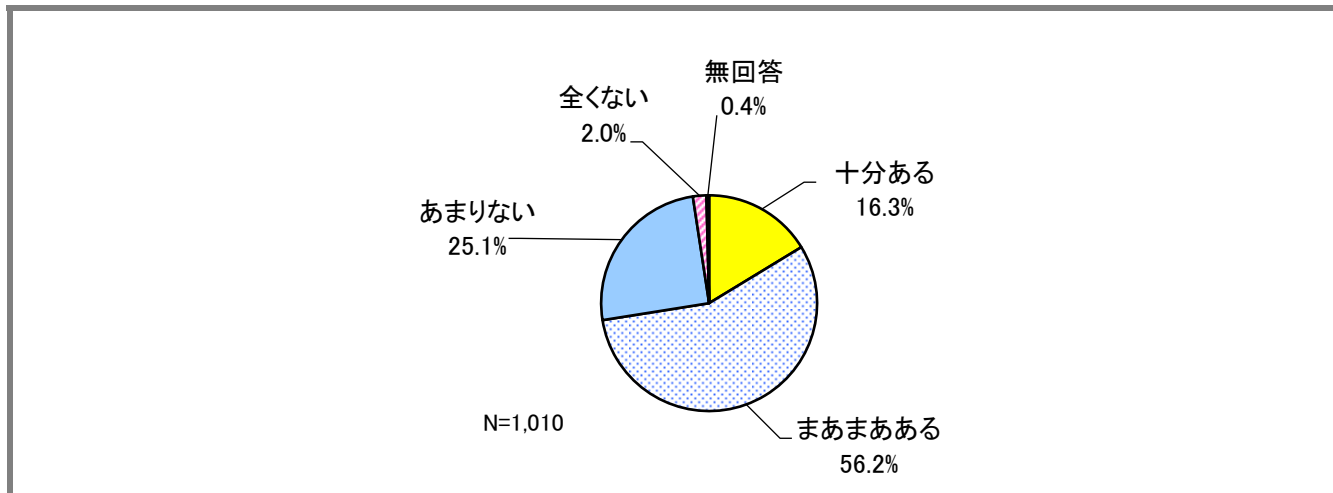
## 12. 子育て全般について

問28 あなたは、子育てをどのように思いますか。（1つだけ〇）



- 子育てを「大変楽しい」（15.0%）、「楽しいことが多い」（73.2%）と回答した人が88.2%と大半を占めているが、一方で10.2%の人が「つらいと感じるときが多い」、0.6%の人が「とてもつらい」と回答している。

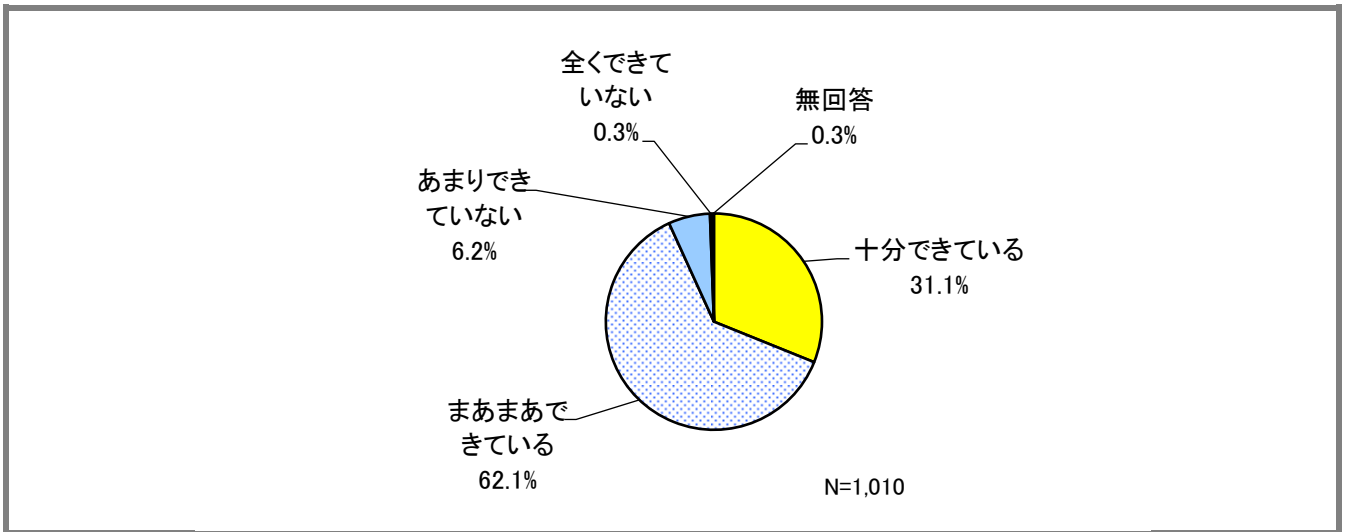
問29 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。（1つだけ〇）



- ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間が「十分ある」と回答した人の割合は16.3%で、「まあまあある」（56.2%）と回答した人を合わせると72.5%に達するが、一方で25.1%の人が「あまりない」、2.0%の人が「全くない」と回答している。

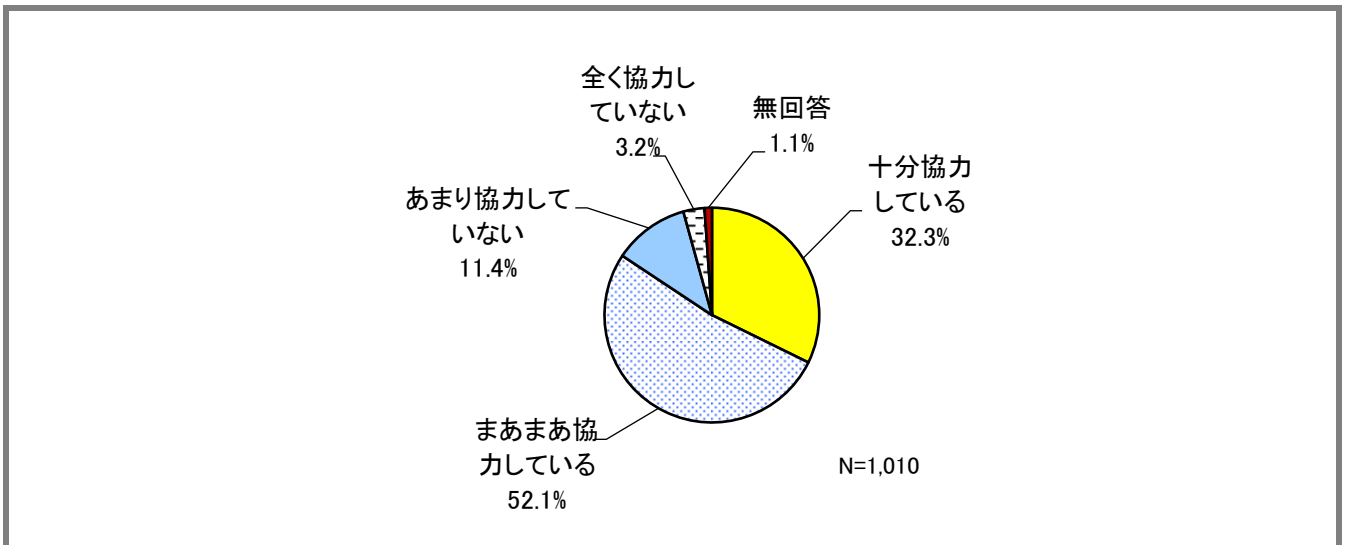


問30 普段家族の間で会話などのコミュニケーションができていますか。（1つだけ○）



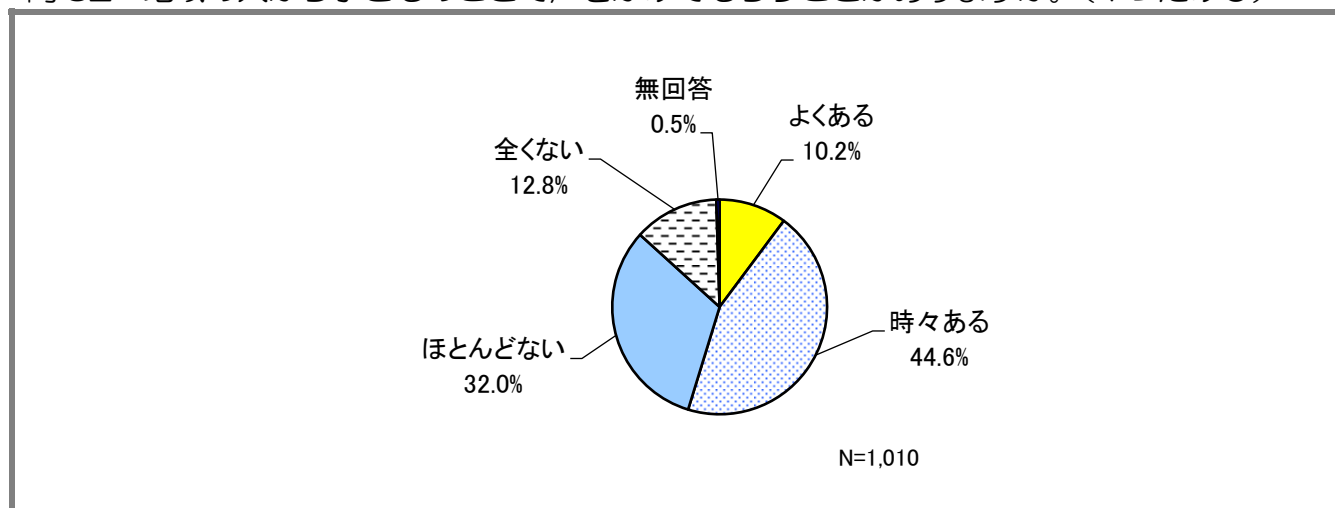
- 家族間でのコミュニケーションが「十分できている」(31.1%)、「まあまあできている」(62.1%)と回答した人が93.2%と大半を占めているが、一方で、「あまりできていない」と回答した人が6.2%、「全くできていない」と回答した人が0.3%いた。

問31 家族で協力して子育てをしていますか。（1つだけ○）



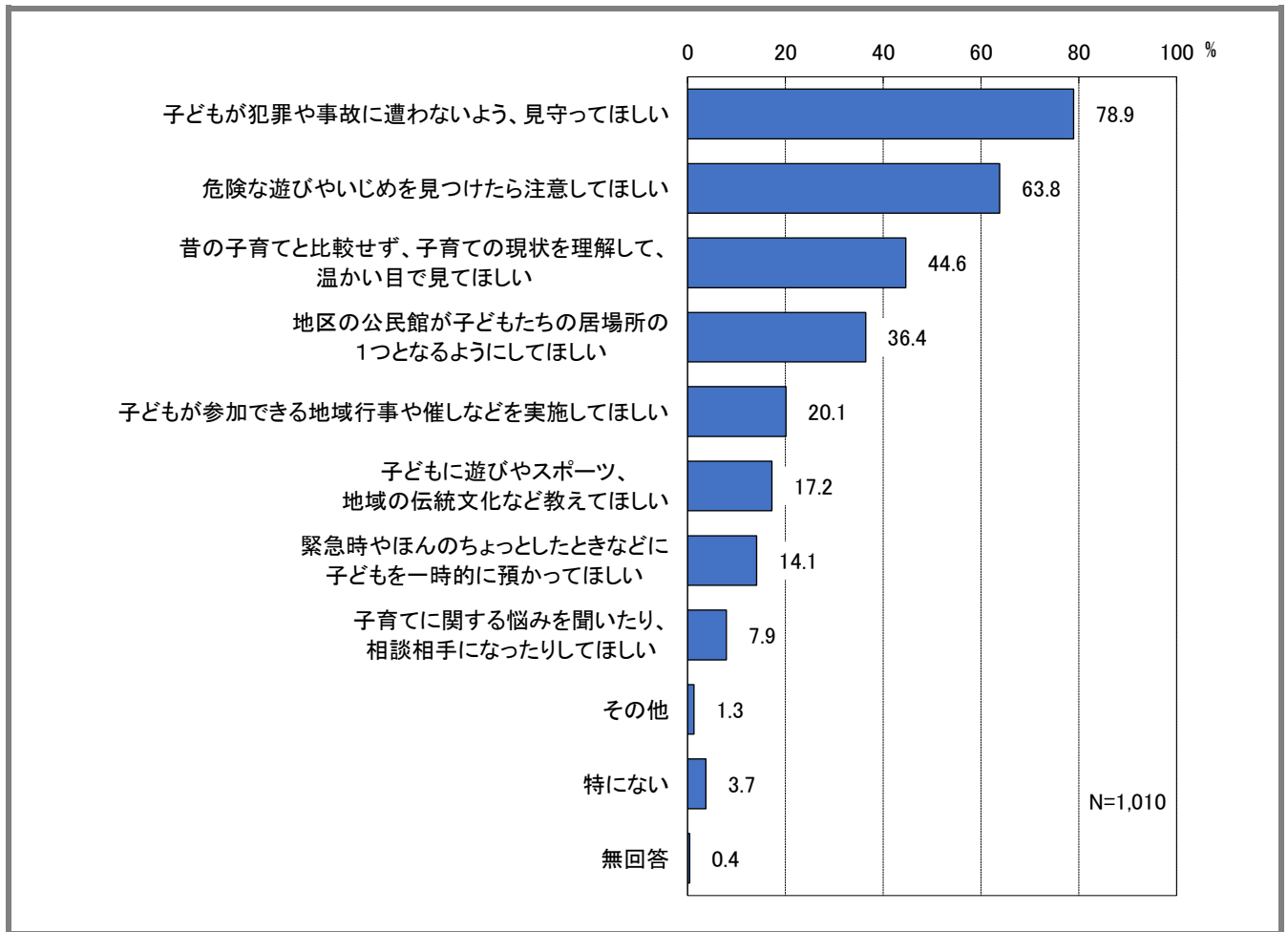
- 子育てについて、家族で「十分協力している」(32.3%)、「まあまあ協力している」(52.1%)と回答した人が84.4%と大半を占めているが、一方で、「あまり協力していない」と回答した人が11.4%、「全く協力していない」と回答した人が3.2%いた。

問32 地域の人から子どものことで声をかけてもらうことがありますか。（1つだけ○）



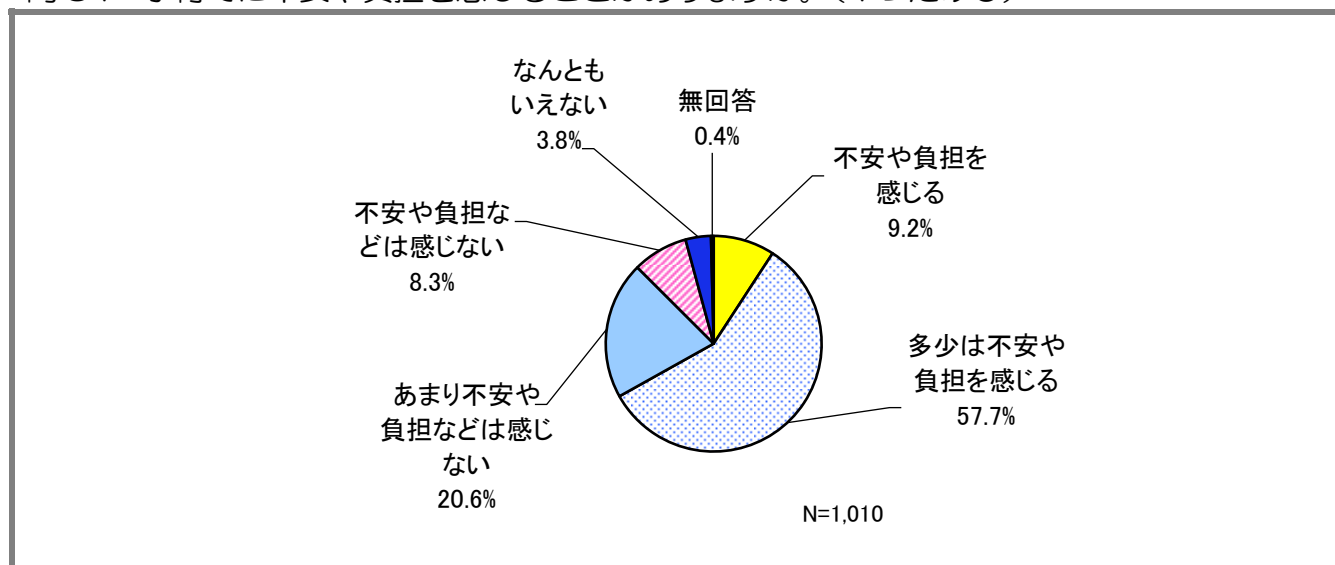
- 地域の人から子どものことで声をかけてもらうことが「よくある」（10.2%）、「時々ある」（44.6%）と回答した人が全体の54.8%を占めている一方で、「ほとんどない」と回答した人が32.0%、「全くない」と回答した人が12.8%いた。

問33 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）



- 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待するか尋ねたところ、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」（78.9%）と「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」（63.8%）を選択した人が多く、「昔の子育てと比較せず、子育ての現状を理解して、温かい目で見てほしい」（44.6%）や「地区の公民館が子どもたちの居場所の1つとなるようにしてほしい」（36.4%）がそれに続いている。

問34 子育てに不安や負担を感じることはありませんか。（1つだけ○）



- 子育てに「不安や負担を感じる」と回答した人の割合は 9.2%で、「多少は不安や負担を感じる」（57.7%）と回答した人を合わせると 66.9%となっている。

問35 子育てに関して、どのような悩みがありますか。特にあてはまるものに○をつけ（3つまで）、それぞれ相談した相手すべてに○を付けてください。



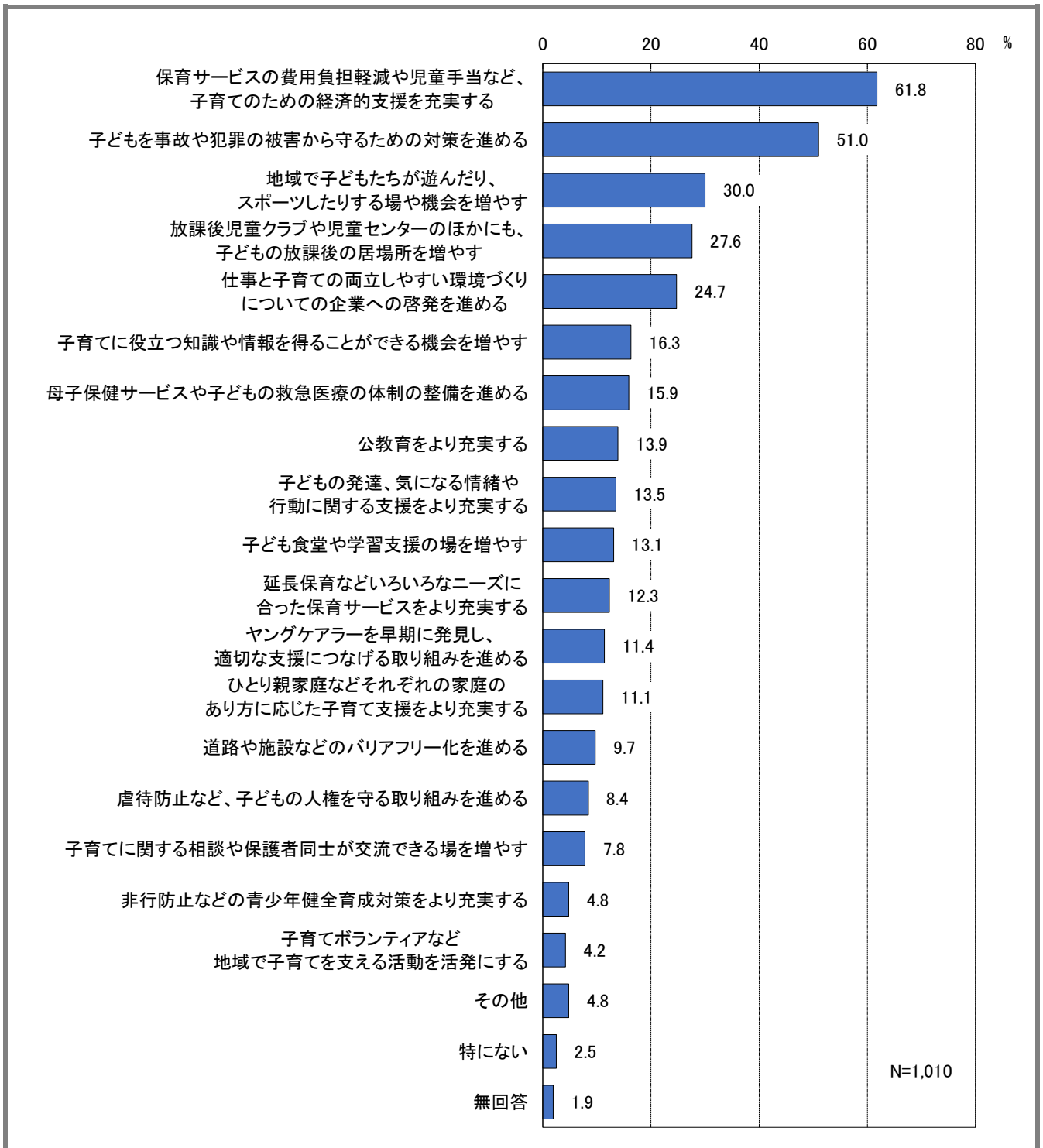
- 子育てに関する悩みとしては、「子育てにお金がかかりすぎる」が27.9%と最も多く、以下、「子どもの成績・学力・受験に関する」（25.6%）、「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関する」（24.8%）、「子どもの発達、気になる情緒や行動に関する」（20.2%）と続いている。
- 悩みの内容ごとの相談相手は、次ページのとおりとなっている。

## 【相談した相手】

(単位：%)

相談相手 悩みの内容 (回答者数)	公的 相談 機関	医 療 機 関	幼 稚 園 ・ 保 育 所 な ど	親 戚 ・ 知 人 に 相 談 し た	そ の 他	誰 に も 相 談 し て い な い	無 回 答
子どもの食事や睡眠の取り方などの生活習慣に関すること (153)	4.6	10.5	14.4	63.4	9.8	20.9	0.7
子どもの病気に関すること (97)	6.2	78.4	13.4	43.3	7.2	4.1	3.1
子どもの障がいに関すること (42)	64.3	66.7	73.8	45.2	21.4	0.0	0.0
子どもの発達、気になる情緒や行動に関すること (204)	35.3	29.4	49.0	52.9	9.8	5.4	2.5
非行や暴力などの問題行動に関すること (32)	22.2	33.3	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1
不登校などの問題に関すること (49)	18.4	44.9	75.5	59.2	20.4	0.0	0.0
子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること (250)	4.0	2.8	51.2	56.8	6.0	11.6	1.2
子どもの思春期の教育に関すること (122)	2.5	3.3	9.0	53.3	9.0	32.0	5.7
子どもの成績・学力・受験に関すること (259)	1.5	0.4	22.0	59.5	16.6	20.8	2.3
子どもとの時間を十分に取れないこと (77)	0.0	0.0	1.3	42.9	5.2	46.8	6.5
子どもとの接し方に自信が持てないこと (55)	7.3	1.8	14.5	54.5	5.5	27.3	7.3
自分の子育てについて、祖父母などの親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること (12)	8.3	8.3	8.3	66.7	8.3	25.0	0.0
子どもを叱りすぎているような気がする (148)	2.0	2.0	7.4	59.5	8.1	29.1	2.7
子育てのストレスがたまって、子どもに手を上げたり、世話をしなかったりしてしまうこと (8)	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	75.0	0.0
話し相手や相談相手がないこと (8)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	62.5	12.5
子育てに関して配偶者などの協力が少ないこと (54)	3.7	0.0	0.0	63.0	0.0	31.5	3.7
子育てに関して配偶者などと意見が合わないこと (43)	2.3	2.3	2.3	53.5	4.7	37.2	7.0
配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと (54)	1.9	0.0	3.7	31.5	9.3	57.4	3.7
仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと (92)	1.1	0.0	1.1	32.6	9.8	56.5	3.3
子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと (12)	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	66.7	8.3
子育てにお金がかかりすぎる (282)	2.1	0.4	0.4	31.2	5.0	58.2	6.4

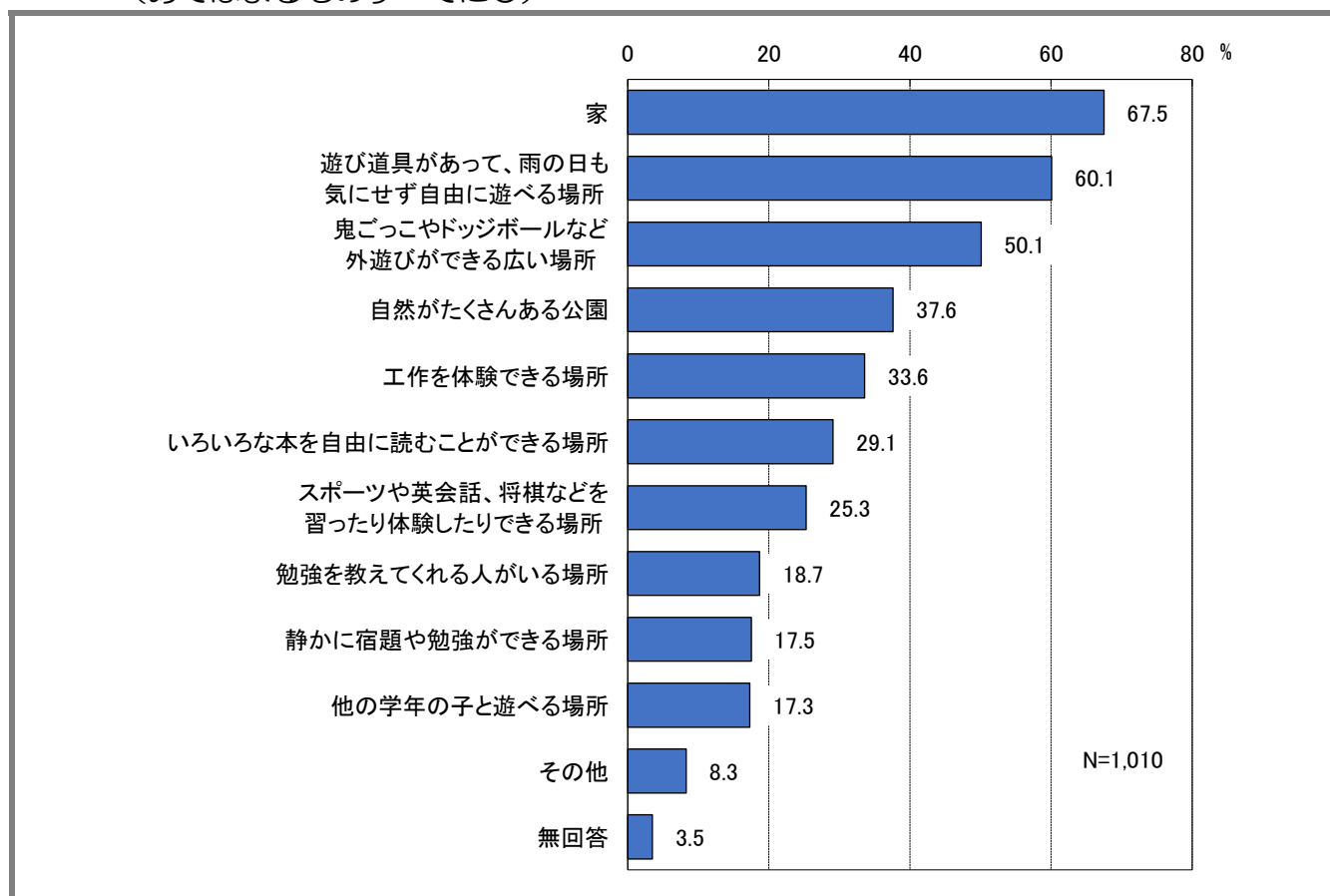
問36 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。  
（〇は5つまで）



- 子どもを健やかに生み育てるために、市に期待することとしては、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援を充実する」が61.8%と最も多く、以下、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」（51.0%）、「地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす」（30.0%）、「放課後児童クラブや児童センターのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす」（27.6%）、「仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについての企業への啓発を進める」（24.7%）と続いている。

### 13. 子ども自身への質問について

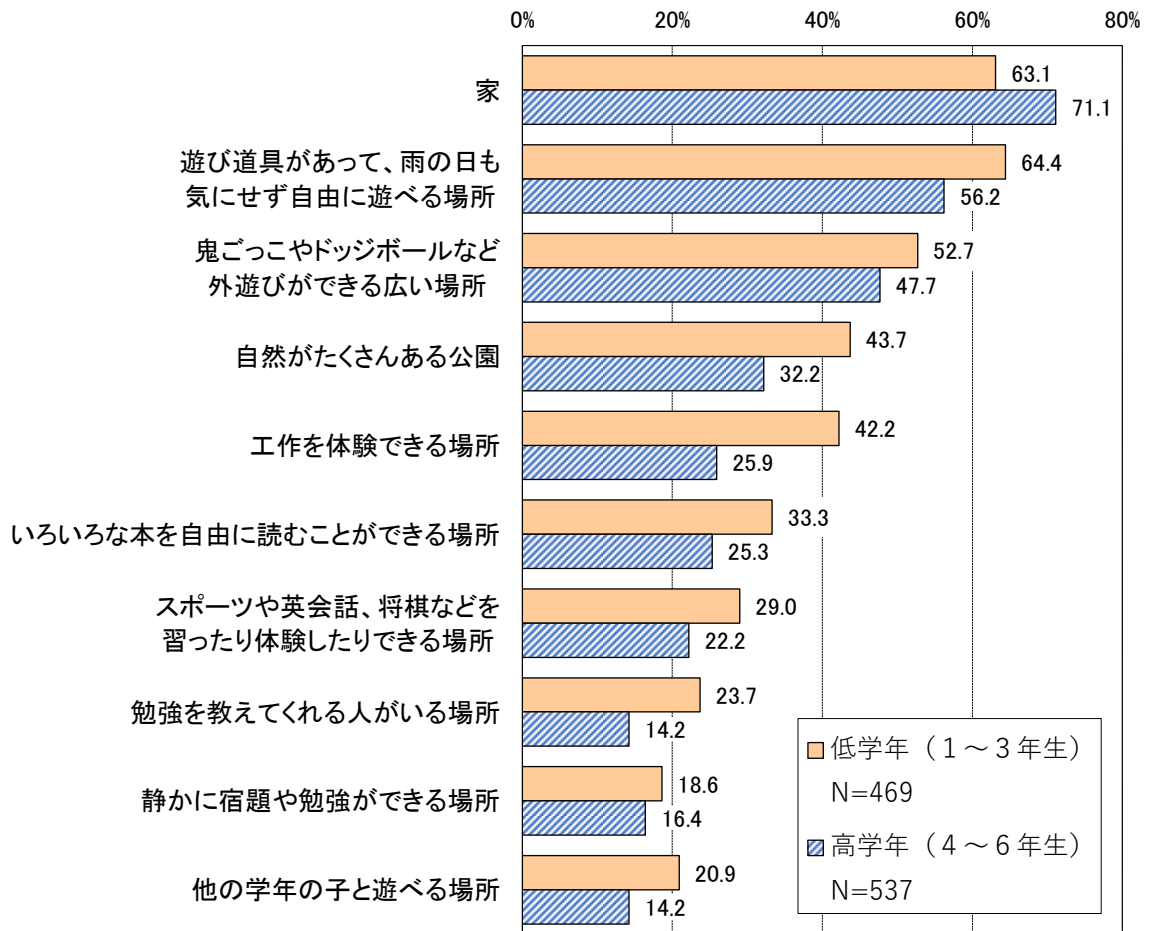
問 38 放課後や土曜日、日曜日に自由な時間があったら、どこで過ごしたいですか。  
（あてはまるものすべてに○）



- 子ども自身に、放課後や土曜日、日曜日に自由な時間があったら、どこで過ごしたいかを尋ねたところ、「家」という回答が 67.5%と最も多く、以下、「遊び道具があって、雨の日も気にせず自由に遊べる場所」(60.1%)、「鬼ごっこやドッジボールなど外遊びができる広い場所」(50.1%)、「自然がたくさんある公園」(37.6%)、「工作を体験できる場所」(33.6%)と続いている。
- 低学年・高学年別に回答結果を見ると、ほとんどの選択肢で低学年より高学年の回答割合が低くなっている中、「家」だけは高学年（71.1%）の方が回答割合が高くなっている（次ページ参照）。
- 低学年と高学年で最も回答割合の差が大きかったのは「工作を体験できる場所」で、高学年の 25.9%に対し低学年は 42.2%と、16.3 ポイント高い割合となっている（次ページ参照）。



【低学年・高学年別クロス集計結果】



第3期春日市子ども・子育て支援事業計画  
作成のためのアンケート調査結果報告書

令和6年3月

---

発行 福岡県春日市  
企画・編集 春日市こども未来課

〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5  
TEL (092) 584-1111  
FAX (092) 584-1115

---